

平成 19 年度

上海浦東国際空港における 国際航空貨物動態調査報告書



平成 20 年 3 月

日本国国土交通省航空局・東京大学
中国民用航空総局・航空安全技術中心

はじめに

本報告書は、2006年12月の第2回日中航空政策対話合意議事録を踏まえ、日本国国土交通省航空局・東京大学及び中国民用航空総局・航空安全技術中心が、国際航空貨物について共同調査を行った成果を取り纏めたものである。

本報告書が、日中の航空当局並びに航空関係者の一層の相互理解の増進と協力関係の強化に資することとなれば幸いである。

平成20年3月

日本国国土交通省航空局・東京大学
中国民用航空総局・航空安全技術中心

目 次

1. 調査の背景・目的	1
1-1 調査対象空港の選定	1
1-2 調査目的	1
2. 調査の方法	2
2-1 調査対象	2
(1) 対象事業者	2
(2) 対象貨物	3
2-2 調査方法	5
2-3 調査項目	6
2-4 調査票回収率	7
3. 調査結果	9
3-1 国際航空貨物（一般貨物）の流動現況	9
(1) 発生・集中地	9
(2) 通関場所及び発生・集中地との関係	9
(3) 相手国地域及び発生・集中地との関係	10
(4) 全体の流れ	11
3-2 国際航空貨物（一般貨物）の内容	25
(1) 混載化率と品目別1件当たり重量	25
(2) 発生・集中地と品類	25
(3) 相手国地域と品目	26
3-3 国際航空貨物（一般貨物）のその他の特性	40
(1) 発・着施設	40
(2) 発送・到着時間帯	41

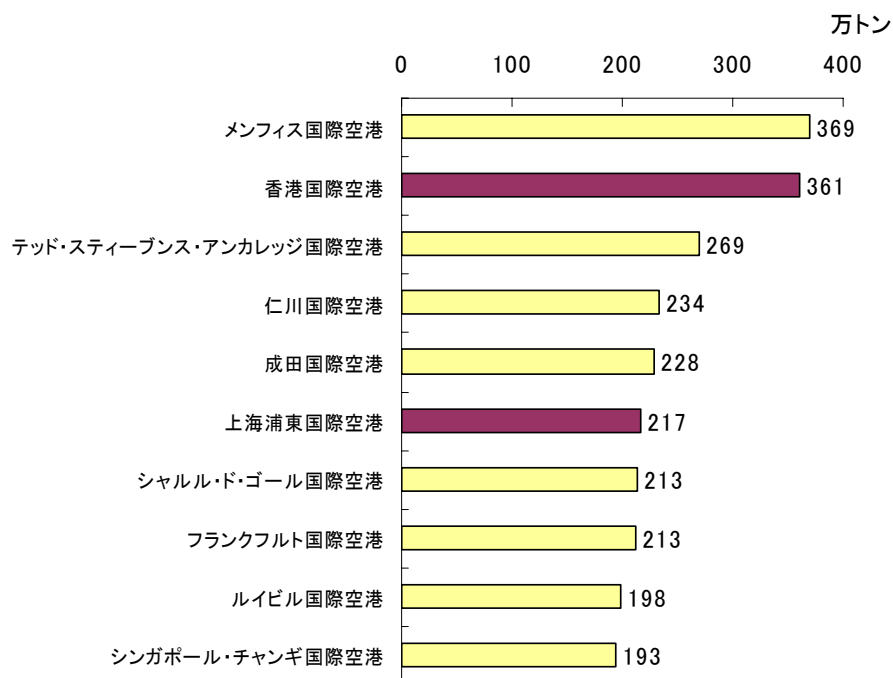
(3) 国内輸送の所要日数	4 1
(4) 国内輸送における航空利用状況	4 2
(5) 貨物の集約・離散状況	4 2
(6) 貨物専用便の利用状況	4 3
3-4 国際宅配便貨物の流動現況	5 8
(1) 国際航空貨物における国際宅配便貨物	5 8
(2) 国際宅配便と相手国地域	5 8
(3) 全体の流れ	5 8
付属資料 資料1 上海浦東空港・国際航空貨物動態調査票	6 5
資料2 調査票記入要領	6 7
資料3 品目分類表	7 0
資料4 税関コード表および地域区分表	7 1

1. 調査の背景・目的

1-1 調査対象空港の選定

Airport Council International (ACI) が毎年公表している、世界の空港の航空貨物取扱量ランキングで中国の空港は、2006 年において香港国際空港をはじめ 4 つの空港が上位 30 位内にランクインしている。香港国際空港は、国際的なハブ空港として名実ともに中国を代表する空港（米国のメンフィス国際空港に次ぎ世界ランキング第 2 位）であるが、今回、「国際航空貨物動態調査」の対象空港としては中国発着の航空貨物取扱量に着目して、香港国際空港に次ぐ中国第 2 位の航空貨物量取扱実績をあげている上海浦東国際空港を選定した。

図表 1-1-1 世界の空港における航空貨物取扱上位 10 空港（2006 年）



注) 国内及びトランジット貨物を含む。

出所) Airport Council International (ACI) 資料

1-2 調査目的

本調査の本来的な目的は、国際航空貨物の重量・品目等の基礎的項目のほか、国内及び国際間の流動を把握し、国際航空貨物の総合的な実態をとらえることにより、国際航空貨物の需要動向の予測や空港ターミナル計画策定、国際航空貨物輸送体系の検討のための基礎資料の作成にある。ただし、今回の調査は中国国内における初めての試みでもあり、単独の空港の調査ということもあって、第一に、これまで統計データとして補足されていない、上海浦東国際空港を基点とした国際航空貨物の流動実態のとりまとめを中心としたデータ整備を主たる目的とする。

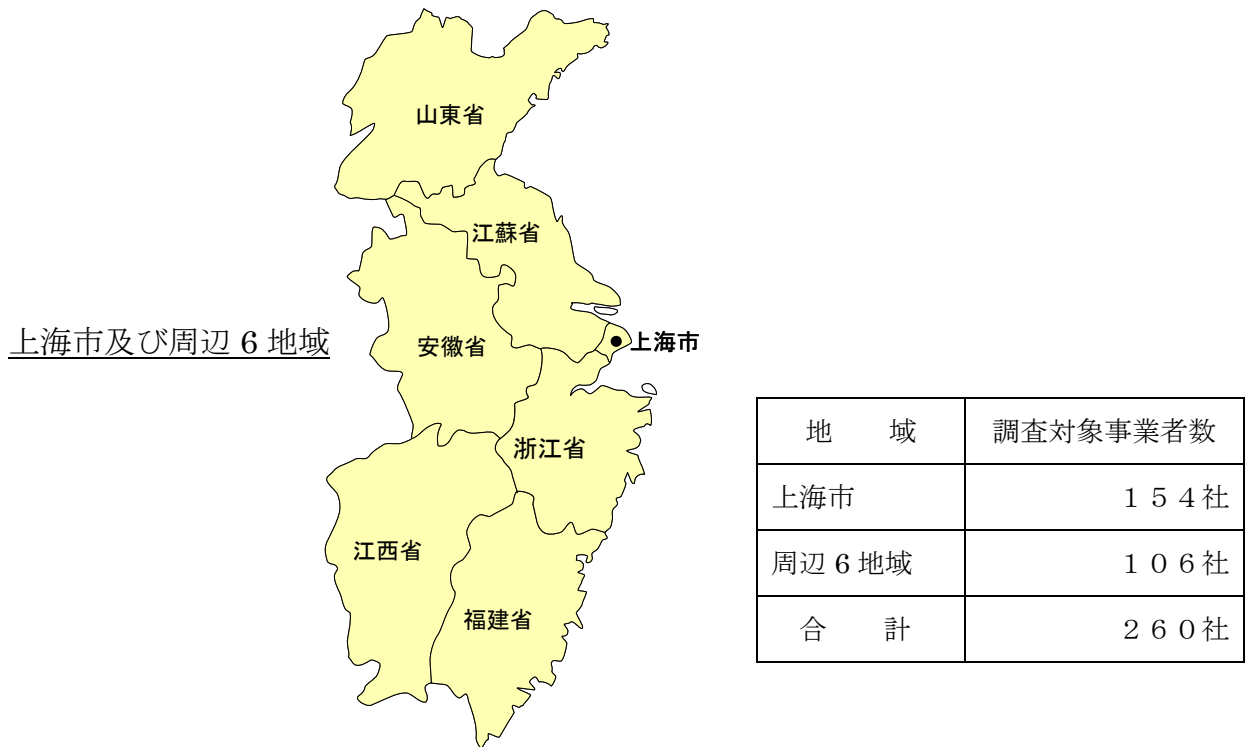
2. 調査の方法

2-1 調査対象

(1) 対象事業者

本調査では、上海浦東国際空港を利用する国際航空貨物フォワーダーを調査対象事業者とする。このため、お膝元の上海市に加えて、同空港の後背圏と想定される華東地区（山東省、江蘇省、安徽省、浙江省、江西省、福建省）に事業所を展開してフォワーダー業務を行っている事業者について、「年検合格企業名録07版」（中国航空運輸協会認証センター作成）により、該当する事業者をリストアップして、調査対象事業者とした。上海市及び周辺6地域と調査対象事業者数は、図表2-1-1に示すとおりである。

図表2-1-1 上海市及び周辺6地域と調査対象事業者数



周辺6地域の事業者数内訳

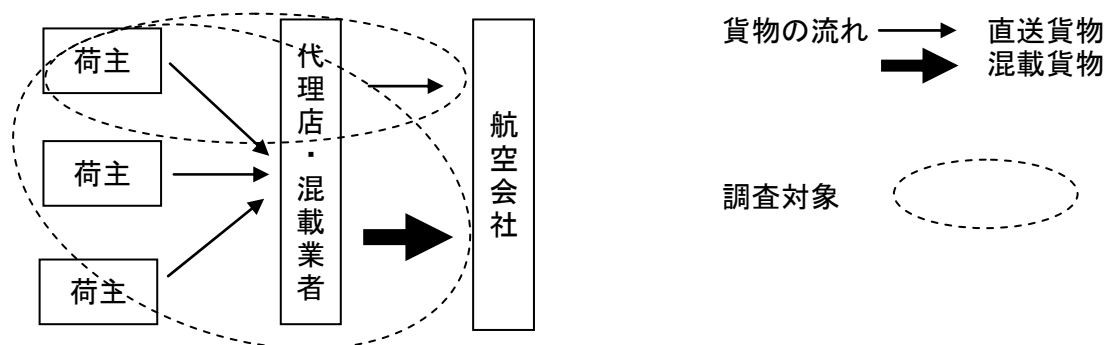
山東省	江蘇省	安徽省	浙江省	江西省	福建省	計
46社	11社	2社	20社	2社	25社	106社

(2) 対象貨物

国際航空貨物には、荷送人が代理店を通じて航空会社に対し運送を委託する「小口貨物」（直送貨物ともいう）、荷送人と航空会社との間に混載業者が介在する「混載貨物」及び「国際宅配便」がある。本調査では、上記の形態の全ての貨物を対象とし、後述のように国際航空貨物フォワーダーが、調査日に航空運送状を発行した輸出航空貨物、ならびに税関に対して輸入申告をした輸入航空貨物を対象とする。

なお、浦東空港発着の国内航空貨物ならびに同空港を経由する国際航空貨物（トランジット貨物）は本調査の対象外である。また、対象となる貨物のうち国際宅配便については把握できる項目が限られているため、当該貨物以外の航空貨物（以下「一般貨物」とする）とは別途の扱いとする。

図表 2-1-2 国際航空貨物の流れ（概念図）



注) 国際宅配便について

「国際宅配便」とは、国際航空貨物フォワーダーが、荷送人から荷受人までのドア・ツー・ドア運送を“通し運賃料金”（パック料金）で行う条件で引受けた貨物をさす。当該貨物は、航空輸送による国際貨物であることにおいては他の一般貨物と基本的には変わらないが、貨物の内容が書類及びスモールパッケージ貨物（S P 貨物）が主体であるため、1件当たりの重量が小さく、1日当たりの発生件数は極めて多い。このため、本調査の対象とするにあたって、一般貨物と同じく調査日に荷主から託された個々の貨物の全てを調査することは、回答事業者の負担が著しく大きくなり、事実上不可能である。

したがって、国際宅配便については、業者が荷主に対して発行する運送状ではなく、業者が荷主から託された貨物を方面別に仕立てた後、代理店との間で取り交わす航空運送状（MASTER運送状）を調査の対象とした。そのため国際宅配便の調査項目は、貨物区分・申告税関・利用空港及び搭載便・相手国及び空港・重量のみである。なおオンボード・クーリエ[※]については、運送状ではなく搭乗券を利用して手荷物として運送することから、調査対象外とした。

※) 書類を緊急輸送する場合に利用するクーリエ・サービスの一つで、輸出入通関手続きの簡素化とスピード化を図るために、簡易通関制度の特典を活かし、旅客の託送手荷物として書類を航空会社に委託して運送する方法。

2-2 調査方法

調査対象事業者に調査票を配布し、これに調査実施期日に輸出・輸入申告を行った全数について、航空運送状（混載貨物は混載運送状（House Air Waybill）、国際宅配便は航空運送状（Air Waybill））1件ごとの内容を転記してもらい、後日回収した。

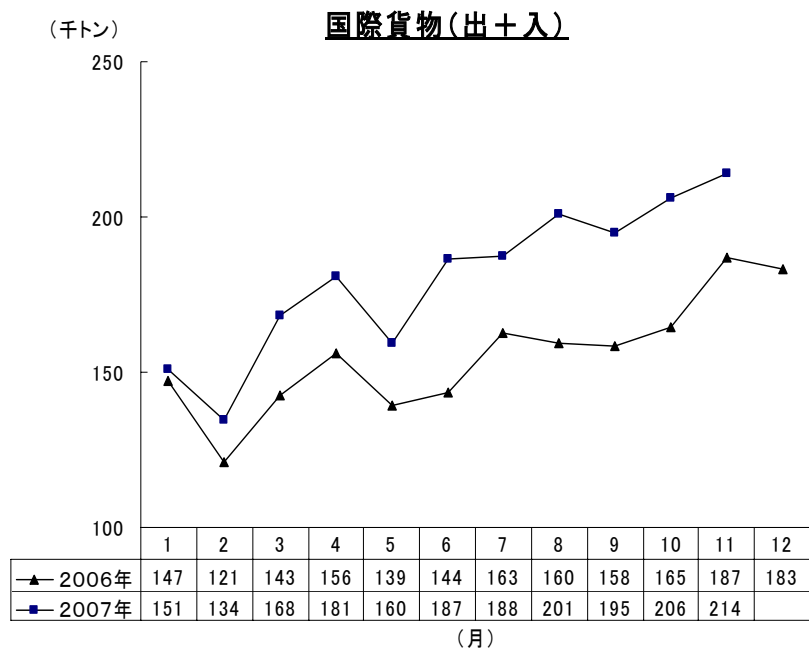
調査対象日^{注1)}は2007年11月22日（木）とした。なお、調査のタイミングとしては、可能ならば平均的な取扱量の水準が見込まれる月・曜日が望ましい。事前のエアライン等に対するヒアリングの結果では、貨物取扱量パターンは週の前半より後半のほうが多く、木曜日の取扱量は1週間の平均をやや上回る水準にあることが確認されている。一方、この2年間の実績で見ると、浦東空港貨物取扱量の月別変動は、図表2-2-1で明らかなように、年末に向けて徐々に増えていくパターンを見せており、同空港の11月の取扱量は年間を通じてのピーク月に該当している。

回収サンプル数の観点からは、極端に取扱量が少ない月は避けるべきであり、調査票への記入作業が発生する事業者サイドの観点からは超繁忙期も避けるべきであろう。今回の調査のタイミングに関しては、とくに後者の点で、必ずしもベストとはいえないにしても、本調査の調査結果について一定の制約が生ずるような特異日^{注2)}には無いことを述べておけば十分であろう。

注1) 22日の0時から同日24時まで、各代理店・混載業者が航空運送状を発行した輸出航空貨物、及び上記1日間に税関に輸入申告をした輸入航空貨物が対象となる。

注2) 過去2年間における取扱量の月間平均水準はそれぞれ155.4千トン、180.3千トンである。

図表2-2-1 過去2年間における国際航空貨物量（月別推移）



注) 香港・澳門・台湾向けを含む。
出所) 上海浦東国際空港公団資料

2-3 調査項目

調査項目は下記一覧表に示すとおりである。

図表 2-3-1 調査項目（一般貨物）

	輸 出	輸 入
①	貨物区分（小口扱い・混載扱い）	
②	申告税関名	
③	発空港（上海浦東国際空港） 搭載日 航空会社・搭載便名	着空港（上海浦東国際空港） 到着日 航空会社・搭載便名
④	最終仕向国名 着空港名	原仕出国名 発空港名
⑤	貨物の仕出地（発送地）	貨物の仕向地（到着地）
⑥	貨物の発送施設区分	貨物の到着施設区分
⑦	貨物の発送施設からの発送日 同 発送時間帯	貨物の到着施設への到着日 同 到着時間帯
⑧	国内における航空輸送利用の有無	国内における航空輸送利用の有無
⑨	貨物の集約状況（持込み・集貨）	貨物の離散状況（引取り・配達）
⑩	輸 送 品 目 名	
⑪	貨 物 重 量 (kg)	

注) 項目⑥～⑨以外は、航空運送状の記載内容から直接的に得られる情報であるが、⑤に関しては、運送状記載の荷送人・荷受人住所と貨物の実際の仕出地・仕向地が異なる場合には後者の住所で記入するものとした。

図表 2-3-2 調査項目（国際宅配便貨物）

	輸 出	輸 入
①	申告税関名	
②	発空港名 搭載日 航空会社・搭載便名	着空港名 到着日 航空会社・搭載便名
③	最終仕向国名 着空港名	原仕出国名 発空港名

2-4 調査票回収率

調査票の回収率等は、図表2-4-1に示すとおりである。

図表2-4-1 調査票の回収状況

地域	調査対象 事業者数	調査票 回収事業者数	回収率 (事業者別)	集計件数	
				輸出	輸入
上海市	154社	44社	28.6%	1,369件	1,031件
上海以外の6地域	106社	6社	5.7%		
計	260社	50社	19.2%	1,369件	1,031件

- 注) 1. 集計件数は、集計したHAWBの枚数。
2. 参考までに、上海浦東国際空港におけるエアラインの足元の輸出入貨物取扱実績から、同空港の11月の国際貨物取扱量(HAWB件数ベース)は17千件前後と推計され、今回調査の集計分は母集団の約2割弱をカバーしているものと推察される。

ちなみに回収データから、上海浦東国際空港を利用している航空会社をみると、図表2-4-2の通りであり、中国系航空会社をはじめとしてアジア、欧州、北米の主要な航空会社が上海浦東国際空港を利用していることがわかる。

図表 2-4-2 上海浦東国際空港を利用している主な航空会社

輸出		輸入	
地域	航空会社	地域	航空会社
中国	Air China International Corporation	中国	Air China International Corporation
	China Cargo Airlines		China Cargo Airlines
	China Eastern Airlines		China Eastern Airlines
	China Southern Airlines		China Southern Airlines
	Shanghai Airlines		Shanghai Airlines
アジア	Air Macau Company Limited	アジア	Air Macau Company Limited
	All Nippon Airways		All Nippon Airways
	Asiana Airlines		Asiana Airlines
	Asia Overnight Express Corporation		Asia Overnight Express Corporation
	Cathay Pacific Airways		Cathay Pacific Airways
	Hong Kong Dragon Airlines Limited		Garuda Indonesia
	Japan Airlines International		Hong Kong Dragon Airlines Limited
	Korean Air Lines		Japan Airlines International
	Malaysia Airline System Berhad		Korean Air Lines
	Mandarin Airlines		Malaysia Airline System Berhad
	Nippon Cargo Airlines		Nippon Cargo Airlines
	Philippine Airlines		Singapore Airlines Limited
	Singapore Airlines Limited		Thai Airways International
Thai Airways International			
北米	Air Canada	北米	Air Canada
	American Airlines		American Airlines
	Armenian International Airways		Fedex
	Northwest Airlines		North American Airlines
	UPS		Northwest Airlines
	US Airways		UPS
欧州	Air France	欧州	Air France
	British Airways		British Airways
	Deutsche Lufthansa AG		Deutsche Lufthansa AG
	KLM Royal Dutch Airlines		KLM Royal Dutch Airlines

注) アルファベット順。

3. 調査結果

3-1 国際航空貨物（一般貨物）の流動現況

本項では、国際宅配便を除く一般貨物の流動現況・内容・特性を示す。^{注)}

- 注) 1. 品目・税関・地域の区分については、付属資料3~4を参照のこと。
2. 税関区分については、各省、直轄市（下記注4参照）、自治区を管轄する主要な税関をリストアップした。なお、当該税関の下には、下位の税関が複数設置されている。
3. 品目区分については、機械機器を中心に、一般的にみて航空輸送適合貨物と考えられる主要な品目をリストアップした。
4. 地域区分は、行政区分である各省および直轄市（北京市、重慶市、上海市、天津市）、特別行政区（マカオ、香港）、自治区を基本とした。

（1）発生・集中地（⇒図表：12~14ページ）

浦東国際空港を利用する国際航空貨物の発生・集中地（輸出貨物の国内仕出地・輸入貨物の国内仕向地）の地域別分布状況を見ると、やはり浦東国際空港のお膝元である上海市への集中傾向が顕著であり、輸出で件数58.1%・重量71.3%、輸入で件数61.3%・重量45.4%を占める。以下、江蘇省（輸出：件数30.5%・重量20.9%、輸入：件数23.0%・重量44.2%）、浙江省（輸出：件数8.1%・重量4.6%、輸入：件数5.7%・重量3.1%）と続くが、上海市と隣接する江蘇省・浙江省を含めると、浦東国際空港を利用する輸出貨物の約97%（件数96.7%・重量96.8%）、輸入貨物でも9割台（件数90.0%・重量92.7%）に達する。

このように浦東国際空港を利用する国際航空貨物の発生・集中地は上海市を中心とする狭いエリアへの集積を見せているが、数量は少ないものの同空港を利用する貨物の発生・集中地の広がりとしては、輸出貨物が北は遼寧省・西は甘肅省・南は広東省／香港、輸入貨物では北は吉林省・西は四川省・南は広東省まで、内陸部を含む広い地域に分布している。

（2）通関場所及び発生・集中地との関係（⇒図表：15~18ページ）

浦東国際空港を利用する国際航空貨物の通関場所（輸出入申告税関）を見ると、輸出・輸入とも上海税関の利用が多く、当該税関の輸出全体に占める割合は件数83.4%・重量93.9%、輸入では件数76.4%・重量58.8%となっている。このように、上海税関への集中が顕著であるが、上海税関に次いで申告の多いのが南京税関（江蘇省）である。南京税関での通関は輸出が件数14.0%・重量4.3%、輸入は件数17.6%・重量39.3%となっている。この2つの税関で、件数・重量ともに浦東国際空港を利用する輸出貨物全体の98%前後とほぼ全数近い割合に達し、輸入貨物でも件数で94.0%、重量で98.1%を占める結果となっている。

もちろん、浦東国際空港を利用する国際航空貨物について、上海・南京税関以外の税関に申告するケースもみられるが、その数は少なく、輸入貨物での杭州税関や寧波税関（ともに浙江省）での取扱いが目につく程度である。

発生・集中地と通関場所の関係（重量ベース）を見ると、輸出については江蘇省の発貨物が地元の南京税関で通関されるケースが全体の2割弱を占めているほかは、発生地に関わらず上海税関で通関するケースが圧倒的に多い。一方、輸入においては、上海税関で通関するケースがなお多く見受けられるものの、江蘇省向けの輸入貨物の8割が地元の南京税関で通関されていることをはじめとして、輸出に比べて貨物の届け先の現地税関で通関するケースが多くなる。

（3）相手国地域及び発生・集中地との関係（⇒図表：19～22ページ）

浦東国際空港を利用する国際航空貨物の相手国地域別の内訳を見ると、輸出全体に占める相手国地域別割合は、件数ではアジア^{注1}が63.5%と他を大きく引き離しており、次いで欧州（19.1%）・北米（13.9%）が上位を占める。一方、重量では欧州（39.8%）、アジア（37.6%）、北米（20.3%）の順であり、アジアと欧州がそれぞれ全体の4割近くを占め、肩を並べている。輸入全体に占める相手国地域別割合は、件数でアジア（83.4%）・欧州（8.1%）・北米（7.3%）、重量でもアジア（87.8%）・欧州（6.8%）・北米（5.1%）の順となっており、アジアのウエイトが8割台に達する。

発生・集中地と相手国地域を重量ベースで見ると、浦東国際空港を利用する国際航空貨物の最大の集積が見られる上海市では、それに続く江蘇省・浙江省の輸出貨物全体に占めるアジア地域向けの割合が6割台と半数以上を占めているのに対して、当該比率が2割台半ばにとどまり、代わって欧州・北米向けの合計ウエイトが7割台（欧州向け48.8%、北米向け21.6%）と大きな割合を占めている^{注2}。輸入貨物については、このような目立った違いは見られず、上海市・江蘇省はともにアジア地域からの輸入貨物の割合が8～9割台と、大きなウエイトを占めている。なお、アジア地域の中では、輸入においては輸出に比べて極東地域への集中傾向が強く出る結果となったが、とりわけ浦東国際空港を利用して江蘇省への運び込まれるアジア地域からの輸入航空貨物の9割強が、極東地域からのものであった。

また相手国地域別の発着空港を見ると、輸出では、アジアは香港、仁川、関西、成田、チャンギ（シンガポール）、スワンナプーム（タイ）、台湾桃園、などの各国際空港に到着している。欧米では、ヒースロー（イギリス）、スキポール（オランダ）、ブリュッセル（ベルギー）、ルクセンブルグ、シャルル・ド・ゴール（フランス）、アトランタ、オヘア（米国）、ロサンゼルス、などの各国際空港に到着している。

輸入では、アジアは成田、香港、関西、台湾桃園、スワンナプーム、クアラルンプールなどの各国際空港に到着している。欧米では、ブリュッセル、ケルン・ボン（ドイツ）、フランクフルト、シャルル・ド・ゴール、デトロイト・メトロポリタン・ウェイン・カウンティ（米国）、オヘア、等の各国際空港から到着している。

注1) アジア地域：極東+東南アジア+中近東

注2) 件数ベースの数字で見れば、こうした格差はかなりマイルドなものとなるが、それでも上海市と江蘇省・浙江省の相手国地域構成に見られる違いの存在が確認されることに変わりはない。

（４）全体の流れ（⇒図表：23～24 ページ）

（１）～（３）で見た発生・集中地－税関－空港（浦東国際空港）－相手国地域間の輸出入航空貨物の流れ（重量ベース）を、図表3－1－7に示す。

図表 3-1-1 地域別発着貨物量総括表

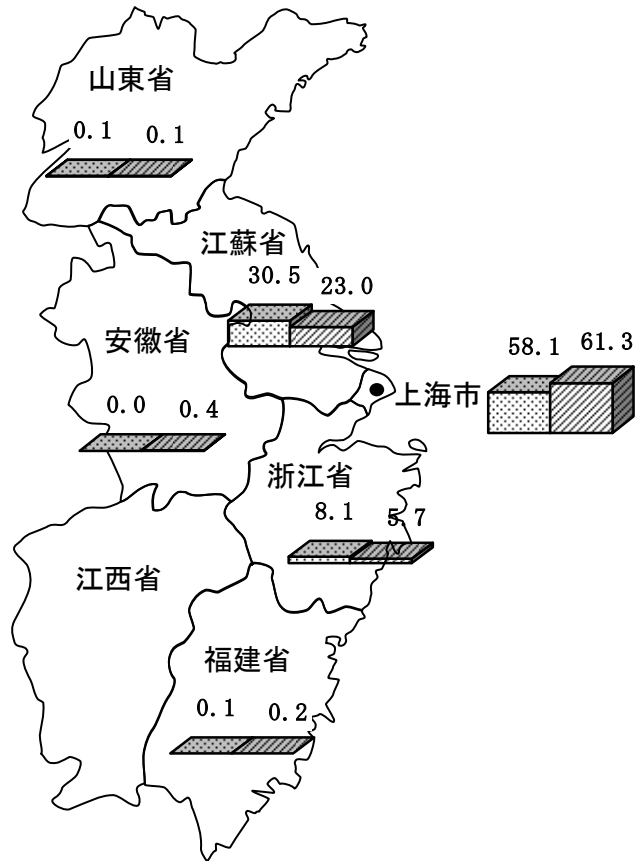
	輸 出				輸 入				合 計			
	件数 (件)		重量 (kg)		件数 (件)		重量 (kg)		件数 (件)		重量 (kg)	
		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
上 海 市	796	58.1%	706,834	71.3%	632	61.3%	417,855	45.4%	1,428	59.5%	1,124,689	58.8%
江 蘇 省	418	30.5%	207,479	20.9%	237	23.0%	406,860	44.2%	655	27.3%	614,339	32.1%
浙 江 省	111	8.1%	45,327	4.6%	59	5.7%	28,368	3.1%	170	7.1%	73,694	3.9%
湖 北 省	-	0.0%	-	0.0%	3	0.3%	1,406	0.2%	3	0.1%	1,406	0.1%
四 川 省	-	0.0%	-	0.0%	4	0.4%	7,405	0.8%	4	0.2%	7,405	0.4%
遼 寧 省	2	0.1%	1,752	0.2%	2	0.2%	174	0.0%	4	0.2%	1,926	0.1%
吉 林 省	-	0.0%	-	0.0%	3	0.3%	555	0.1%	3	0.1%	555	0.0%
天 津 市	-	0.0%	-	0.0%	1	0.1%	1,176	0.1%	1	0.0%	1,176	0.1%
河 北 省	1	0.1%	22	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	0.0%	22	0.0%
山 西 省	4	0.3%	128	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	4	0.2%	128	0.0%
安 徽 省	-	0.0%	-	0.0%	4	0.4%	1,464	0.2%	4	0.2%	1,464	0.1%
福 建 省	1	0.1%	1,104	0.1%	2	0.2%	11,844	1.3%	3	0.1%	12,948	0.7%
山 東 省	1	0.1%	177	0.0%	1	0.1%	12	0.0%	2	0.1%	189	0.0%
河 南 省	1	0.1%	269	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	0.0%	269	0.0%
広 東 省	3	0.2%	1,901	0.2%	2	0.2%	346	0.0%	5	0.2%	2,247	0.1%
甘 肅 省	1	0.1%	94	0.0%	-	0.0%	-	0.0%	1	0.0%	94	0.0%
香 港	1	0.1%	1,896	0.2%	-	0.0%	-	0.0%	1	0.0%	1,896	0.1%
そ の 他 ・ 不 明	29	2.1%	24,484	2.5%	81	7.9%	43,606	4.7%	110	4.6%	68,089	3.6%
合 計	1,369	100.0%	991,466	100.0%	1,031	100.0%	921,069	100.0%	2,400	100.0%	1,912,535	100.0%

注) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある(以下の各表同じ)。

図表3-1-2(1) 地域別発着貨物量シェア

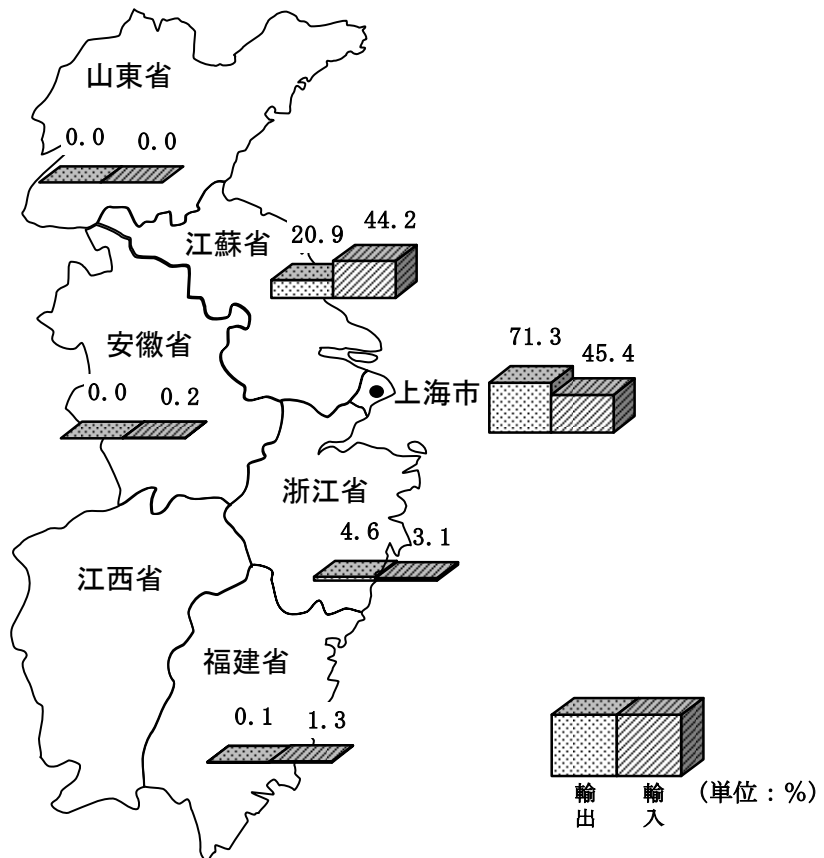
①件数

輸出 1,369件
 輸入 1,031件

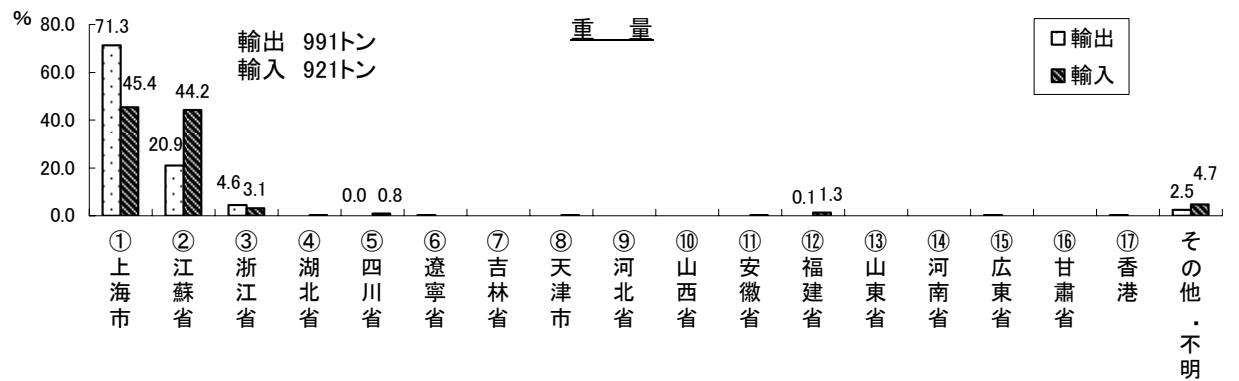
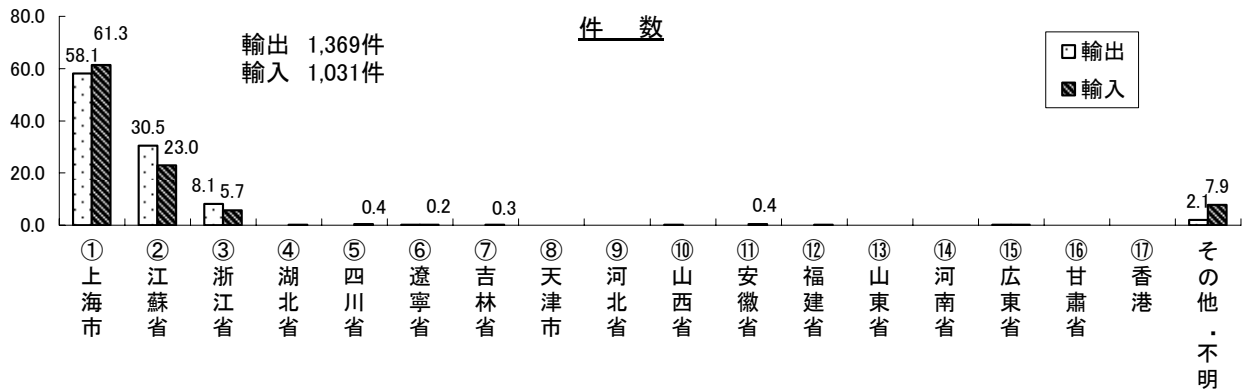


②重量

輸出 991トン
 輸入 921トン



図表3-1-2(2)



図表3-1-3(1) 発生・集中地と通関場所

(1) 輸出

(上段…件数：件)

(下段…重量：ト)

	上海 税関	南京 税関	杭州 税関	寧波 税関	武漢 税関	成都 税関	瀋陽 税関	長春 税関	天津 税関	合肥 税関	アモイ 税関	黃埔 税関	大連 税関	不明	合 計
上 海 市	781	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	796
	701	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	707
江 蘇 省	224	178	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15	418
	157	39	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	11	207
浙 江 省	94	3	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	111
	41	0	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	45
湖 北 省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四 川 省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遼 寧 省	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
吉 林 省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天 津 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河 北 省	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
山 西 省	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
安 徽 省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福 建 省	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山 東 省	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
河 南 省	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広 東 省	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
甘 肅 省	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
香 港	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
その他・不明	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	29
	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	24
合 計	1,142	191	8	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	27	1,369
	931	43	2	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-	15	991

注) 「0」は取扱いはあるが四捨五入しても1トンに満たないものである。「-」は取扱いがないことを示す。(以下の図表において同じ。)

図表3-1-3(2) 発生・集中地と通関場所

(2) 輸入

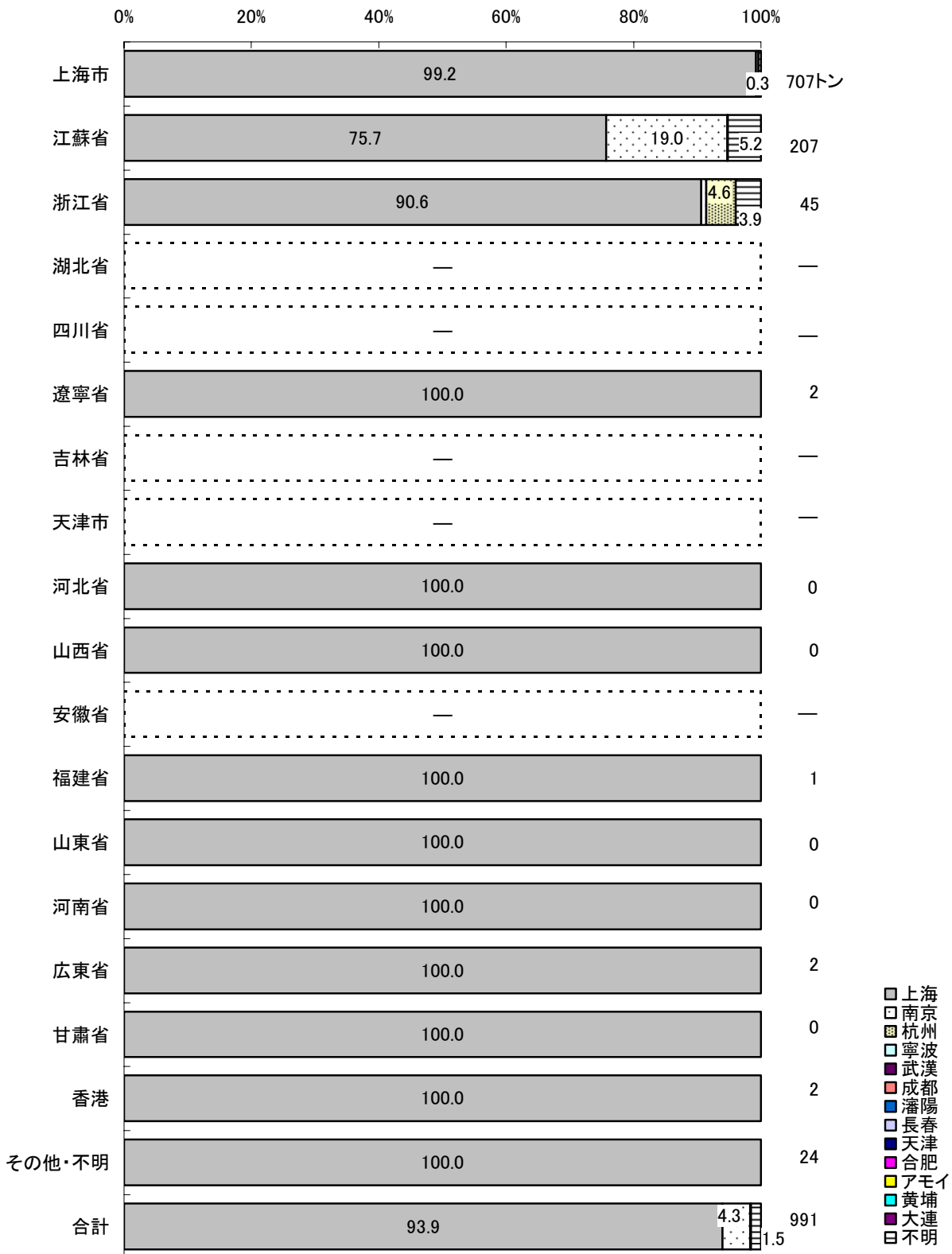
(上段…件数：件)

(下段…重量：ト)

	上海 税関	南京 税関	杭州 税関	寧波 税関	武漢 税関	成都 税関	瀋陽 税関	長春 税関	天津 税関	合肥 税関	アモイ 税関	黃埔 税関	大連 税関	不明	合 計
上 海 市	628 417	1 0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 0	632 418
江 蘇 省	123 82	106 325	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	8 1	237 407
浙 江 省	20 15	- -	16 10	23 4	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	59 28
湖 北 省	1 1	- -	- -	- -	2 0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 1
四 川 省	3 7	- -	- -	- -	- -	1 0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	4 7
遼 寧 省	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 0	- -	- -	- -	- -	- -	1 0	- -	2 0
吉 林 省	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 1
天 津 市	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 1	- -	- -	- -	- -	- -	1 1
河 北 省	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
山 西 省	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
安 徽 省	3 1	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 0	- -	- -	- -	- -	4 1
福 建 省	1 12	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 0	- -	- -	- -	2 12
山 東 省	1 0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 0
河 南 省	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
広 東 省	1 0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 0	- -	- -	2 0
甘 肅 省	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
香 港	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
その他・不明	7 6	74 37	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	81 44
合 計	788 542	181 362	16 10	23 4	2 0	1 0	1 0	3 1	1 1	1 0	1 0	1 0	1 0	11 1	1,031 921

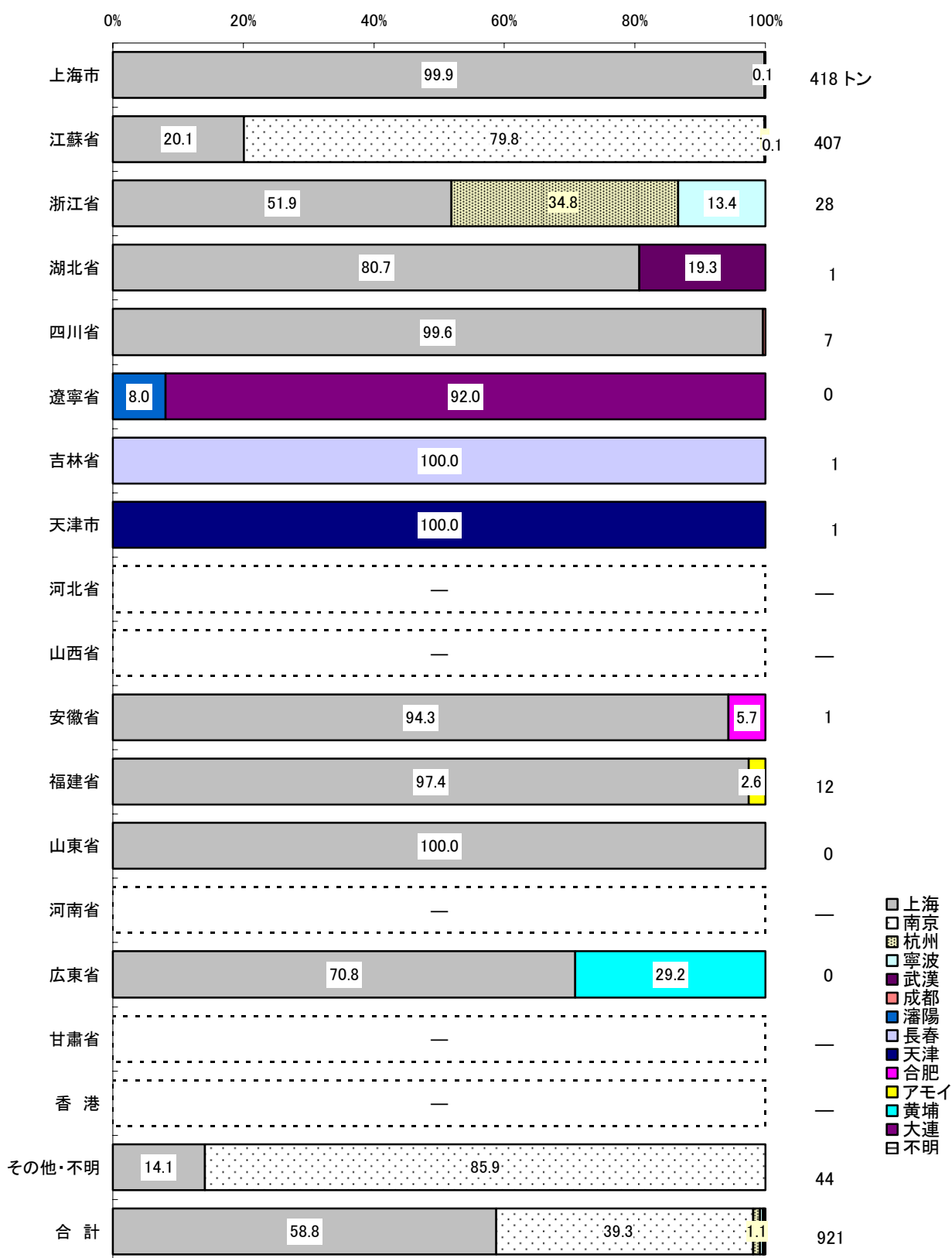
図表3-1-4(1) 発生・集中地と通関場所(重量構成比)

(1) 輸出



図表 3-1-4 (2) 発生・集中地と通関場所 (重量構成比)

(2) 輸入



図表 3-1-5 (1) 発生・集中地と相手国地域

(1) 輸出

(上段…件数：件)

(下段…重量：ト)

	日 本	その他 極 東	東 南 ア ジ ア	中近東	欧 州	北 米	中南米	アフリカ	大洋州	合 計
上海市	141	96	192	9	198	123	6	5	26	796
	42	55	90	3	345	153	3	2	14	707
江蘇省	157	45	130	-	38	44	1	-	3	418
	35	19	76	-	40	36	0	-	0	207
浙江省	33	7	29	1	16	18	1	1	5	111
	11	2	15	1	5	10	0	0	2	45
湖北省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四川省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遼寧省	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
	-	-	-	-	-	0	-	-	2	2
吉林省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
天津省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
河北省	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
山西省	-	-	4	-	-	-	-	-	-	4
	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
安徽省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福建省	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
山東省	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	-	-	-	-	0	-	-	-	-	0
河南省	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0
広東省	-	-	1	-	1	1	-	-	-	3
	-	-	1	-	1	0	-	-	-	2
甘肅省	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
香 港	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
その他 ・不明	5	2	7	6	7	2	-	-	-	29
	1	2	12	8	2	1	-	-	-	24
合 計	337	150	366	16	261	190	8	6	35	1,369
	89	77	196	11	394	201	3	2	18	991

図表3-1-5(2) 発生・集中地と相手国地域

(2) 輸入

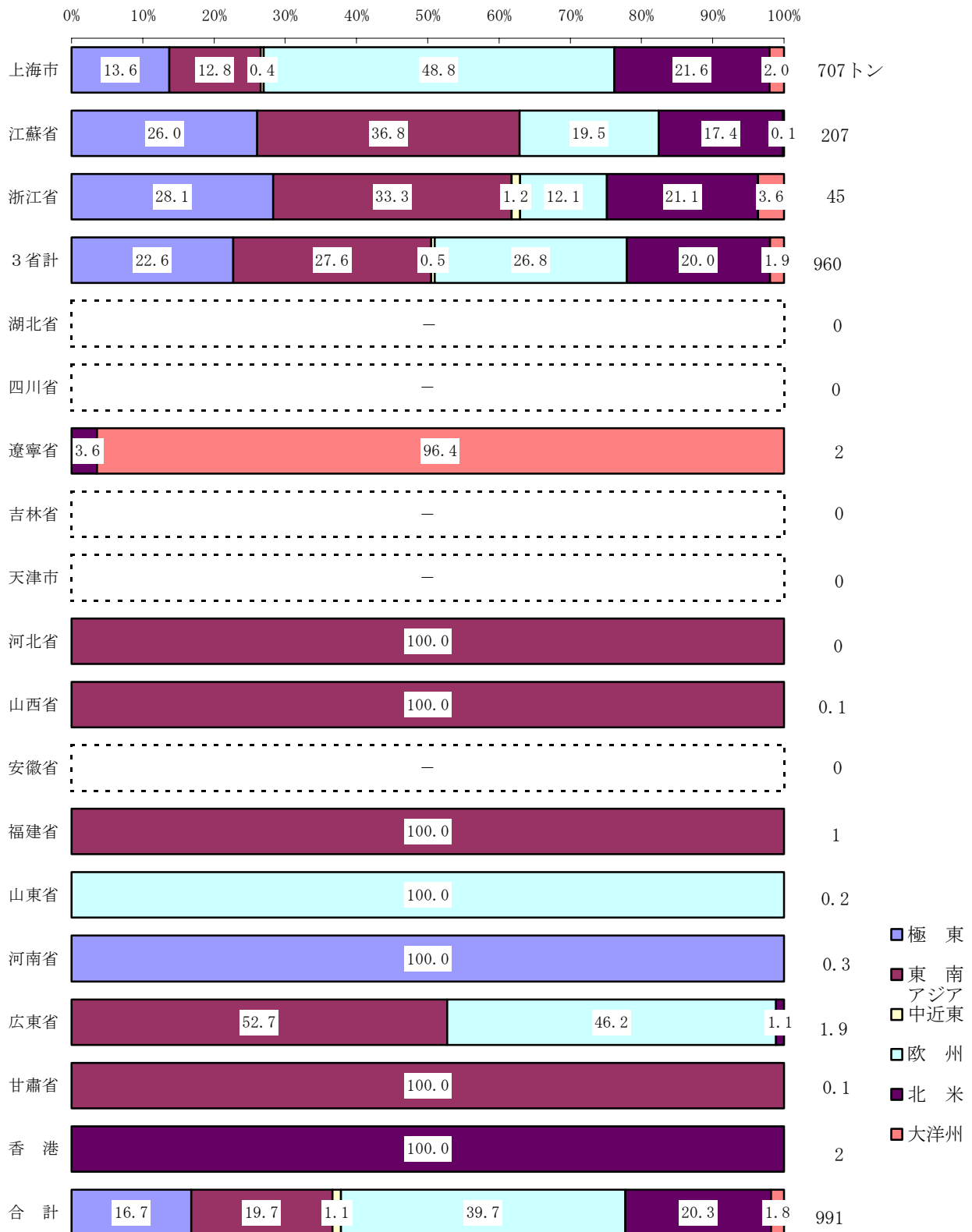
(上段…件数：件)

(下段…重量：ト)

	日 本	その他 極 東	東 南 ア ジ ア	中近東	欧 州	北 米	中南米	アフリカ	大洋州	合 計
上海市	228	86	205	-	65	42	-	4	2	632
	163	55	141	-	27	30	-	1	0	418
江蘇省	161	22	32	-	9	9	-	4	-	237
	310	42	32	-	20	3	-	0	-	407
浙江省	32	9	14	-	4	-	-	-	-	59
	8	1	12	-	8	-	-	-	-	28
湖北省	1	1	1	-	-	-	-	-	-	3
	0	1	0	-	-	-	-	-	-	1
四川省	-	-	2	-	2	-	-	-	-	4
	-	-	0	-	7	-	-	-	-	7
遼寧省	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2
	-	-	0	-	-	0	-	-	-	0
吉林省	2	-	-	-	1	-	-	-	-	3
	0	-	-	-	0	-	-	-	-	1
天津省	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
河北省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山西省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安徽省	2	-	-	-	2	-	-	-	-	4
	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1
福建省	1	-	-	-	-	1	-	-	-	2
	0	-	-	-	-	12	-	-	-	12
山東省	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
河南省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広東省	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
	-	-	0	-	-	-	-	-	-	0
甘肅省	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香 港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他 ・不明	8	27	21	-	-	22	-	1	2	81
	6	7	28	-	-	3	-	0	0	44
合 計	436	145	279	-	83	75	-	9	4	1,031
	489	107	213	-	63	47	-	1	0	921

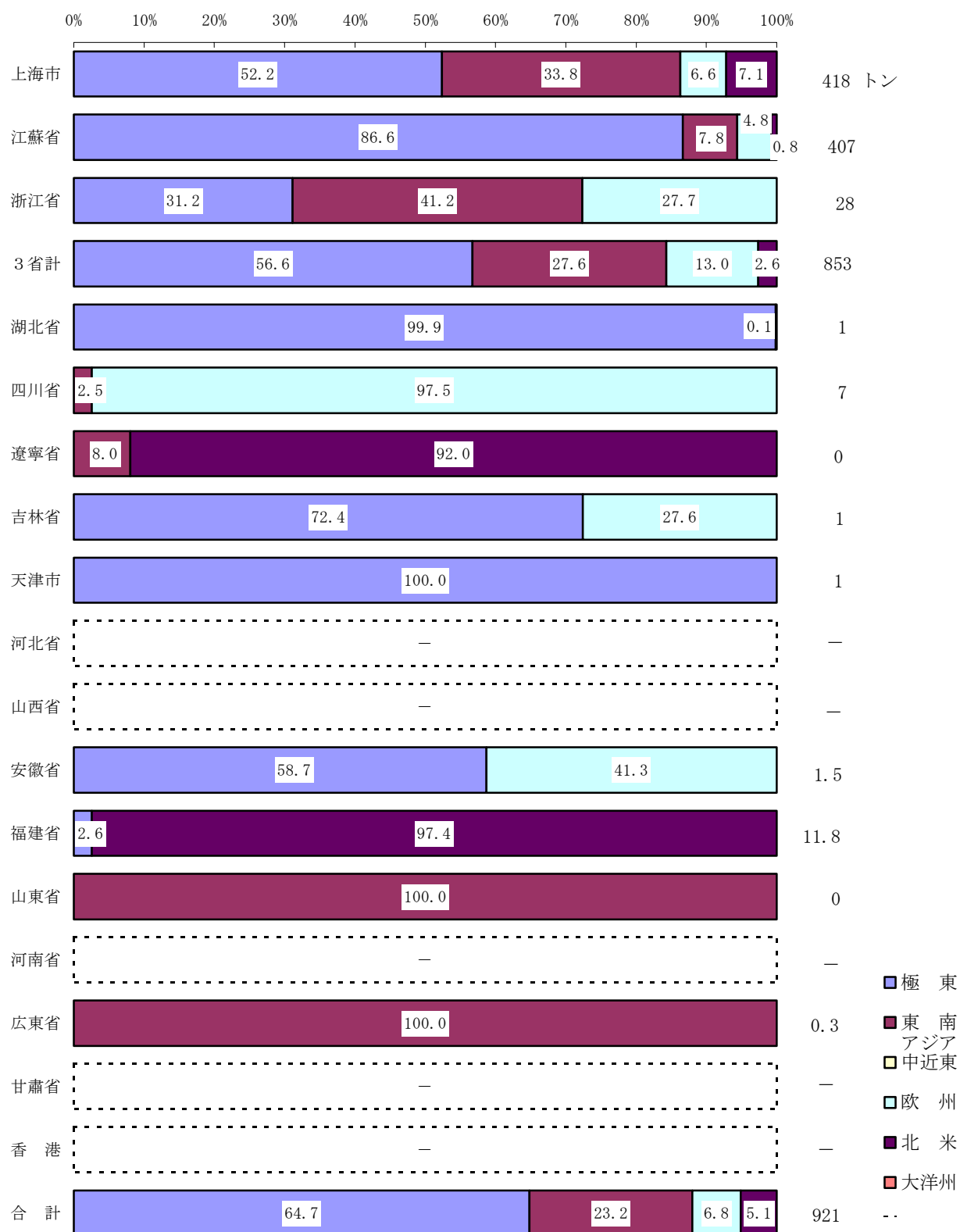
図表3-1-6(1) 発生・集中地と相手国地域(重量構成比)

(1) 輸出



図表 3-1-6 (2) 発生・集中地と相手国地域 (重量構成比)

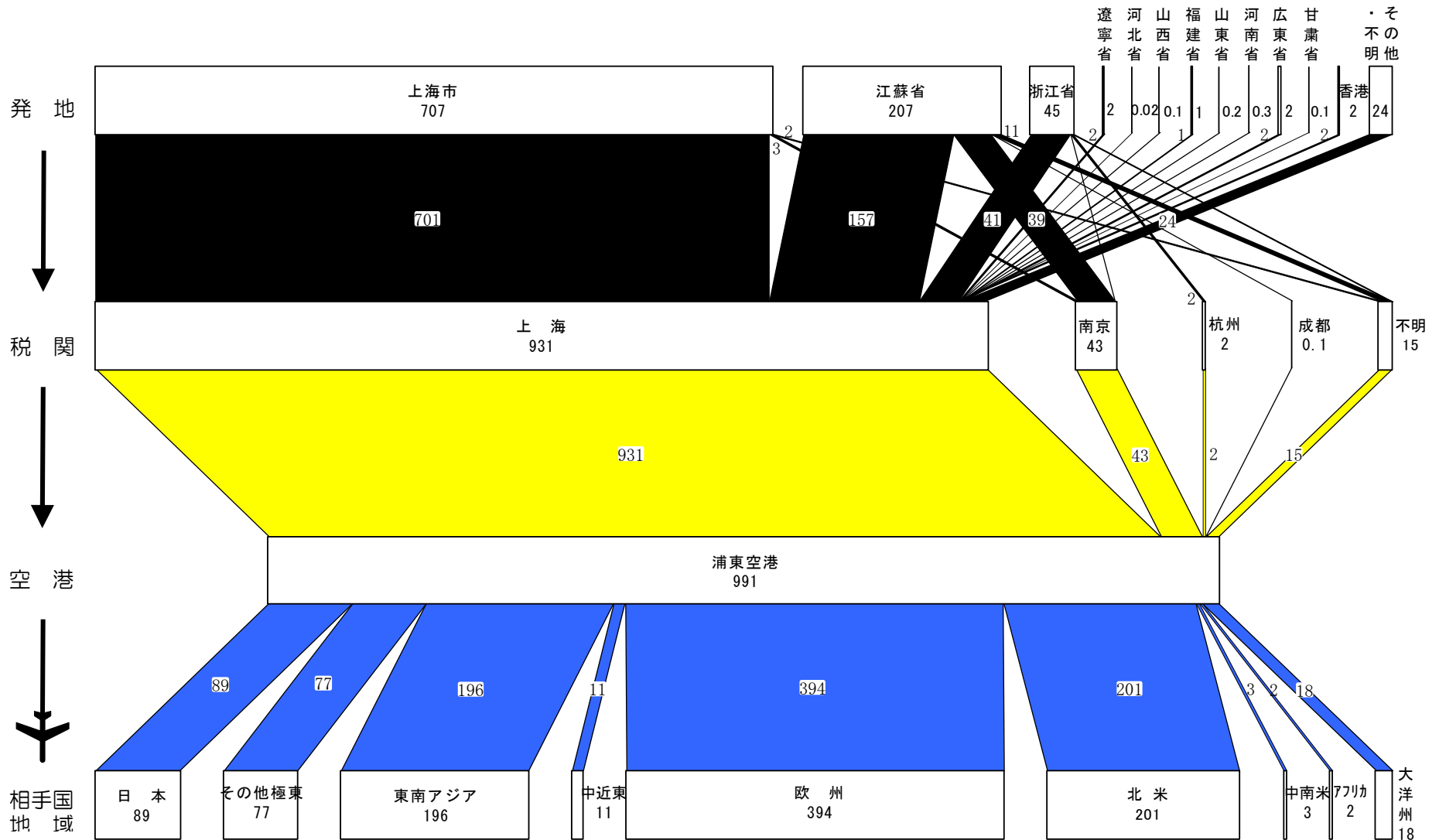
(2) 輸入



図表3-1-7(1) 上海航空貨物流動パターン(重量ベース)

①輸出

(単位:トン)

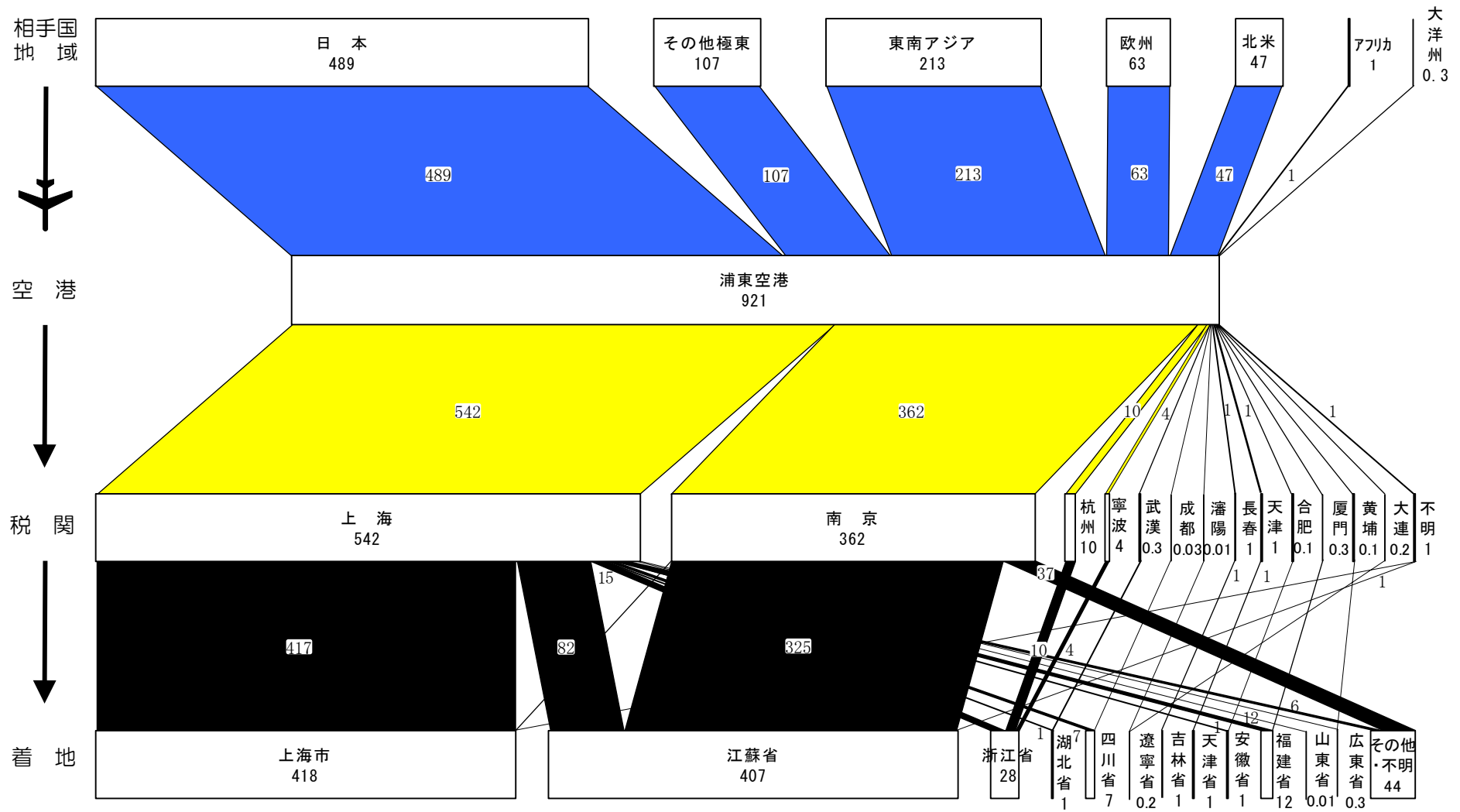


注) 税関、相手国地域区分については付属資料編・資料4を参照。相手国地域極東のうち日本は89トン。

図表3-1-7(2) 上海航空貨物流動パターン(重量ベース)

②輸入

(単位：トン)



注) 税関、相手国地域区分については付属資料編・資料4を参照。相手国地域極東のうち日本は489トン。

3-2 国際航空貨物（一般貨物）の内容

（1）混載化率と品目別 1 件当たり重量（⇒図表：27～29 ページ）。

浦東国際空港を利用する国際航空貨物全体に占める混載貨物^注の割合（混載化率）は、輸入貨物が輸出貨物を上回っている。件数・重量ともに9割を超える輸入の混載化率（件数 91.9%・重量 93.7%）に対して、輸出は件数 54.3%・重量 47.8%と、輸出貨物における混載仕立ては輸入のほぼ半分に近い水準にとどまっている。また輸出貨物 1 件当たりの平均重量が、小口貨物 827 kg に対して混載貨物は 638 kg と、混載貨物が小口貨物の重量を下回る水準にある。なお、輸入貨物の 1 件当たりの平均重量は、小口貨物 718 kg、混載貨物 911 kg である。

ここで、国際航空貨物全体としての 1 件当たり平均重量を見ると、輸出が 724 kg、輸入が 893 kg であり、輸入が輸出の 1.23 倍となっている。もちろん個々の品目別に見ると、全ての品目で 1 件当たりの輸入貨物重量が輸出のそれを上回っているわけではないが、重量の大きな品目は輸入貨物に多く見られる。また、映像機器・TV 類、電気計測機器、科学光学機器・カメラ・時計、自動車部品等の機械機器類や化学製品その他などの輸入平均重量が 1 トンを超える水準となっている。

発生・集中地と混載貨物取扱いの関係を重量ベースで見ると、輸入貨物に関してはほとんどの地域で混載貨物が大半を占めているが、輸出貨物については浦東国際空港を利用する国際航空貨物が最も集積している上海市で小口貨物が混載貨物を上回っており、江蘇省・浙江省地域においても混載貨物が小口貨物の数量を僅かに上回る水準で大きな差は見られない。

注) 一般の国際航空貨物は、荷送人と航空会社（航空貨物代理店）との間で直接契約による運送が行われる「小口貨物（直送貨物）」と、両者の間に混載業者が介在し、複数の荷主の貨物をひとまとめにして大口貨物に仕立てる過程が入る「混載貨物」に大別される。

（2）発生・集中地と品類（⇒図表：30～35 ページ）

浦東国際空港を利用する国際航空貨物の品類別構成を見ると、輸出は件数・重量とも機械機器がそれぞれ全体の 73.7%・74.1%を占めている。輸入貨物においても、機械機器の割合が件数 75.4%・重量 84.0%に達している。機械機器以外には、輸出で繊維・同製品（件数 11.6%、重量 15.2%）のウエイトが目立つ程度である。

発生・集中地と品類構成の関係を見ると、輸出貨物については遼寧省・広東省および香港^{注1}を除く地域で機械機器のウエイトが半数以上を占め最大となっている。最大の貨物集積地域である上海市における機械機器の割合は、件数 69.7%・重量 73.1%であるが、上海市に次いで浦東国際空港を利用する国際航空貨物の多い江蘇省での機械機器の割合は、上海市を上回る水準（件数 84.9%・重量 81.3%）をみせている。なお、浙江省では繊維・同製品のウエイトが相対的に高く、重量ベースでは全体の 4 分

の1を占める。

輸入貨物でも、遼寧省と山東省及び天津市^{注2)}を除く地域で、機械機器のウエイトが半数以上を占め最大（ただし件数ベースのみ）となっている。上海市における機械機器の割合は、件数 74.9%・重量 79.4%であり、上海市に次ぐ江蘇省での機械機器の割合は、輸出と同様に上海市を上回る水準（件数 74.2%・重量 92.9%）にある。なお、重量ベースのみで見れば、機械機器に代わり、湖北省では金属・同製品（80.7%）、安徽省では「その他」品類（58.7%）が大きなウエイトを占めている点が注目される。

注1) サンプル数が少ないが、遼寧省・広東省での取扱品類は繊維・同製品と「その他」品類、香港は「その他」品類であった。

注2) サンプル数が少ないが、遼寧省での取扱品類は化学製品と金属・同製品、山東省は金属・同製品、天津市は非金属鉱物であった。

（3）相手国地域と品目（⇒図表：36～39 ページ）

浦東国際空港を利用する国際航空貨物の相手国地域と品目構成の関係をみると、輸出は各相手国地域における件数・重量ともに、機械機器が最も大きな割合を占めており、アジア^{注1)}・欧州・北米向け輸出に占める機械機器の構成比は、件数ベースでそれぞれ 81.2%・59.9%・67.4%、重量ベースでは 84.5%・68.0%・72.8%となっている。機械機器の内容構成^{注2)}を見ると、機械機器の多様化から“その他”の機械機器が件数・重量とも総じて高い割合を占める傾向にあるが、極東向けでは事務用機器と半導体等電子部品、東南アジア向けは半導体等電子部品、欧州・北米向けは事務用機器のウエイトが相対的に大きくなっている。また、極東・東南アジア以外の地域向けでは、繊維・同製品のウエイトの高さも注目される。

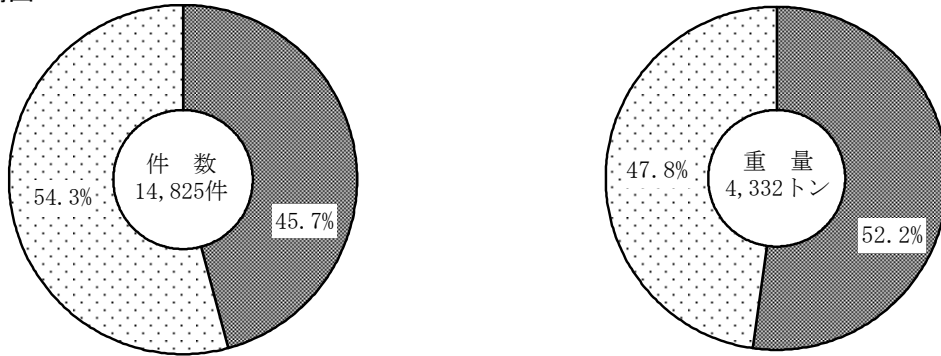
一方、アジア・欧州・北米からの輸入に占める機械機器の構成比をみると、件数ベースでそれぞれ 75.5%・73.5%・80.0%、重量ベースでは 86.0%・71.9%・66.5%となっている。機械機器の内容構成では“その他”の機械機器のウエイトが大きくなっており、輸出以上に多様な内容の機械機器類の輸入が行われていることを示唆している。また、サンプル全体の件数が少ないものの、大洋州からの輸入では半導体等電子部品のウエイトが件数・重量とも5割台を占めている。なお、機械機器以外の品目では、重量ベースで欧州からの繊維・同製品（12.0%）、北米からの化学製品（17.1%）が目立つ程度である。

注1) アジア地域：極東+東南アジア+中近東

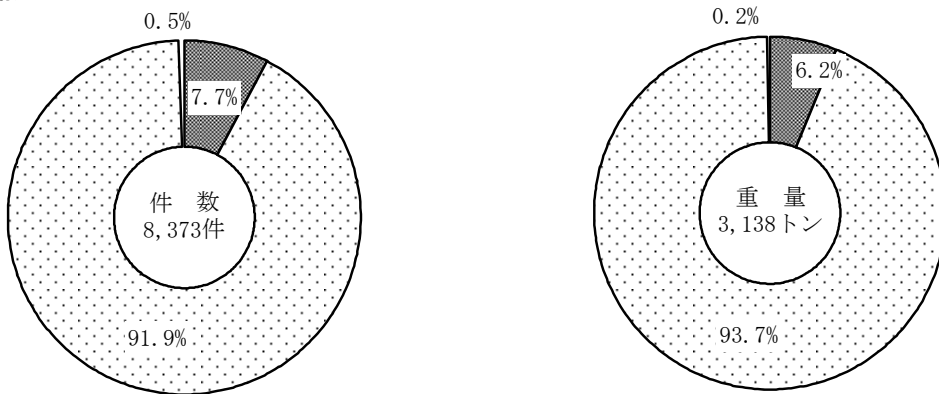
注2) 機械機器：事務用機器等+映像機器等+音響機器等+半導体等+医療用機械+自動車部品+その他の機械機器

図表 3-2-1 小口・混載割合

(1) 輸出



(2) 輸入

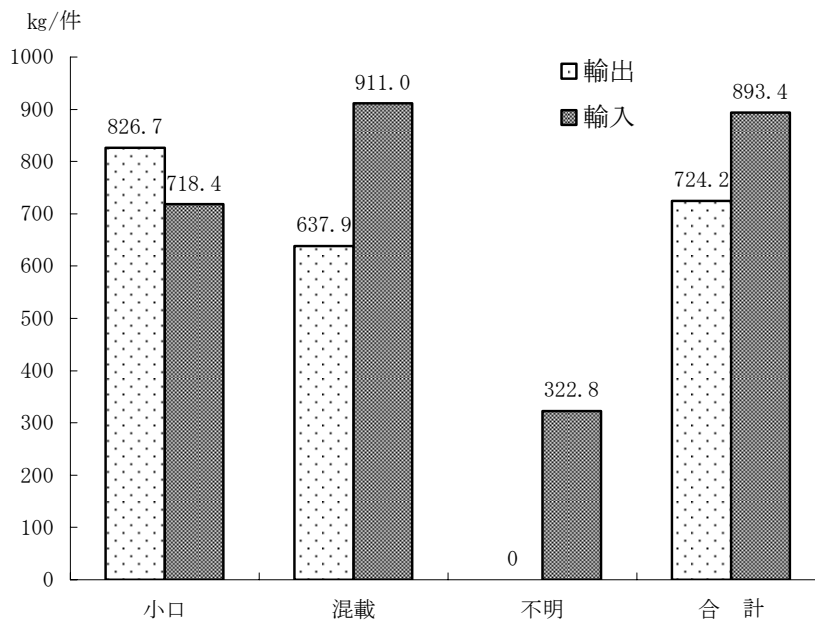


■ 小口扱い
□ 混載扱い

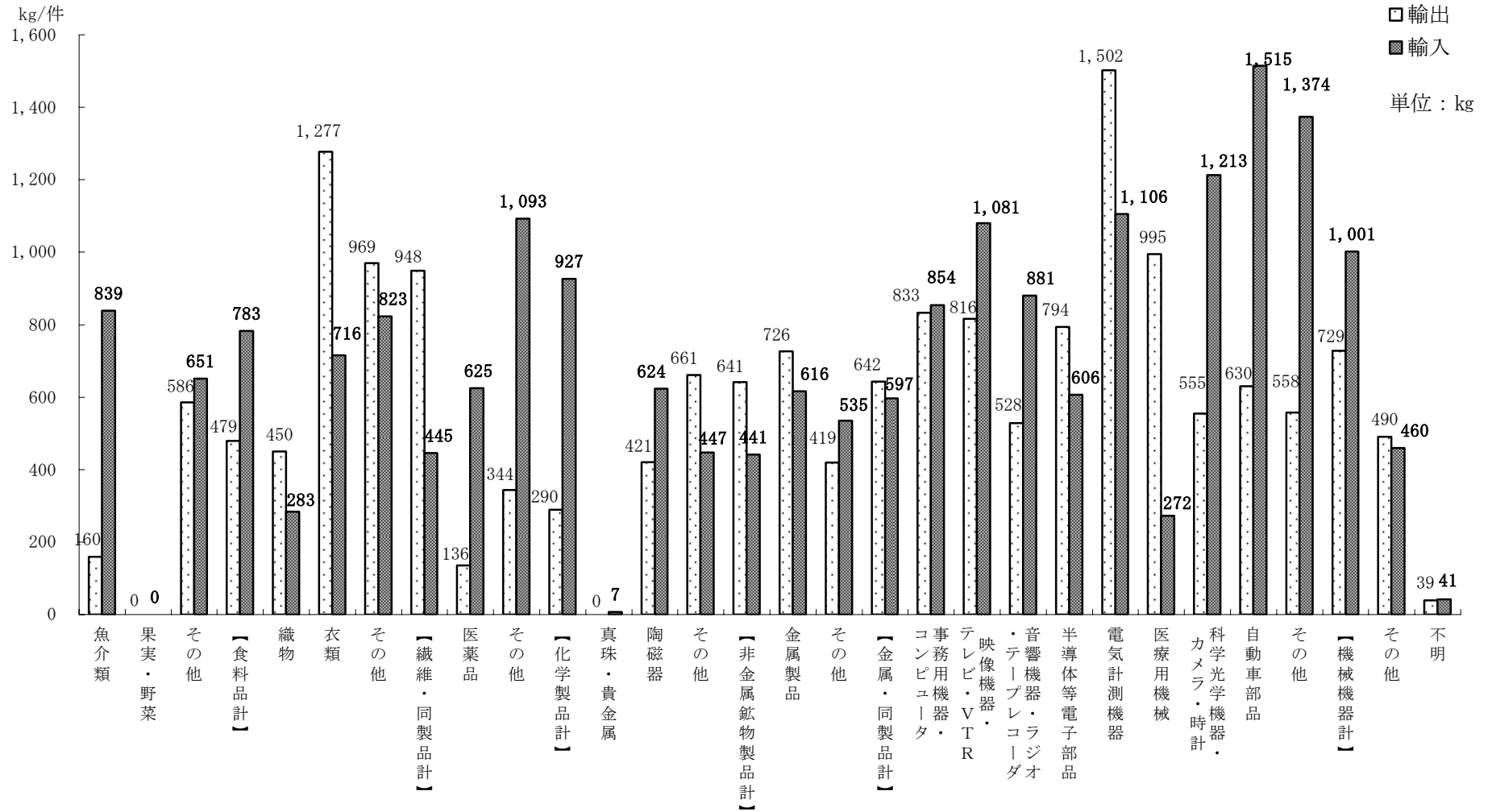
(単位：件・トン)

		小口	混載	不明	合計
輸出	件数	626	743	0	1,369
	重量	518	474	0	991
輸入	件数	79	947	5	1,031
	重量	57	863	1.614	921

図表 3-2-2 小口・混載別 1 件あたり重量



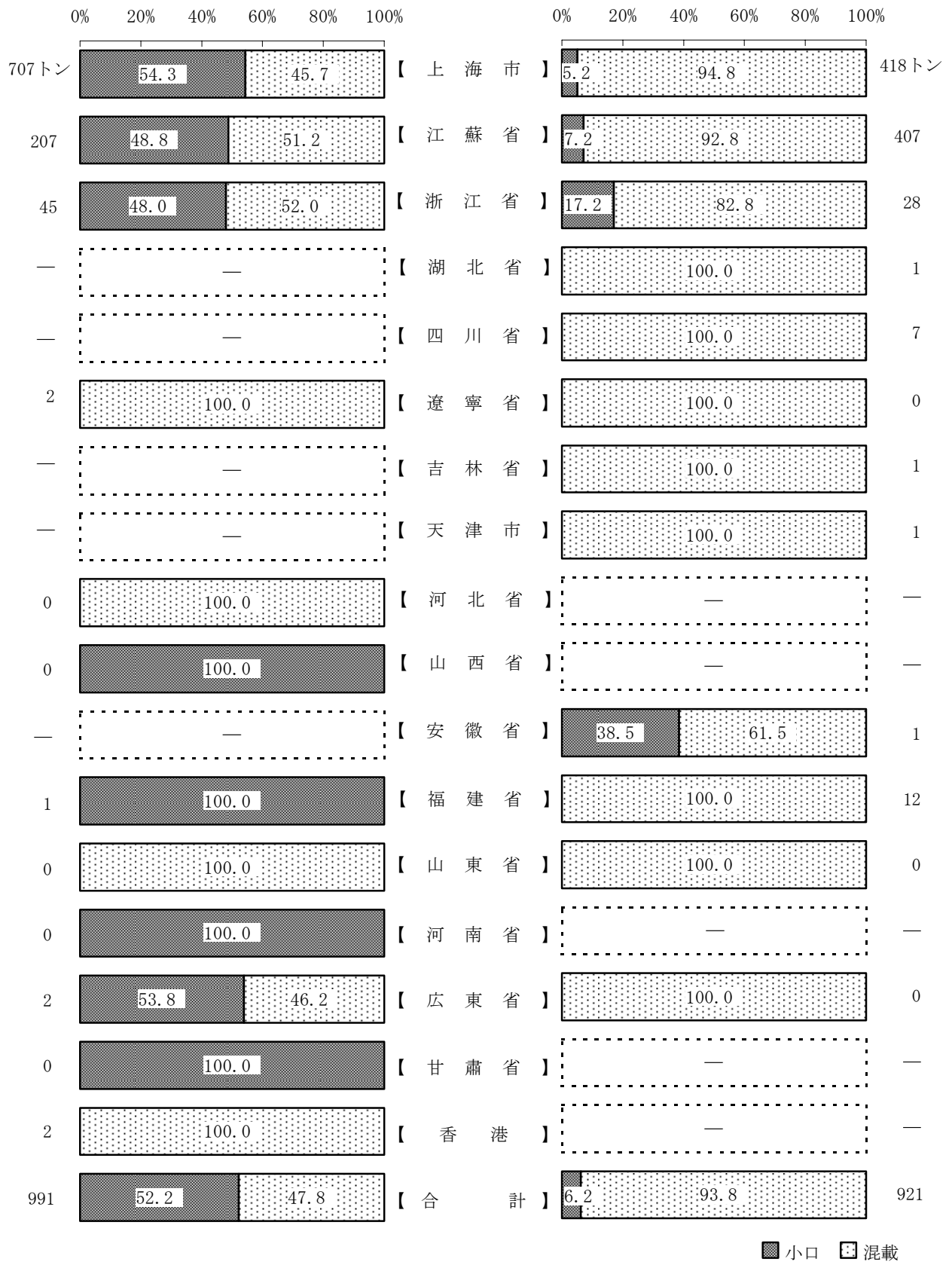
図表3-2-3 品目別1件あたり重量



図表3-2-4 発生・集中地と小口・混載 (重量ベース)

(1) 輸出

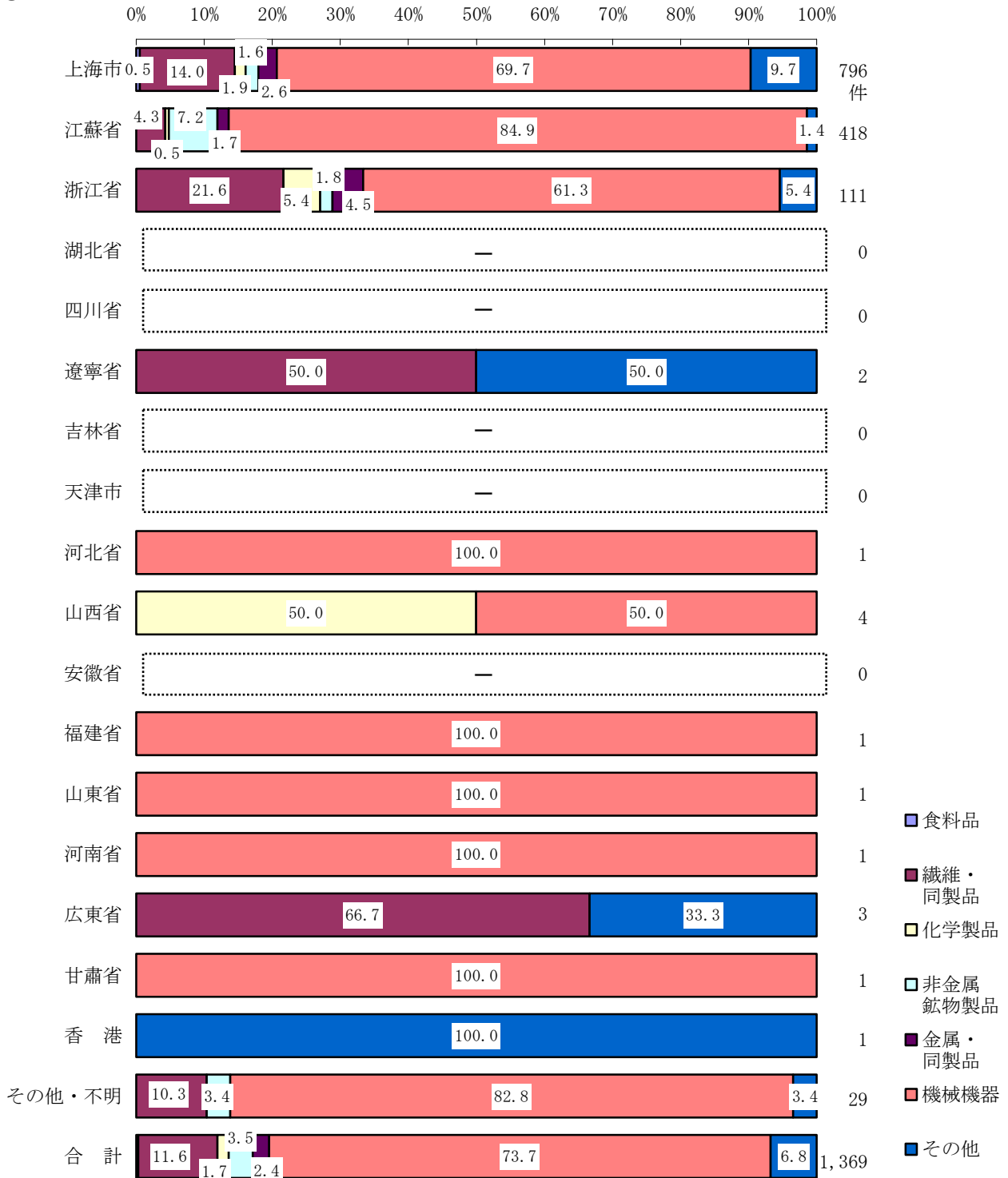
(2) 輸入



注) 合計については不明を含む。

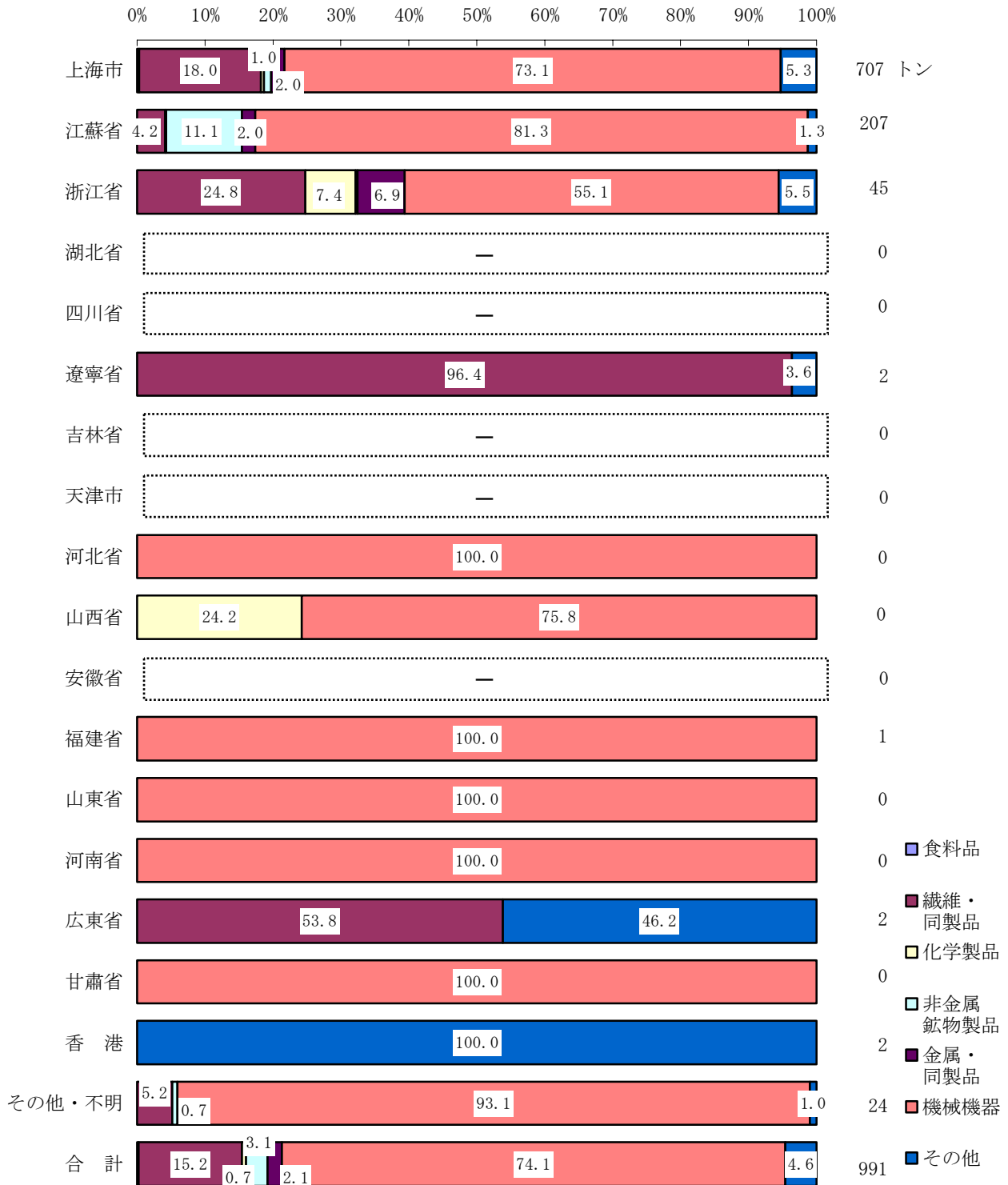
図表3-2-5(1) 発生・集中地と品類

(1) 輸出
①件数ベース



図表3-2-5(2) 発生・集中地と品類

②重量ベース



図表3-2-5(3) 発生・集中地と品類

(1) 輸出

① 件数ベース

単位：%

	食料品	繊維・ 同製品	化学製品	非金属 鉱物製品	金属・ 同製品	機械機器	その他
上海市	0.5	14.0	1.6	1.9	2.6	69.7	9.7
江蘇省	0.0	4.3	0.5	7.2	1.7	84.9	1.4
浙江省	0.0	21.6	5.4	1.8	4.5	61.3	5.4
湖北省	-	-	-	-	-	-	-
四川省	-	-	-	-	-	-	-
遼寧省	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
吉林省	-	-	-	-	-	-	-
天津省	-	-	-	-	-	-	-
河北省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
山西省	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
安徽省	-	-	-	-	-	-	-
福建省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
山東省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
河南省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
広東省	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
甘肅省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
香港	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他・不明	0.0	10.3	0.0	3.4	0.0	82.8	3.4
合計	0.3	11.6	1.7	3.5	2.4	73.7	6.8

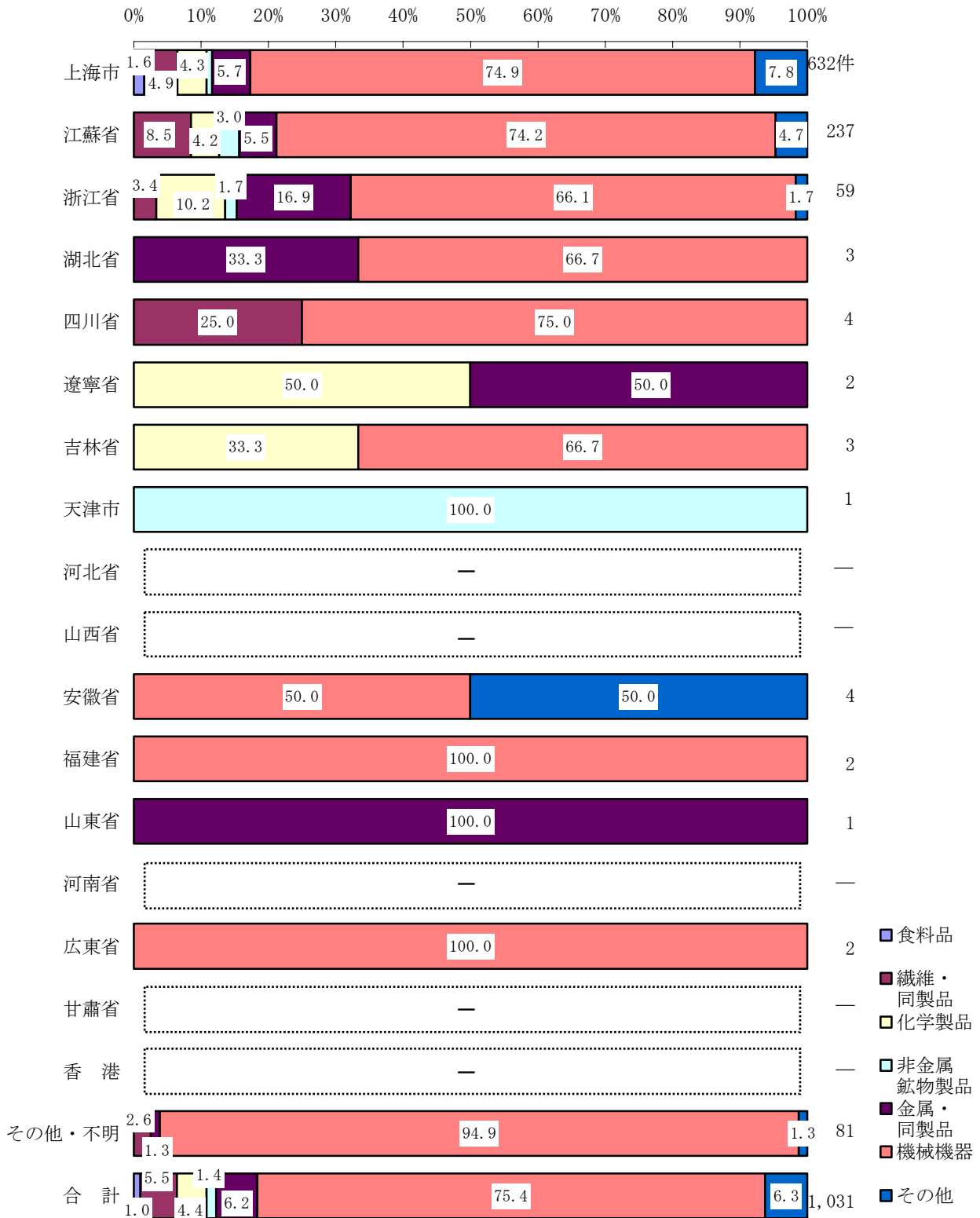
② 重量ベース

単位：%

	食料品	繊維・ 同製品	化学製品	非金属 鉱物製品	金属・ 同製品	機械機器	その他
上海市	0.3	18.0	0.4	1.0	2.0	73.1	5.3
江蘇省	0.0	4.2	0.1	11.1	2.0	81.3	1.3
浙江省	0.0	24.8	7.4	0.3	6.9	55.1	5.5
湖北省	-	-	-	-	-	-	-
四川省	-	-	-	-	-	-	-
遼寧省	0.0	96.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6
吉林省	-	-	-	-	-	-	-
天津省	-	-	-	-	-	-	-
河北省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
山西省	0.0	0.0	24.2	0.0	0.0	75.8	0.0
安徽省	-	-	-	-	-	-	-
福建省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
山東省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
河南省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
広東省	0.0	53.8	0.0	0.0	0.0	0.0	46.2
甘肅省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
香港	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他・不明	0.0	5.2	0.0	0.7	0.0	93.1	1.0
合計	0.2	15.2	0.7	3.1	2.1	74.1	4.6

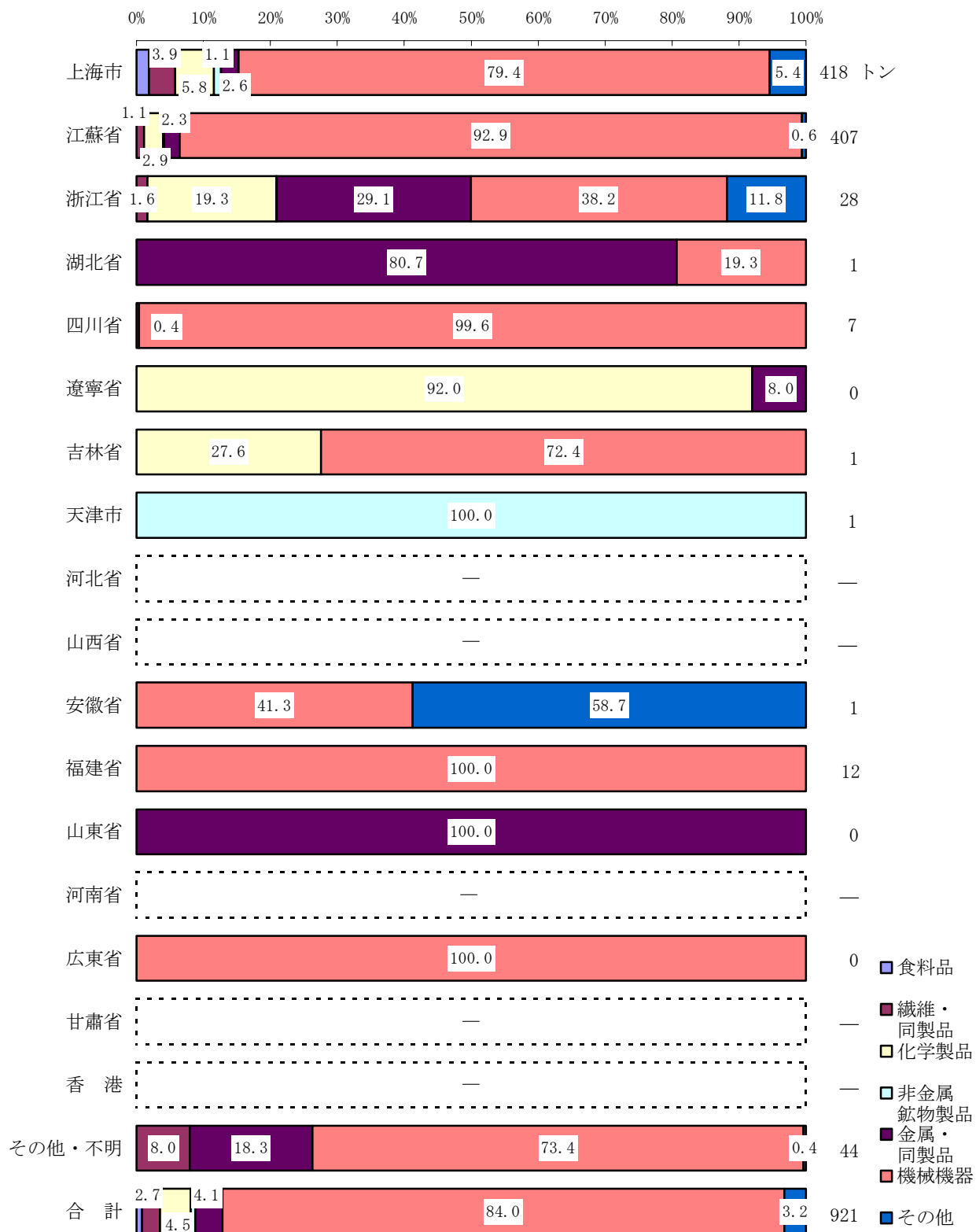
図表3-2-5(4) 発生・集中地と品類

(2) 輸入
① 件数ベース



図表 3-2-5 (5) 発生・集中地と品類

②重量ベース



図表3-2-5(6) 発生・集中地と品類

(2) 輸入

①件数ベース

単位：％

	食料品	繊維・ 同製品	化学製品	非金属 鉱物製品	金属・ 同製品	機械機器	その他
上海市	1.6	4.9	4.3	0.8	5.7	74.9	7.8
江蘇省	0.0	8.5	4.2	3.0	5.5	74.2	4.7
浙江省	0.0	3.4	10.2	1.7	16.9	66.1	1.7
湖北省	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
四川省	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
遼寧省	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
吉林省	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
天津市	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
河北省	-	-	-	-	-	-	-
山西省	-	-	-	-	-	-	-
安徽省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
福建省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
山東省	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
河南省	-	-	-	-	-	-	-
広東省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
甘肅省	-	-	-	-	-	-	-
香港	-	-	-	-	-	-	-
その他・不明	0.0	2.6	0.0	0.0	1.3	94.9	1.3
合計	1.0	5.5	4.4	1.4	6.2	75.4	6.3

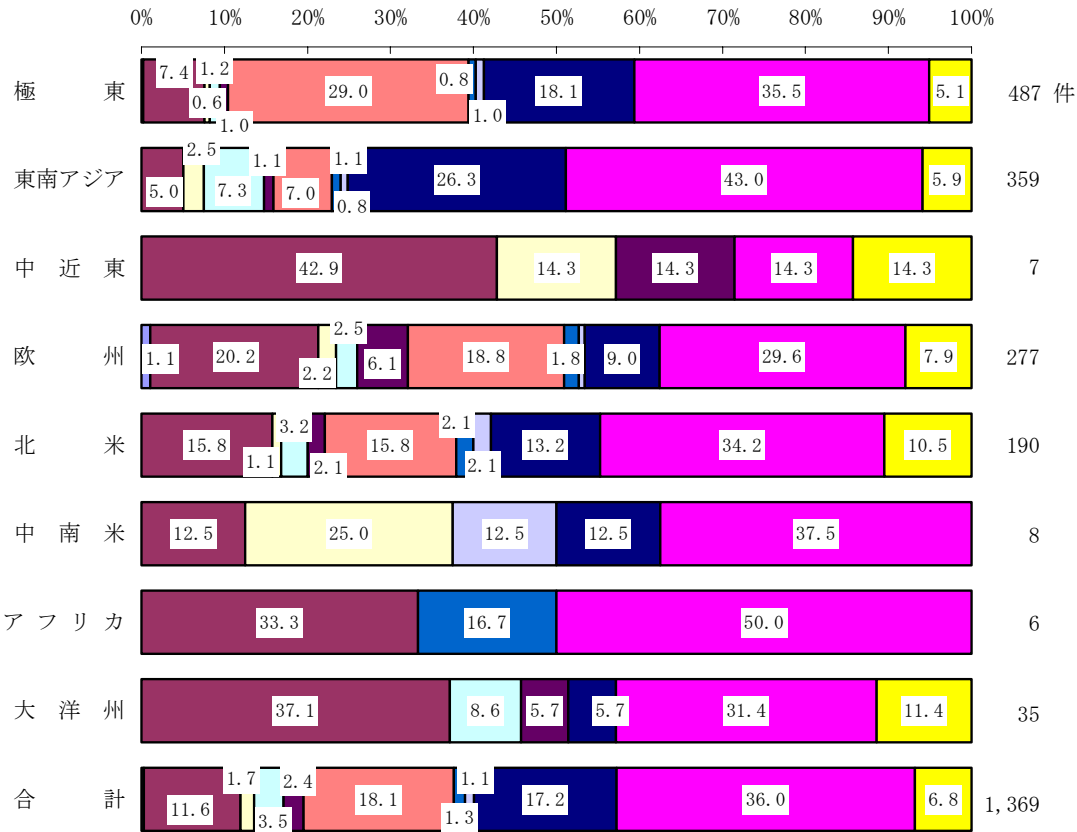
②重量ベース

単位：％

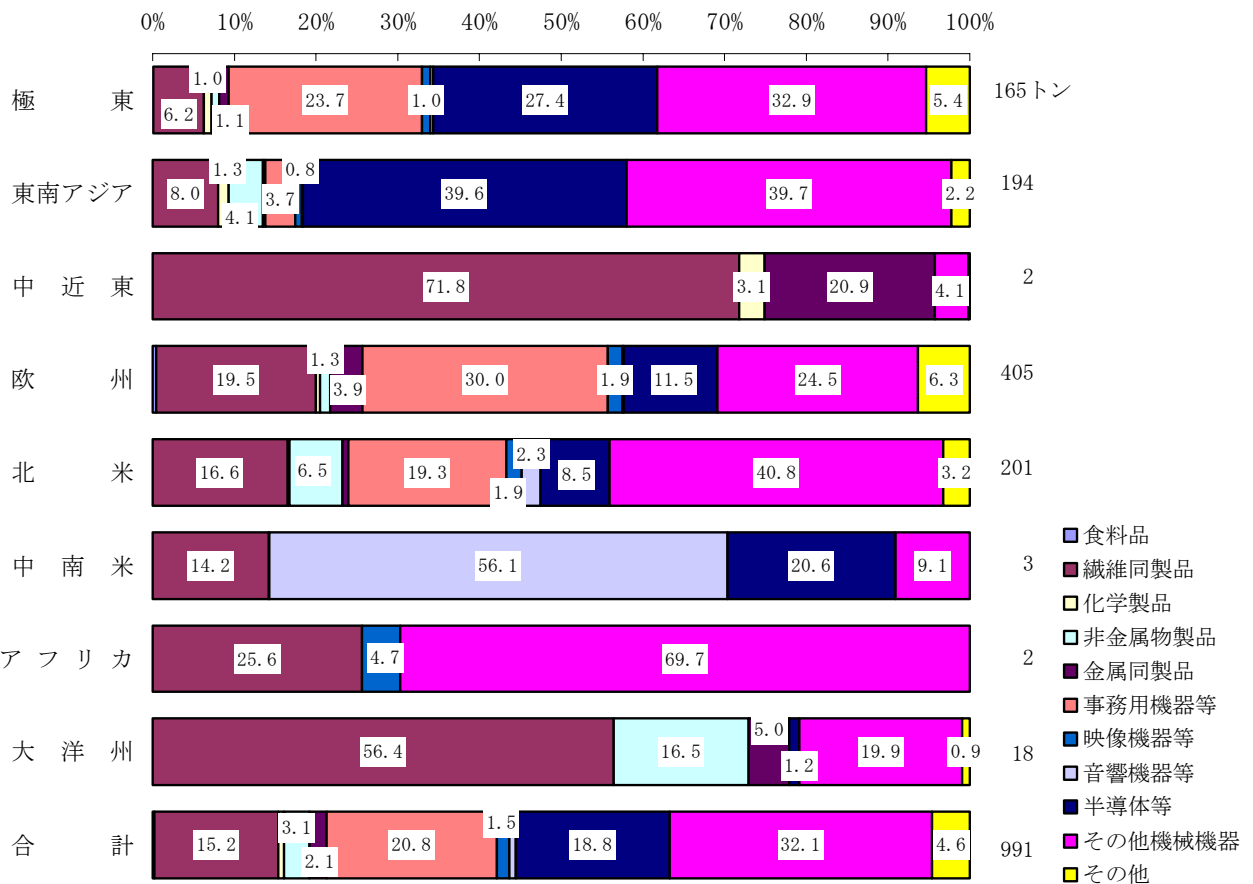
	食料品	繊維・ 同製品	化学製品	非金属 鉱物製品	金属・ 同製品	機械機器	その他
上海市	1.9	3.9	5.8	1.1	2.6	79.4	5.4
江蘇省	0.0	1.1	2.9	0.1	2.3	92.9	0.6
浙江省	0.0	1.6	19.3	0.0	29.1	38.2	11.8
湖北省	0.0	0.0	0.0	0.0	80.7	19.3	0.0
四川省	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	99.6	0.0
遼寧省	0.0	0.0	92.0	0.0	8.0	0.0	0.0
吉林省	0.0	0.0	27.6	0.0	0.0	72.4	0.0
天津市	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
河北省	-	-	-	-	-	-	-
山西省	-	-	-	-	-	-	-
安徽省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.3	58.7
福建省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
山東省	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
河南省	-	-	-	-	-	-	-
広東省	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
甘肅省	-	-	-	-	-	-	-
香港	-	-	-	-	-	-	-
その他・不明	0.0	8.0	0.0	0.0	18.3	73.4	0.4
合計	0.8	2.7	4.5	0.7	4.1	84.0	3.2

図表3-2-6(1) 相手国地域と品目

(1) 輸出
① 件数ベース



② 重量ベース



図表3-2-6 (2) 相手国地域と品目

(1) 輸出
①件数ベース

単位：%

	食料品	繊維・ 同製品	化学製品	非金 属製品	金 属 同 製 品	事務 用 機 器 等	映 像 機 器 等	音 機 器 等	響 機 器 等	半 導 体 等	そ の 他 機 械 機 器	そ の 他
極東	0.2	7.4	0.6	1.2	1.0	29.0	0.8	1.0	1.0	18.1	35.5	5.1
東南アジア	0.0	5.0	2.5	7.3	1.1	7.0	1.1	0.8	0.8	26.3	43.0	5.9
中近東	0.0	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
欧州	1.1	20.2	2.2	2.5	6.1	18.8	1.8	0.7	0.7	9.0	29.6	7.9
北米	0.0	15.8	1.1	3.2	2.1	15.8	2.1	2.1	2.1	13.2	34.2	10.5
中南米	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	37.5	0.0
アフリカ	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
大洋州	0.0	37.1	0.0	8.6	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	31.4	11.4
合計	0.3	11.6	1.7	3.5	2.4	18.1	1.3	1.1	1.1	17.2	36.0	6.8

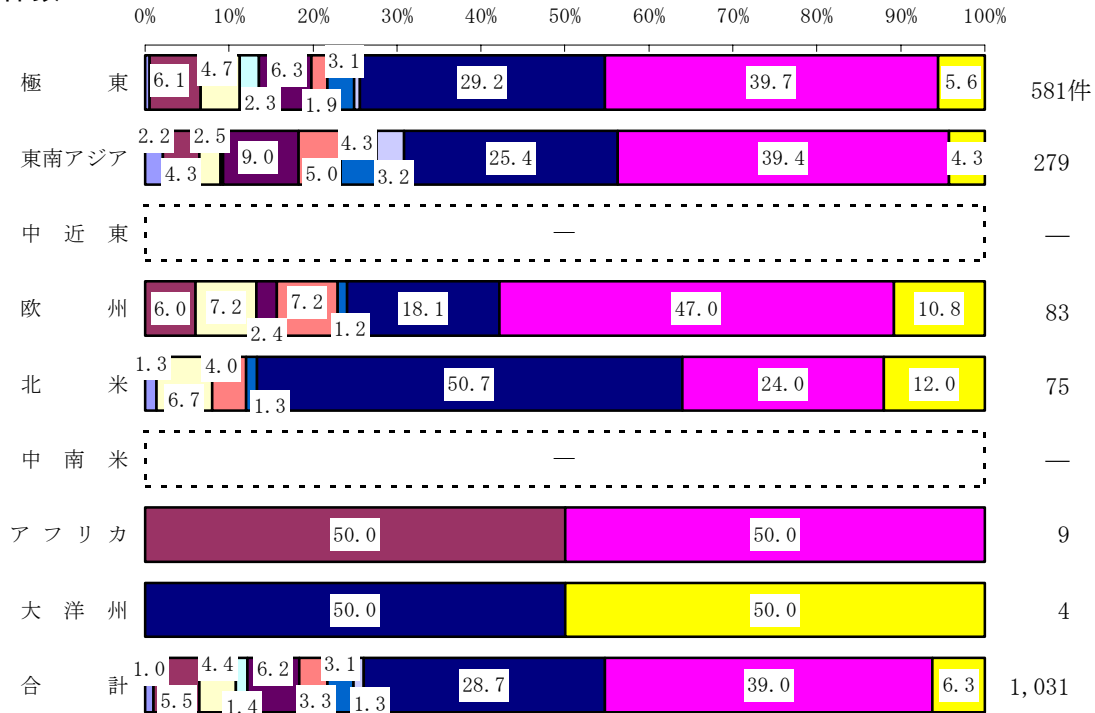
(2) 重量ベース

単位：%

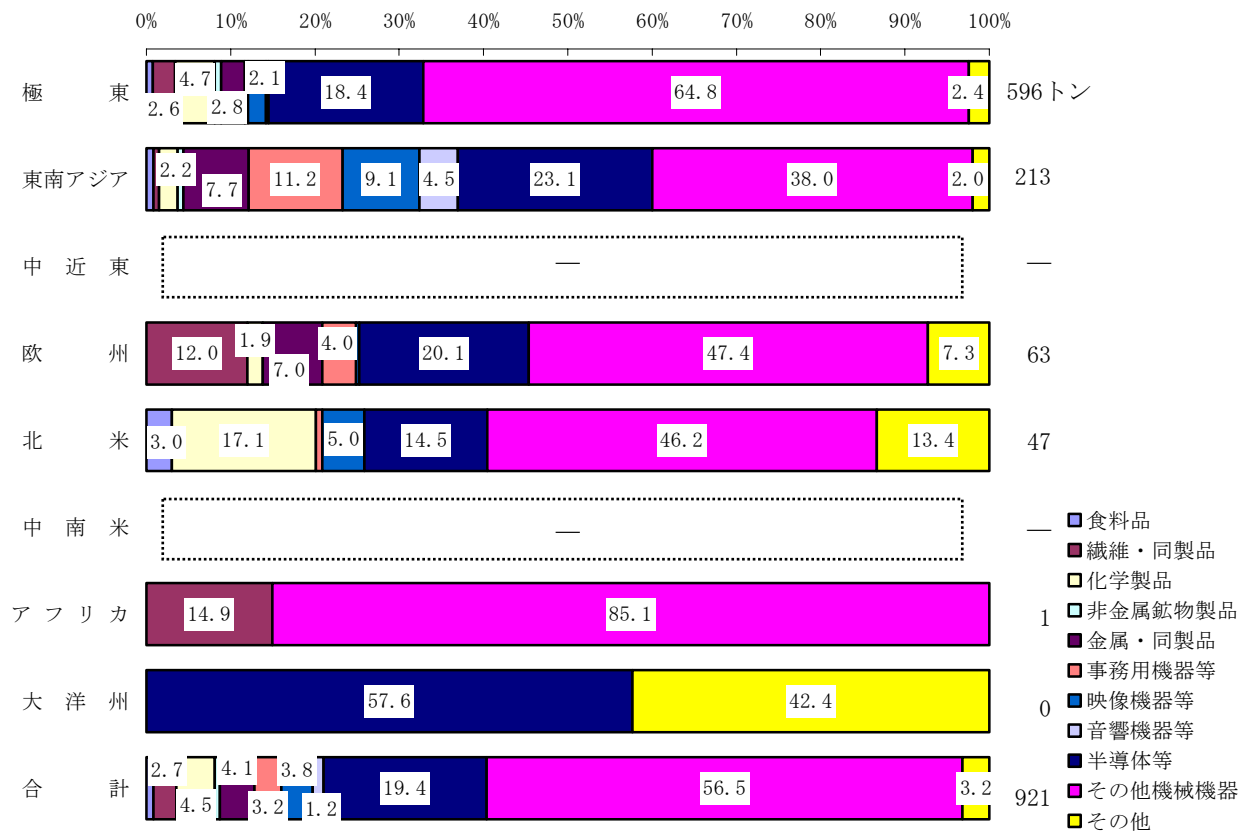
	食料品	繊維・ 同製品	化学製品	非金 属製品	金 属 同 製 品	事務 用 機 器 等	映 像 機 器 等	音 機 器 等	響 機 器 等	半 導 体 等	そ の 他 機 械 機 器	そ の 他
極東	0.1	6.2	1.0	0.9	1.1	23.7	1.0	0.4	0.4	27.4	32.9	5.4
東南アジア	0.0	8.0	1.3	4.1	0.3	3.7	0.8	0.2	0.2	39.6	39.7	2.2
中近東	0.0	71.8	3.1	0.0	20.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	0.2
欧州	0.4	19.5	0.5	1.3	3.9	30.0	1.9	0.1	0.1	11.5	24.5	6.3
北米	0.0	16.6	0.2	6.5	0.7	19.3	1.9	2.3	2.3	8.5	40.8	3.2
中南米	0.0	14.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	56.1	56.1	20.6	9.1	0.0
アフリカ	0.0	25.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	69.7	0.0
大洋州	0.0	56.4	0.0	16.5	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	19.9	0.9
合計	0.2	15.2	0.7	3.1	2.1	20.8	1.5	0.8	0.8	18.8	32.1	4.6

図表3-2-6(3) 相手国地域と品目

(2) 輸入
① 件数ベース



② 重量ベース



図表3-2-6(4) 相手国地域と品目

(2) 輸入

①件数ベース

単位：%

	食料品	繊維・ 同製品	化学製品	非金属 鉱物製品	金属・ 同製品	事務用 機器等	映像 機器等	音響 機器等	半導体等	その他 機械機器	その他
極東	0.5	6.1	4.7	2.3	6.3	1.9	3.1	0.7	29.2	39.7	5.6
東南アジア	2.2	4.3	2.5	0.4	9.0	5.0	4.3	3.2	25.4	39.4	4.3
中近東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
欧州	0.0	6.0	7.2	0.0	2.4	7.2	1.2	0.0	18.1	47.0	10.8
北米	1.3	0.0	6.7	0.0	0.0	4.0	1.3	0.0	50.7	24.0	12.0
中南米	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アフリカ	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
大洋州	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
合計	1.0	5.5	4.4	1.4	6.2	3.3	3.1	1.3	28.7	39.0	6.3

②重量ベース

単位：%

	食料品	繊維・ 同製品	化学製品	非金属 鉱物製品	金属・ 同製品	事務用 機器等	映像 機器等	音響 機器等	半導体等	その他 機械機器	その他
極東	0.8	2.6	4.7	0.8	2.8	0.4	2.1	0.3	18.4	64.8	2.4
東南アジア	0.8	0.7	2.2	0.7	7.7	11.2	9.1	4.5	23.1	38.0	2.0
中近東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
欧州	0.0	12.0	1.9	0.0	7.0	4.0	0.4	0.0	20.1	47.4	7.3
北米	3.0	0.0	17.1	0.0	0.0	0.8	5.0	0.0	14.5	46.2	13.4
中南米	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
アフリカ	0.0	14.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.1	0.0
大洋州	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.6	0.0	42.4
合計	0.8	2.7	4.5	0.7	4.1	3.2	3.8	1.2	19.4	56.5	3.2

3-3 国際航空貨物（一般貨物）のその他の特性

(1) 発・着施設（⇒図：44～46 ページ）

浦東国際空港を利用する国際航空貨物の輸出通関前の荷送人発施設及び輸入通関後の荷受人着施設の種別割合を見ると、輸出施設の上位は工場・輸出加工区^{注1)}・倉庫で、順に件数ベースで71.6%・8.1%・6.8%、重量ベースで63.7%・13.5%・7.6%となっている。このように、輸出施設においては特に工場への集中が顕著であり、浦東国際空港を利用する輸出航空貨物全体に対する割合は件数・重量ともに6～7割の高い水準にある。一方、輸入では輸出に比べて工場以外に倉庫や保税區^{注2)}への搬入が多くなり、工場搬入の割合は件数・重量ともに、浦東国際空港を利用する輸入航空貨物全体の半分以下にとどまり、工場・倉庫・保税區の順に件数ベースで35.0%・23.7%・18.4%、重量ベースで42.7%・20.2%・15.9%となっている。なお、輸出加工区への搬入も重量ベースで輸入貨物全体の13.4%と、1割を超える水準にある。

ここで施設1件当たりの平均重量を見ると、輸出加工区へ出入する貨物が輸出（搬出）1,199kg、輸入（搬入）1,895kgと、入が出の水準を上回り、ともに1トン超となっている。工場へ出入する貨物は輸出（搬出）の638kgに対して、輸入（搬入）は1,103kgと、出と入の重量バランスでは輸出加工区以上の格差がみられる。これに対して、倉庫と保税區の1件当たり重量は、輸出（搬出）と輸入（搬入）でともに800kg前後と、ほぼ同じ水準となっている。なお、国際航空貨物の発着施設としてのウエイトは小さいが、事務所と物流園区^{注3)}においては、工場や輸出加工区とは逆に1件当たりの平均重量は、出が入りを上回る水準にある。

発生・集中地と施設構成の関係を件数ベースで見ると、浦東国際空港を利用する国際航空貨物が集積する上海市・江蘇省・浙江省のなかで、最も多様な発着施設の形態をみせているのが上海市である。上海市における工場の割合は、輸出（搬出）で62.8%と上記3地域の中で最も低い水準にあり、輸入（搬入）においては倉庫が31.0%で最大のウエイトを占め、工場は24.4%と全体の4分の1にとどまっているほか、保税區（19.5%）、物流園区（13.0%）への搬入も少なくない。なお、江蘇省は輸出（搬出）・輸入（搬入）ともに工場のウエイトが大きい点、浙江省は輸出加工区が輸出（搬出）で15.3%、輸入（搬入）で20.3%のウエイトを占めている点が特色としてあげられよう。その他の地域では、輸出（搬出）における遼寧省の輸出加工区の利用、輸入（搬入）における四川省の保税區、吉林省・天津市の物流園区の利用などが目につく。

注1) 輸出加工区に設置が許されるのは輸出加工を主とする生産型企業、及びそれに対してサービスを提供する運輸業・倉庫業のみであり、製品の70%以上の輸出が義務づけられているため、区外へは30%を超えて販売することはできない。

注2) 保税區においては、生産型企業・貿易・倉庫・物流・コンサルティング等の活動が可能で、最低輸出数量の義務付けがなく、製品の国内輸送が100%可能である。

注3) 保税区の企画面積内、または保税区と隣接する特定の港湾区域内に設立し、専門的に現代国際物流業を発展させる税関特殊監督管理区域。保税区と異なり生産型企業の設立は認められていないが、関税上のみならず税法上も「海外」と位置づけられているため、物流園区に搬入した段階で輸出とみなし、増値税が還付されるメリットを持つ。

(2) 発送・到着時間帯 (⇒図：47～48 ページ)

浦東国際空港を利用する国際航空貨物における荷送人施設からの発送時間帯(輸出)あるいは荷受人施設への到着時間帯(輸入)の分布状況を見ると、輸出貨物の発送時間帯別割合は件数ベースで夜間(18～23時台)が35.2%で最も多く、次いで12～17時台31.6%、6～11時台25.2%、深夜及び早朝(0～5時台)8.0%の順となっており、夜間及び深夜・早朝の時間帯が全体の4割台(43.2%)を占めている。重量ベースでは6～11時台が29.9%と最も多いが、夜間及び深夜・早朝の時間帯も件数ベース同様、4割台(41.6%)を占めている。一方、輸入貨物の到着時間帯別割合は件数ベースで12～17時台が43.8%と最も多く、次いで夜間(18～23時台)36.4%、6～11時台15.3%、深夜及び早朝(0～5時台)4.5%の順となっている。重量ベースでは、夜間(18～23時台)が58.8%と全体の6割を占め、次いで12～17時台24.7%、6～11時台13.6%、深夜及び早朝(0～5時台)2.9%の順となり、日中(6～17時台)に到着する貨物を大きく上回っている。

品類と発送・到着時間帯の関係を見ると、輸出では食料品において6～11時台の時間帯に集中しているほか、非金属鉱物製品は夜間(18～23時台)に発送される傾向が強く、機械機器(とくに重量ベース)は深夜及び早朝(0～5時台)を含む各時間帯で満遍なく発送されている。輸入では、とくに重量ベースで見ると品類ごとの特性がより明瞭になるが、機械機器における時間帯別に到着する重量割合は輸出と異なり、夜間(18～23時台)におけるウエイトが6割台(64.8%)に達する。この他では食料品で深夜及び早朝(0～5時台)のウエイトが2割近く(18.1%)を占める点などが目につく。

(3) 国内輸送の所要日数 (⇒図表：49～54 ページ)

浦東国際空港を利用する国際航空貨物における施設出発日から航空機搭載日まで(輸出)、あるいは航空機到着日から施設到着日まで(輸入)の所要日数の分布を見ると、輸出貨物の大半が翌日及び2日後の期間に集中しており、その累積分布を見ると、件数・重量ベースいずれにおいても2日後までに輸出貨物全体のほとんど(95%)が航空機への搭載を完了している。一方、輸出では施設出発日と同じ日に航空機に搭載される貨物は全体の1割台にとどまっているが、輸入では航空機から取卸した当日に着施設に到着している貨物が、件数ベースで2割、重量ベースでは3割近くある。翌日に到着する貨物はさらに増えて、当日と翌日の累積の割合を見ると件数で5割、重量で7割近くに達する。

また航空機搭載（輸出）が完了するのに要する日数を累積分布のトレースから品類別にみると、輸出では件数・重量ベースともに化学製品が1日後となっているほかは、全ての品類が2日後となっており、品類によって大きな違いはない。これに対して、同様に荷受人施設に到着（輸入）するまでに要した日数は、とりわけ件数ベースで見ると、総じて輸出より多くかかるだけでなく、品類によってバラツキが目立ち、食料品・非金属製品が2日後、繊維・同製品が3日後、化学製品や金属・同製品、機械機器は4日後となっている。なお、重量ベースでは繊維・同製品が4日後、その他品類が6日後となっているほかは、2日後で輸出と変わらない。

発生・集中地と所要日数分布の関係について重量ベースで見ると、輸出貨物においては浦東国際空港のある上海市とそれに隣接する江蘇省・浙江省とで大きな違いはみられず、他の地域に関しても概ね2日後には航空機への搭載が完了している。輸入貨物に関しては地域によってかなりバラツキがみられるものの、上海市で5日以上を要する貨物の割合が3割近くもあることから、浦東空港から物理的に遠く離れた地域の着施設への到着までに、より多くの日数を要しているという要素もあると思われるが、個々の貨物の特性（品目、荷送人の要請等）によって所要日数に差が生じている部分も少なくないといえよう。

（４）国内輸送における航空利用状況（⇒図：55 ページ）

浦東国際空港を利用する国際航空貨物の国内輸送における航空輸送（空港間の横持ち輸送）の利用状況を件数ベースで地域別に見ると、輸出においては浙江省で一部の貨物に、輸入においても山東省で実績があったのみである。因みに、前節の所要日数の集計結果では、山東省の着施設への到着は航空機から取り卸したその日のうちに行われていることが確認される。

（５）貨物の集約・離散状況（⇒図：56 ページ）

浦東国際空港を利用する国際航空貨物においては、貨物の集配サービスが代理店・混載業者により行われているが、この他にも輸出では代理店・混載業者の空港営業所や市内営業所へ荷主が直接運び込むケース（持ち込み）、輸入では空港や市内営業所で荷主が直接受け取るケース（引き取り）がある。こうした貨物の集約・離散状況を件数ベースで見ると、輸出全体での持ち込み比率は74.5%であるが、品類・品目別にみると魚介類の100%をはじめ、繊維・同製品（98.7%）・化学製品（91.3%）及び音響機器（93.3%）・半導体等電子部品（84.2%）・電気計測機器（80.5%）・医療用機械（90.9%）などの機械機器類で持ち込み比率が高くなっている。一方、輸入貨物全体の引き取り比率は62.4%と輸出に比べて10%強ほど低い水準となっている。個別の品類・品目では輸出と同様に魚介類（100%）、真珠・貴金

属（100%）、科学光学機器・カメラ・時計（80.0%）、自動車部品（80.0%）などの高い引き取り率が目につく。

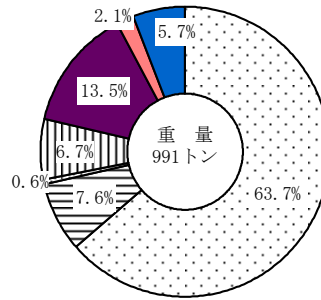
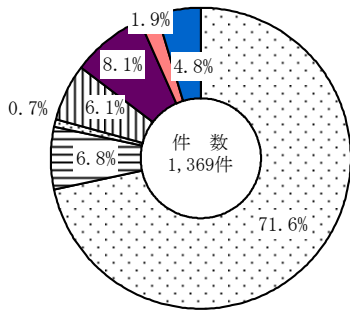
（6）貨物専用便の利用状況（⇒図：57ページ）

浦東国際空港を利用する国際航空貨物における貨物専用便による輸送割合を重量ベースで見ると、輸出・輸入とも2割台前半の水準（輸出20.0%、輸入23.3%）となっている。

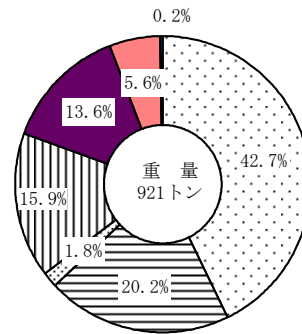
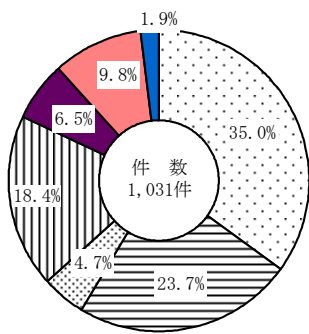
なお、貨物専用便の航空会社は、China Cargo Airlines、Hong Kong Dragon Airlines、Korean Air Lines、UPS、Polar Air Cargoの5社であった。

図表 3-3-1 発着施設割合

(1) 輸出



(2) 輸入

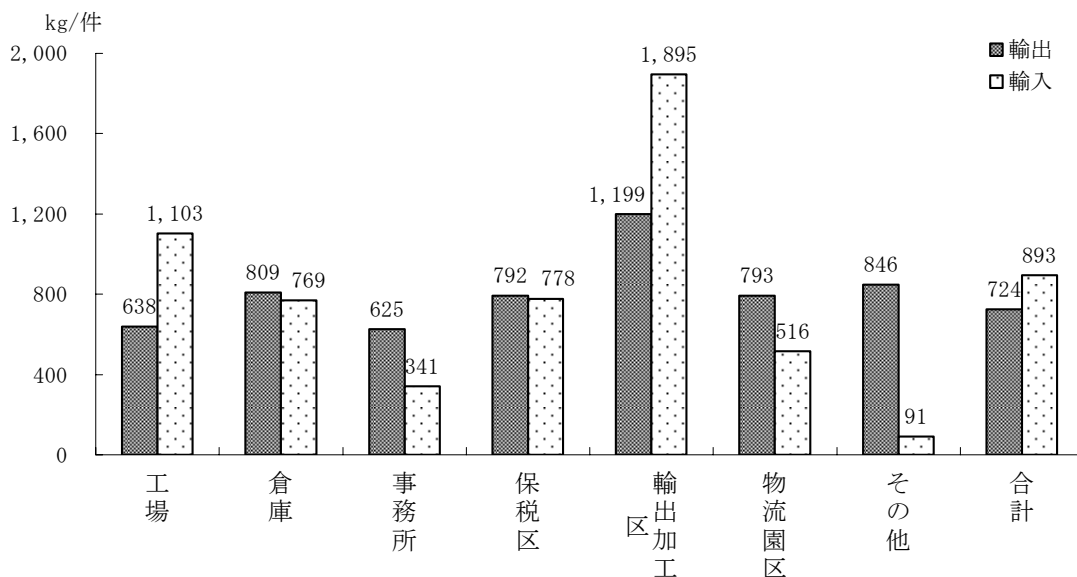


- 工場
- ▨ 倉庫
- ▩ 事務所
- ▧ 保税区
- 輸出加工区
- 物流園区
- その他

(単位：件・トン)

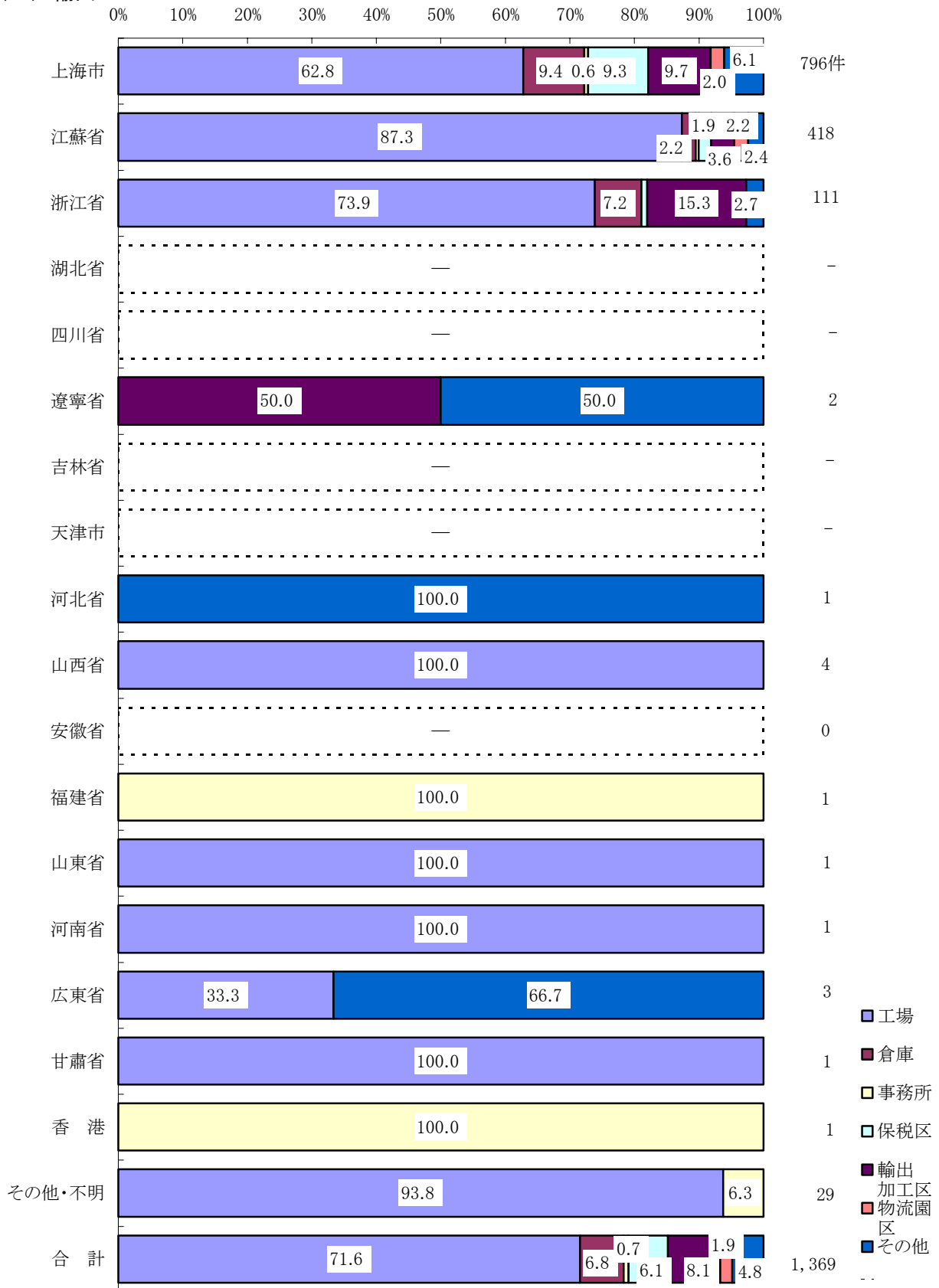
		工場	倉庫	事務所	保税区	輸出加工区	物流園区	その他	不明	合計
輸 出	件 数	962	91	10	82	109	25	65	25	1,369
	重 量	614	74	6	65	131	20	55	27	991
輸 入	件 数	355	241	48	187	66	99	19	16	1,031
	重 量	392	185	16	146	125	51	2	4	921

図表 3-3-2 発着施設別 1件あたり重量



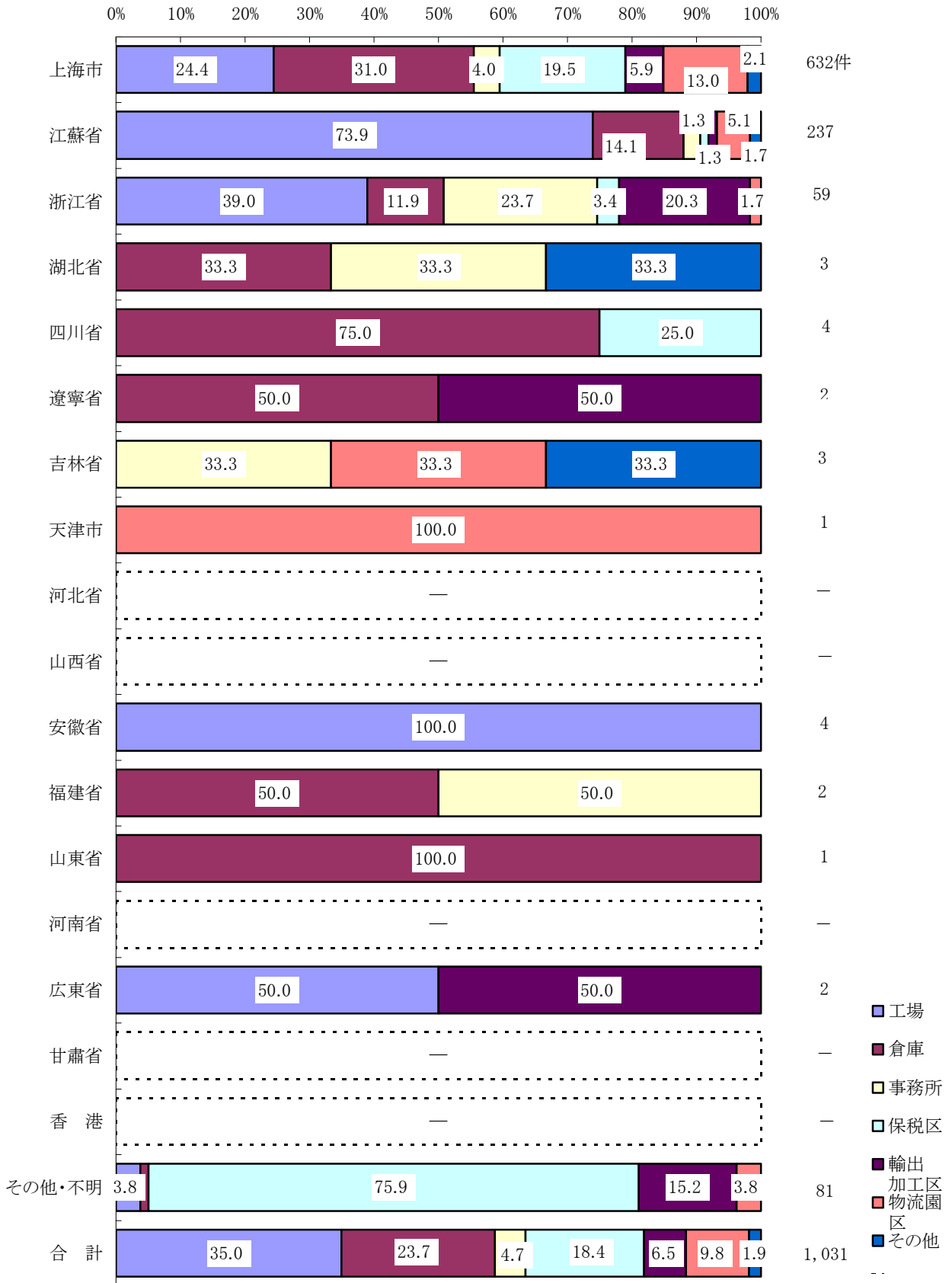
図表 3-3-3 (1) 発生・集中地と発着施設

(1) 輸出



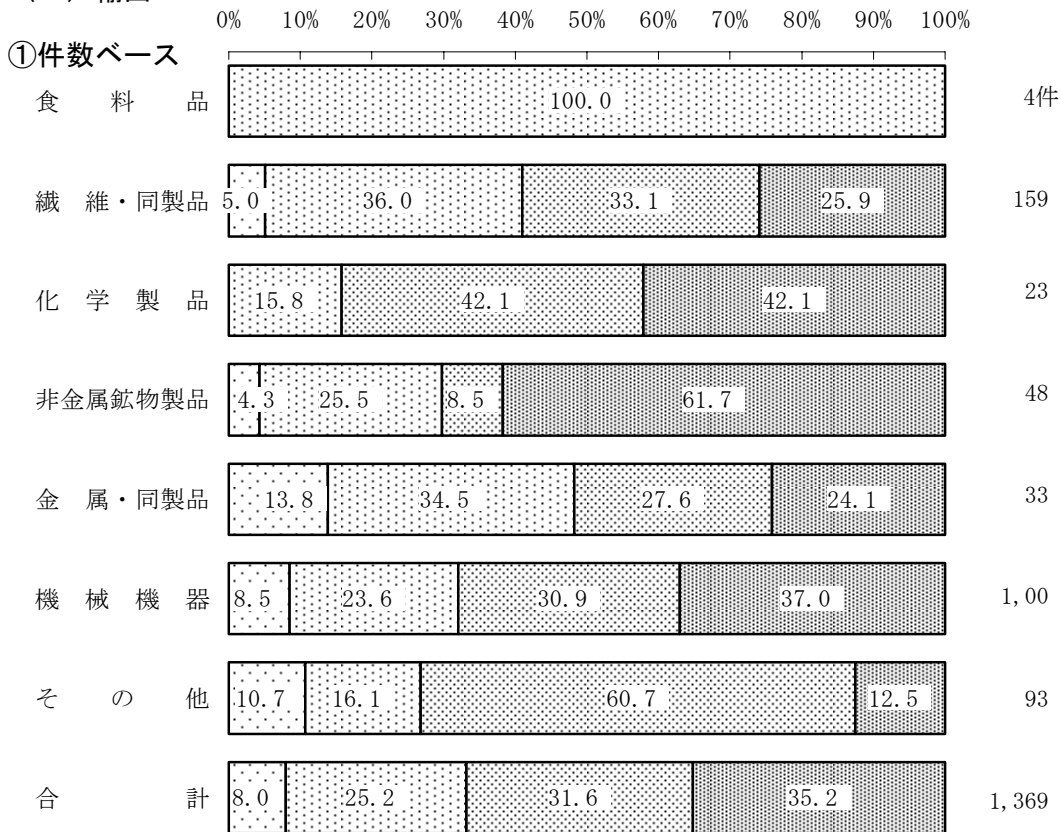
図表 3-3-3 (2) 発生・集中地と発着施設

(2) 輸入

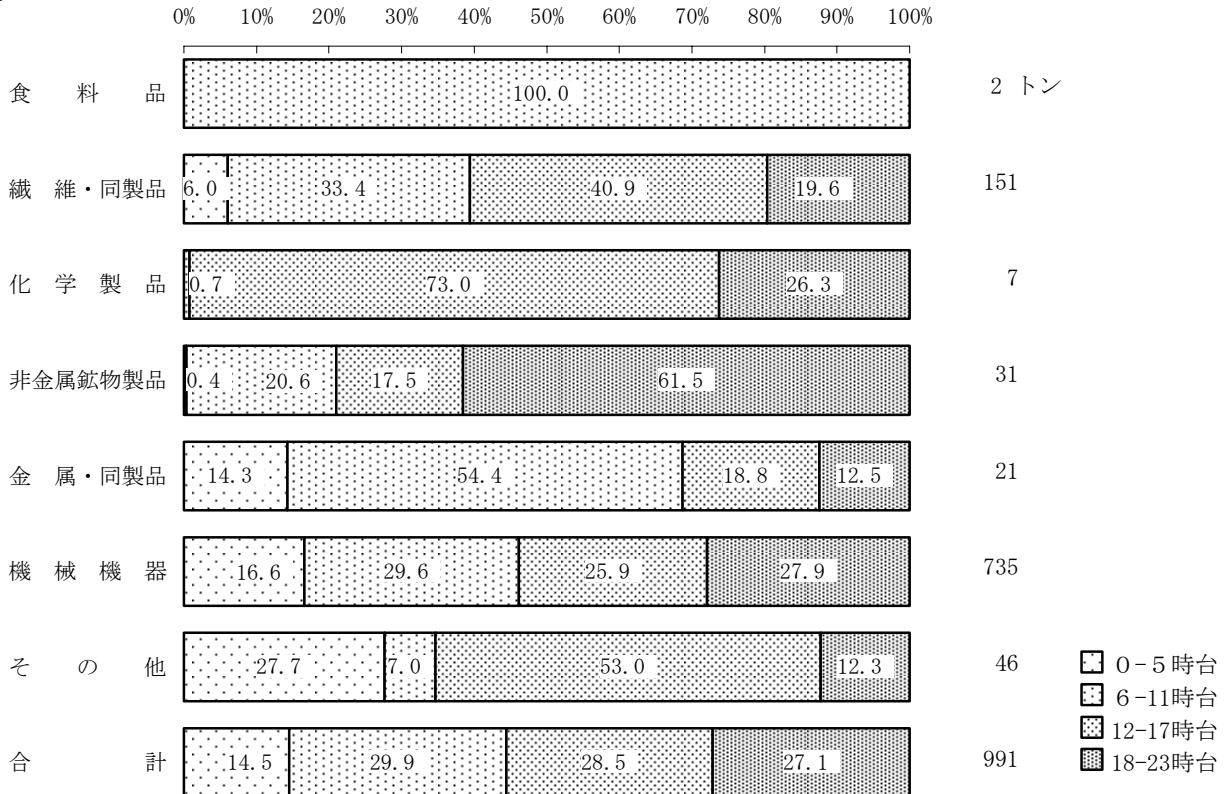


図表 3-3-4 (1) 発送・到着時間帯と品類

(1) 輸出



②重量ベース

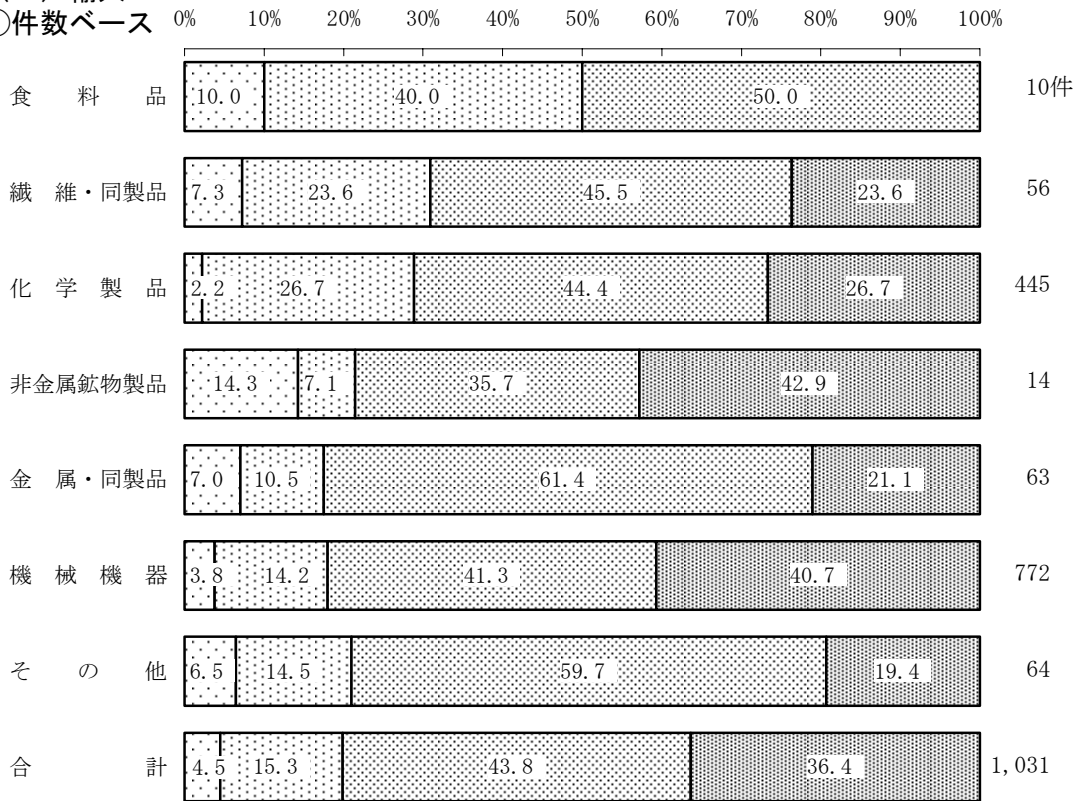


注) 合計については不明を含む。

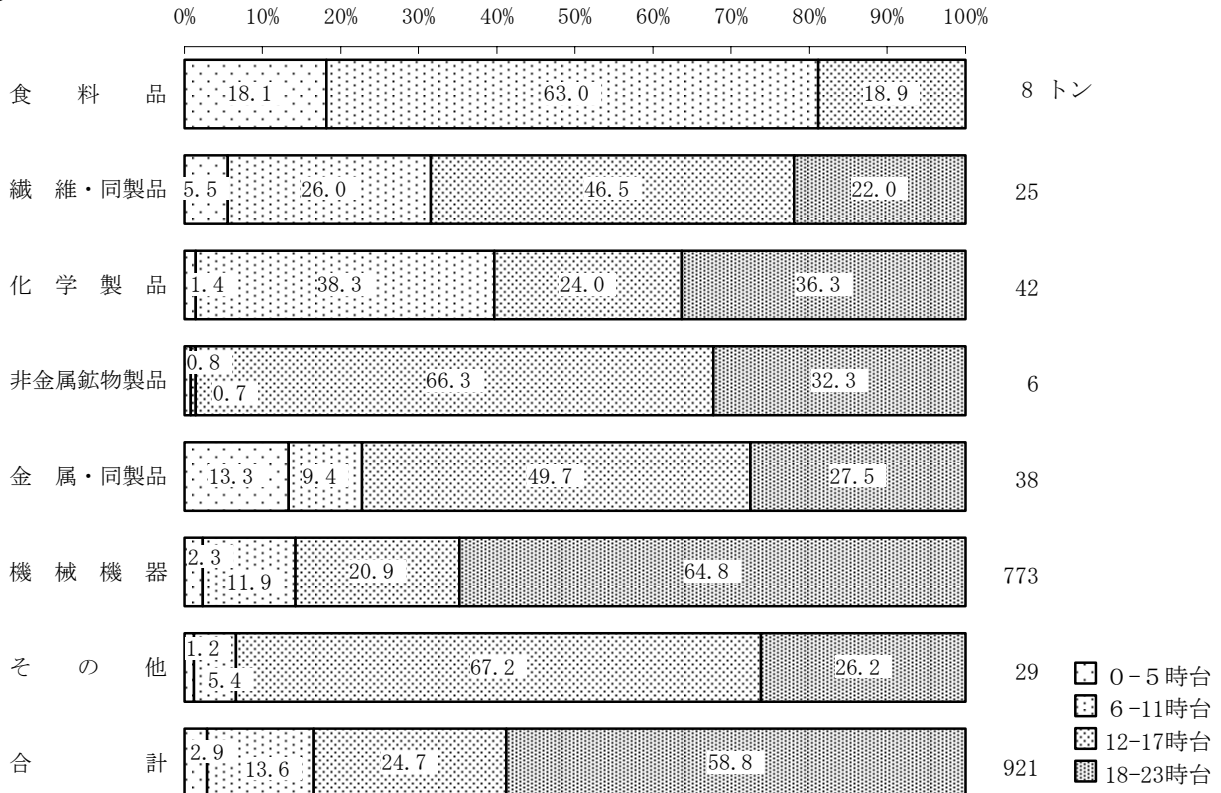
図表 3-3-4 (2) 発送・到着時間帯と品類

(2) 輸入

① 件数ベース



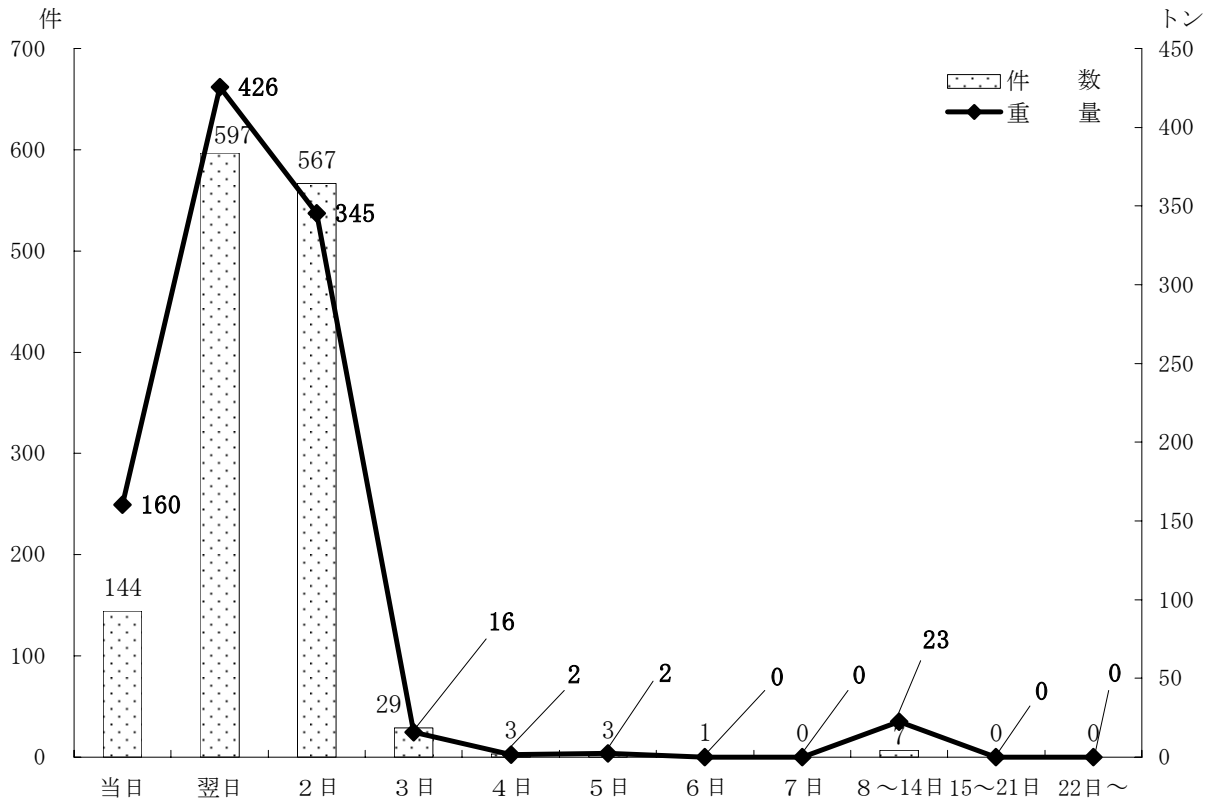
② 重量ベース



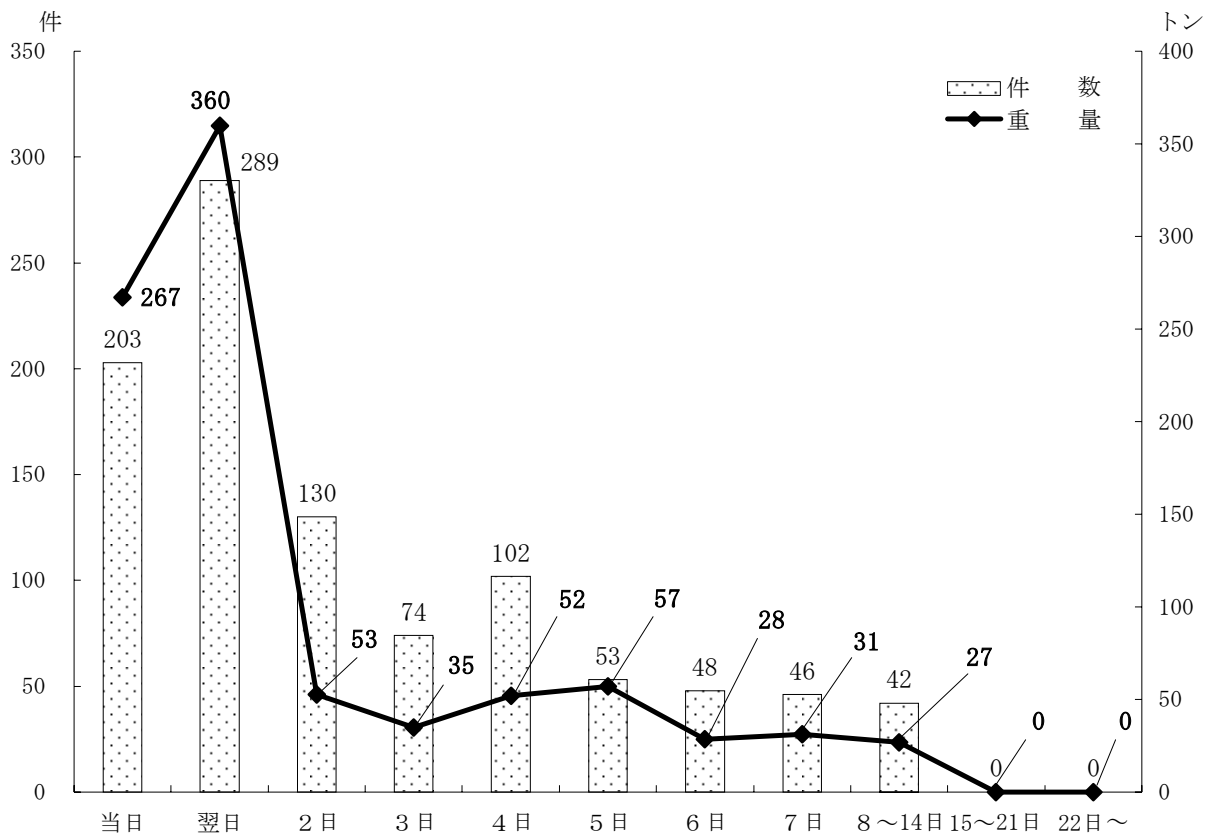
注) 合計については不明を含む。

図表 3-3-5 国内輸送の所要日数分布

(1) 輸出



(2) 輸入



注) 1. 輸出の所要日数=搭載日-貨物の施設出発日
 2. 輸入の所要日数=貨物の施設到着(予定)日-空港到着日

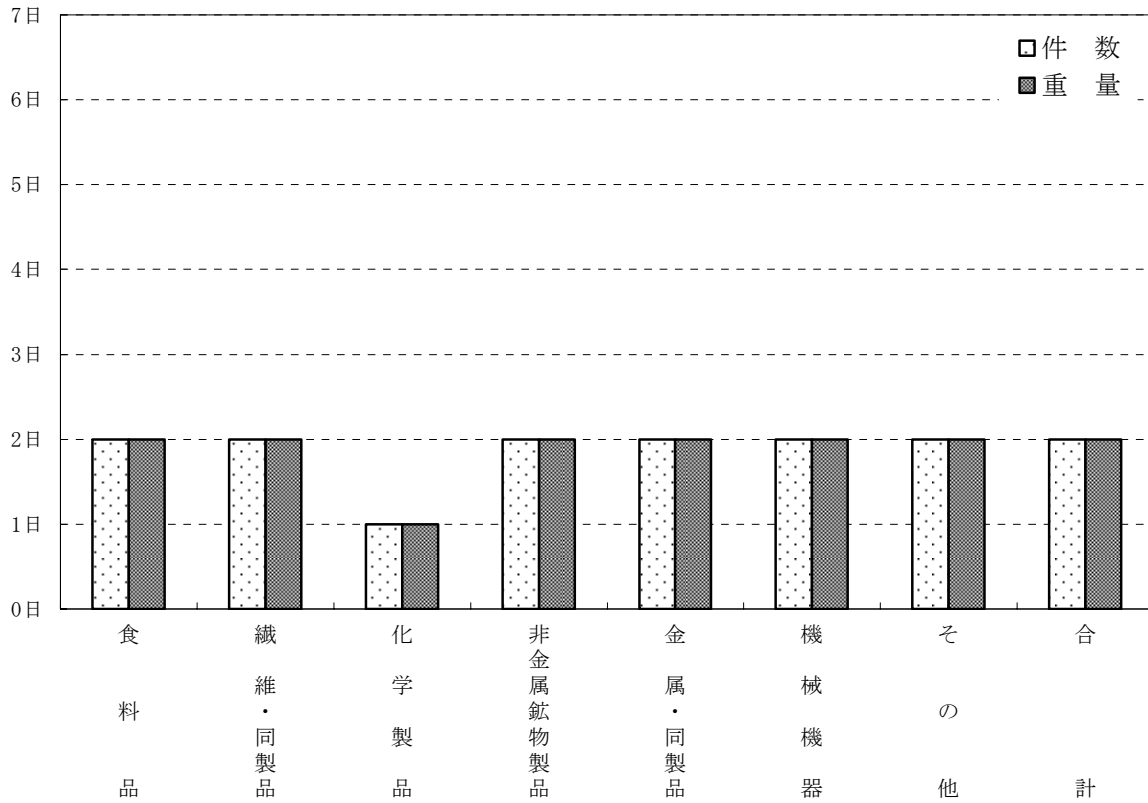
図表 3-3-6 国内輸送における所要日数分布構成比

	輸 出				輸 入			
	件 数		重 量		件 数		重 量	
	比率	累積比率	比率	累積比率	比率	累積比率	比率	累積比率
当 日	10.7%	10.7%	16.4%	16.4%	20.6%	20.6%	29.3%	29.3%
翌 日	44.2%	54.8%	43.7%	60.2%	29.3%	49.8%	39.5%	68.9%
2 日	42.0%	96.8%	35.5%	95.6%	13.2%	63.0%	5.8%	74.7%
3 日	2.1%	99.0%	1.6%	97.3%	7.5%	70.5%	3.8%	78.5%
4 日	0.2%	99.2%	0.2%	97.4%	10.3%	80.9%	5.7%	84.2%
5 日	0.2%	99.4%	0.2%	97.7%	5.4%	86.2%	6.3%	90.5%
6 日	0.1%	99.5%	0.0%	97.7%	4.9%	91.1%	3.1%	93.6%
7 日	0.0%	99.5%	0.0%	97.7%	4.7%	95.7%	3.4%	97.1%
8～14日	0.5%	100.0%	2.3%	100.0%	4.3%	100.0%	2.9%	100.0%
15～21日	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
22 日～	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
合 計	100.0%		100.0%		100.0%		100.0%	
	1,369件		991トン		1,031件		921トン	

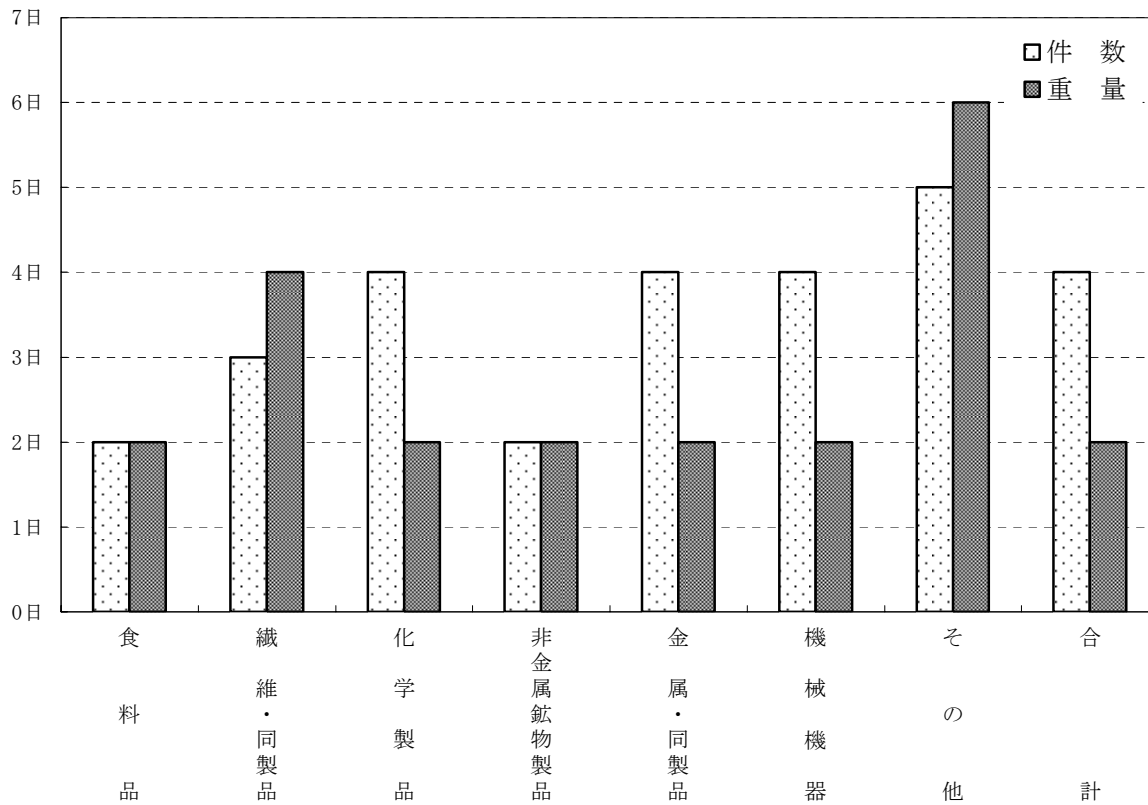
注 1) 輸出の所要日数＝搭載日－貨物の施設出発日
 輸入の所要日数＝貨物の施設到着（予定）日－空港到着日
 注 2) 合計の件数、重量には、所要日数不明を含む。

図表 3-3-7 品類と所要日数（累積分布）

(1) 輸出



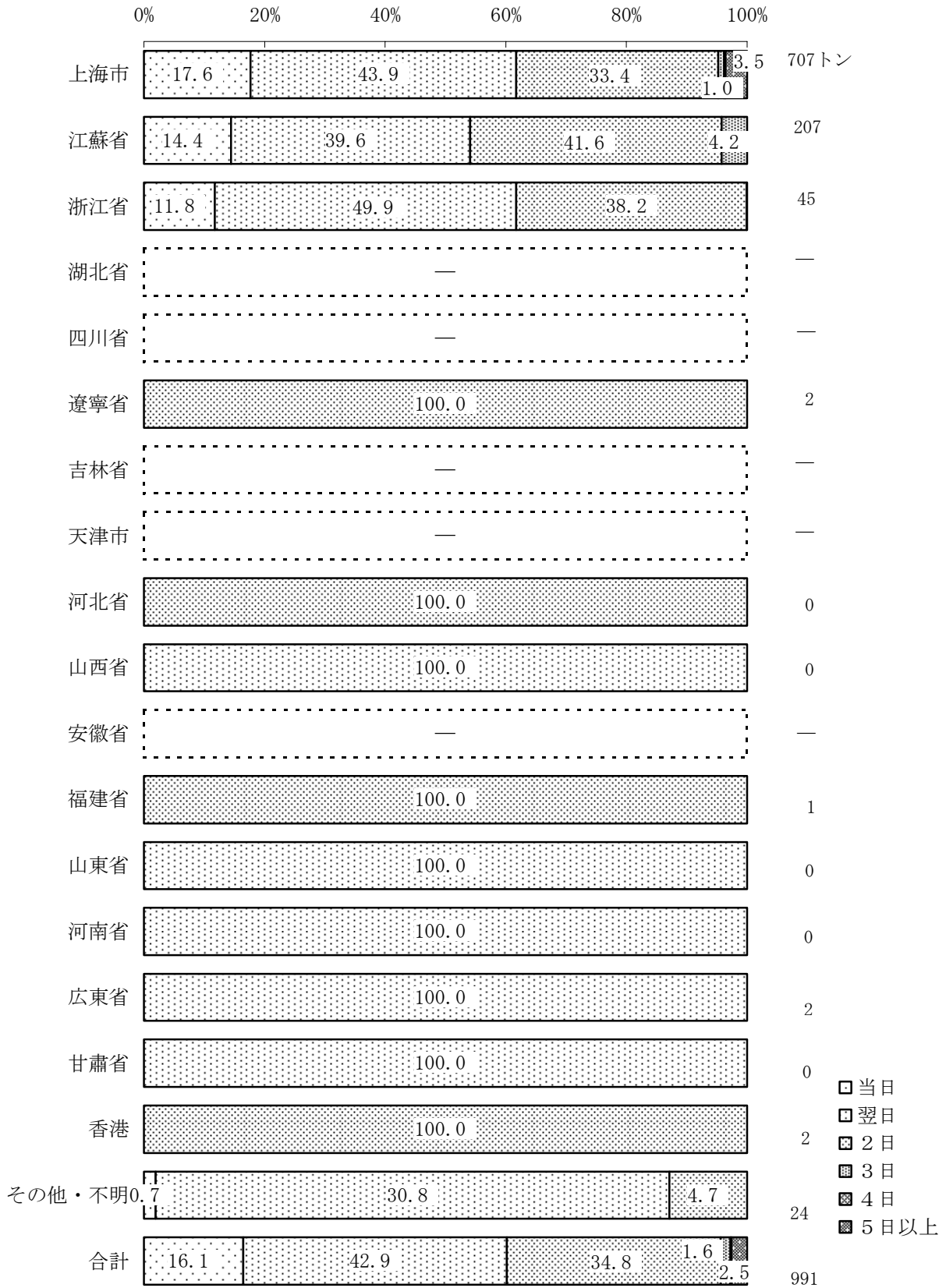
(2) 輸入



注) 品類別調査対象貨物の75%がカバーされる日数。

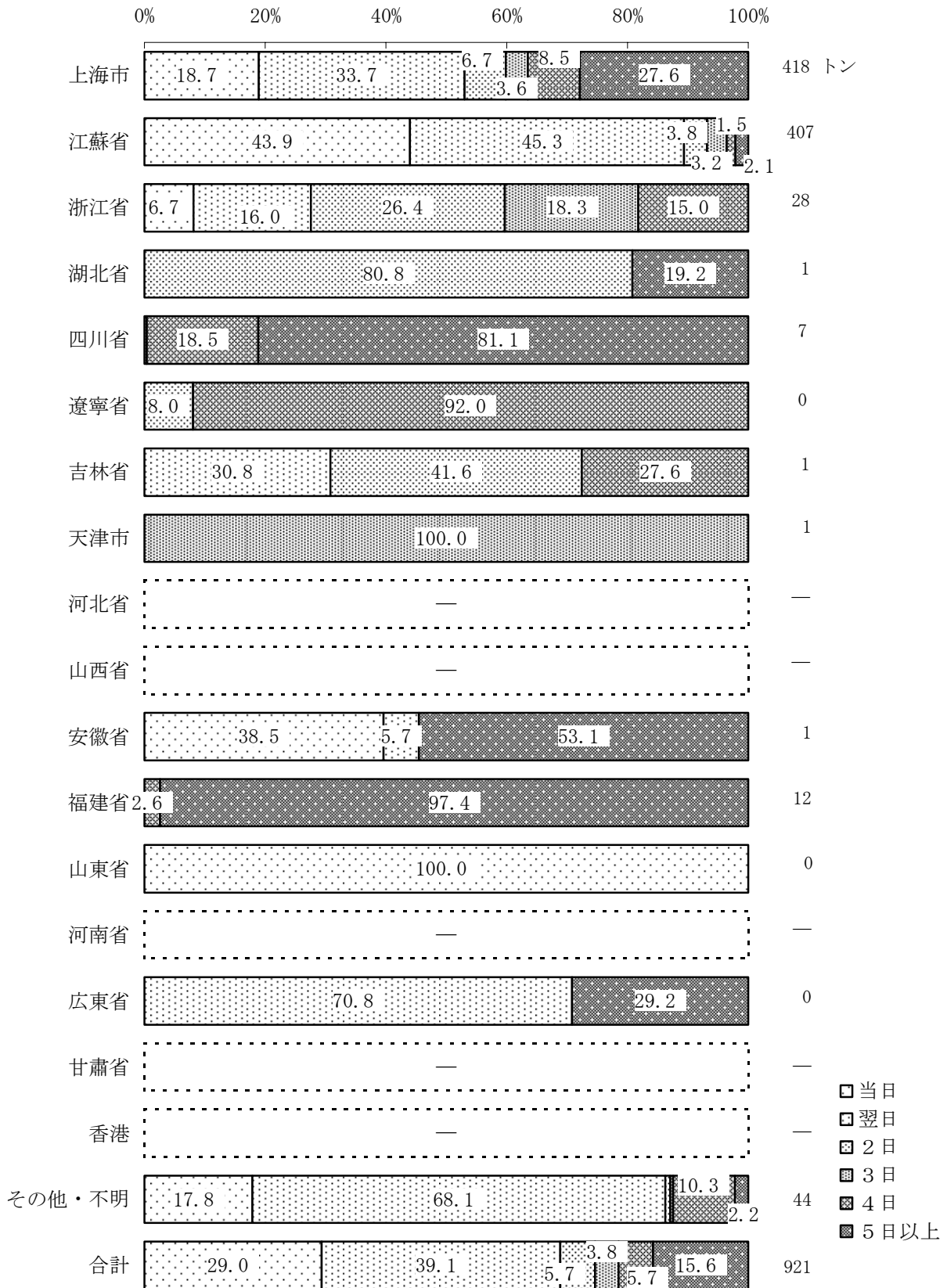
図表 3-3-8 (1) 国内輸送の所要日数

(1) 輸出



図表 3-3-8 (2) 国内輸送の所要日数

(2) 輸入



注) 合計については不明を含む。

図表 3-3-8 (3) 国内輸送の所要日数

(1) 輸出

単位：%

	当日	翌日	2日	3日	4日	5日以上
上海市	17.6	43.9	33.4	1.0	0.2	3.5
江蘇省	14.4	39.6	41.6	4.2	0.0	0.0
浙江省	11.8	49.9	38.2	0.1	0.0	0.0
湖北省	-	-	-	-	-	-
四川省	-	-	-	-	-	-
遼寧省	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
吉林省	-	-	-	-	-	-
天津市	-	-	-	-	-	-
河北省	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
山西省	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
安徽省	-	-	-	-	-	-
福建省	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
山東省	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
河南省	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
広東省	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
甘肅省	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
香港	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
その他・不明	0.7	30.8	4.7	0.0	0.0	0.0
合計	16.1	42.9	34.8	1.6	0.2	2.5

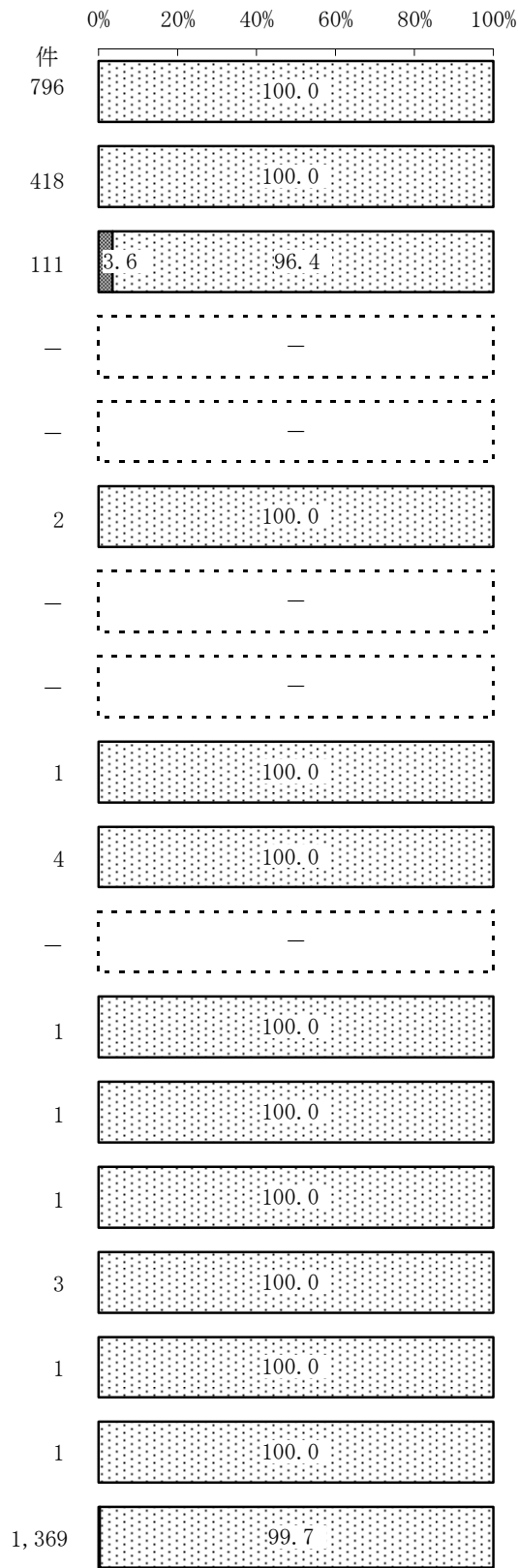
(2) 輸入

単位：%

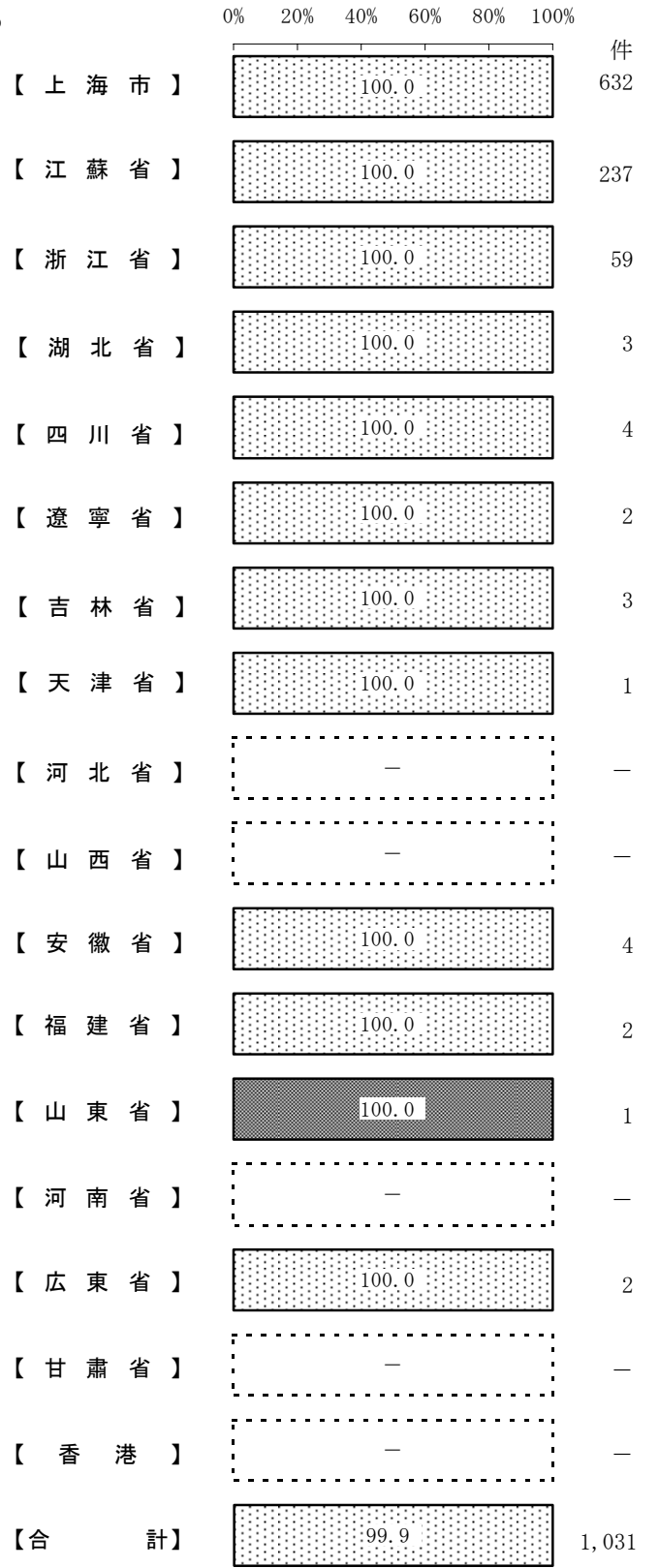
	当日	翌日	2日	3日	4日	5日以上
上海市	18.7	33.7	6.7	3.6	8.5	27.6
江蘇省	43.9	45.3	3.8	3.2	1.5	2.1
浙江省	6.7	16.0	26.4	18.3	15.0	0.0
湖北省	0.0	0.0	80.8	0.0	0.0	19.2
四川省	0.0	0.0	0.0	0.4	18.5	81.1
遼寧省	0.0	0.0	8.0	0.0	92.0	0.0
吉林省	0.0	30.8	41.6	0.0	27.6	0.0
天津市	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
河北省	-	-	-	-	-	-
山西省	-	-	-	-	-	-
安徽省	38.5	5.7	0.0	0.0	0.0	53.1
福建省	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	97.4
山東省	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
河南省	-	-	-	-	-	-
広東省	0.0	70.8	0.0	0.0	0.0	29.2
甘肅省	-	-	-	-	-	-
香港	-	-	-	-	-	-
その他・不明	17.8	68.1	0.9	0.4	10.3	2.2
合計	29.0	39.1	5.7	3.8	5.7	15.6

図表 3-3-9 国内輸送における航空利用状況

(1) 輸出



(2) 輸入



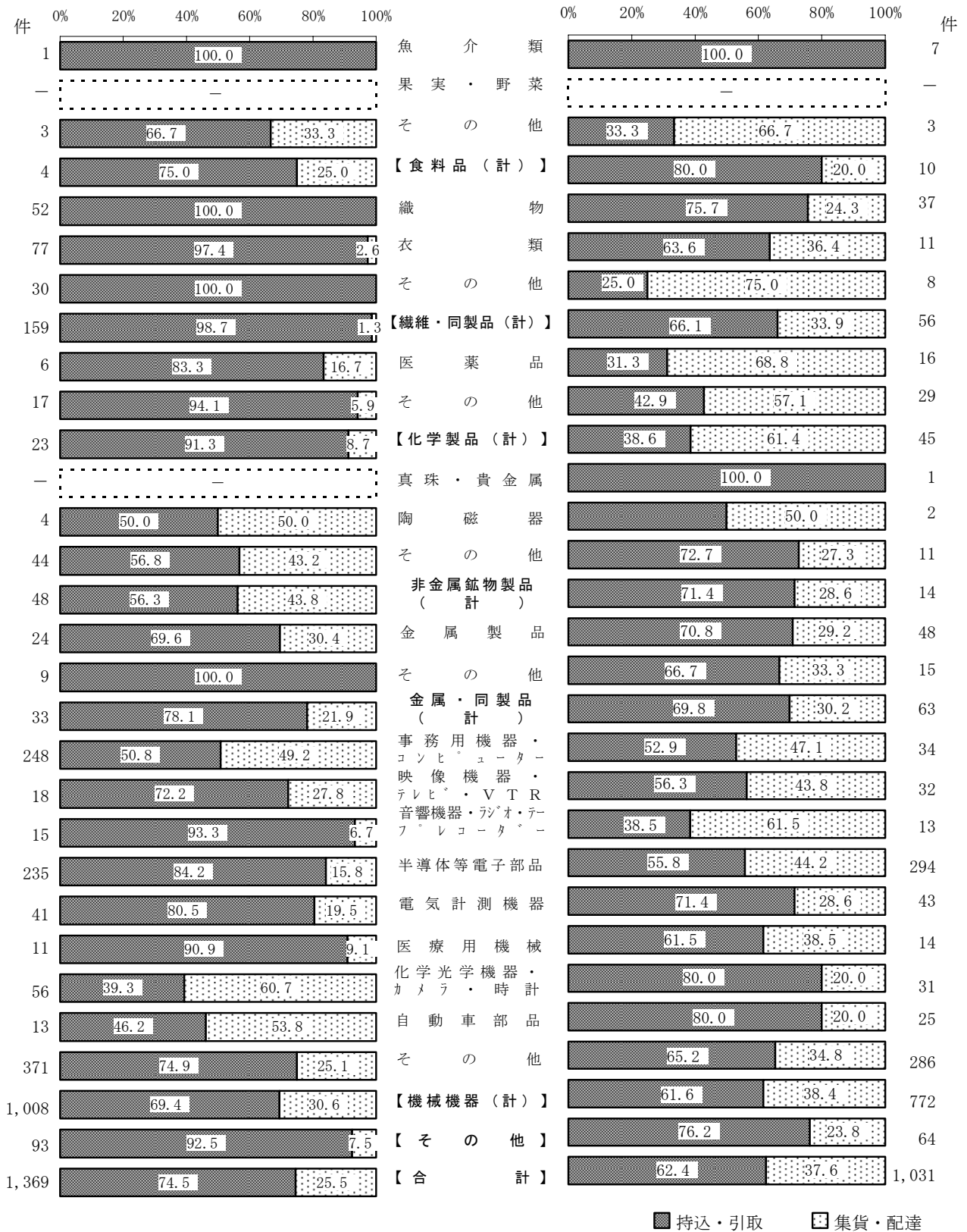
■ 利用有 □ 利用無

注) 合計には不明を含む。

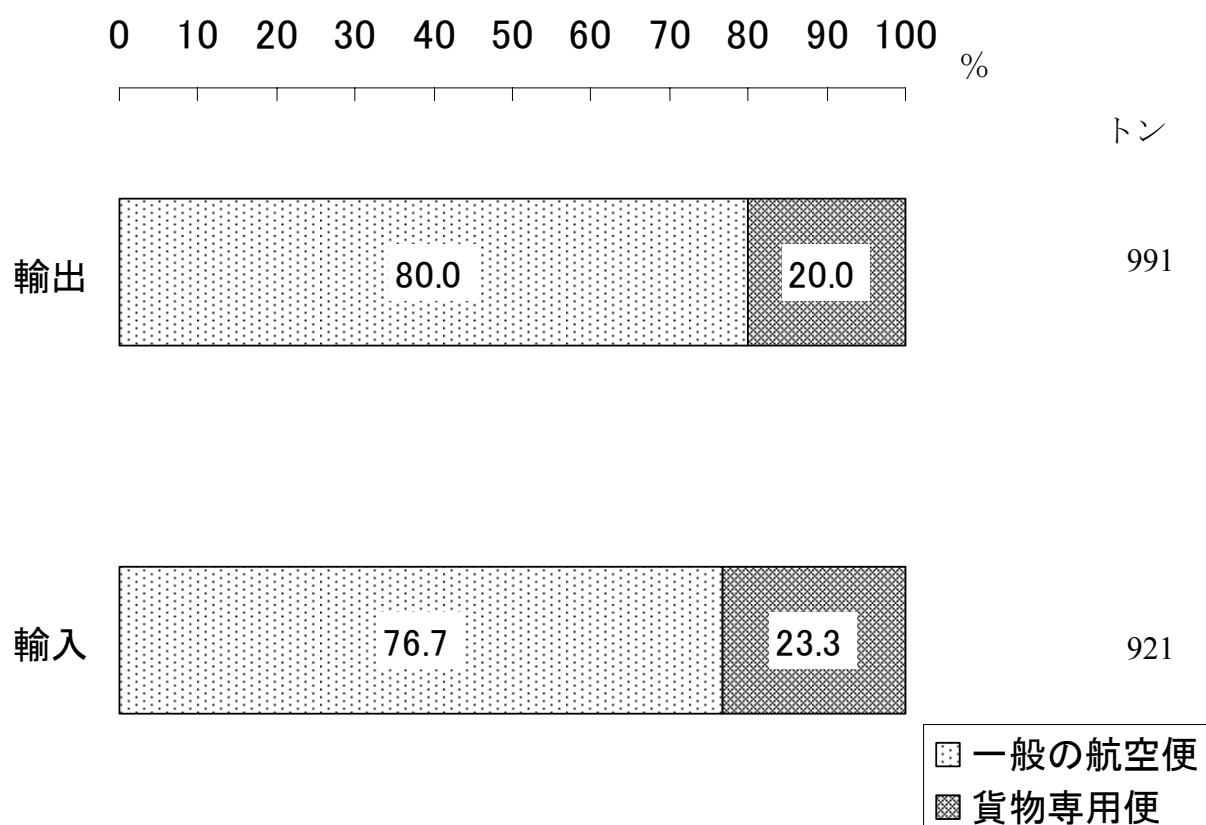
図表 3-3-10 貨物の集約離散状況

(1) 輸出

(2) 輸入



図表 3-3-11 貨物専用便の利用状況



3-4 国際宅配便貨物の流動現況

本項では、国際宅配便貨物の流動現況・内容・特性を示す。^{注)}

注) 品目・税関・地域の区分については、付属資料3～4を参照のこと。

(1) 国際航空貨物における国際宅配便貨物 (⇒図表: 59 ページ)

浦東国際空港を利用する国際宅配便貨物は輸出 5,409 k g・輸入 49,131 k g で、一般貨物と国際宅配便貨物の合計重量に占める当該貨物割合(国際宅配便比率)は、輸出 0.5%・輸入 5.0%となっている。

地域ごとの通関場所別国際宅配便利用状況を重量ベースで見ると、今回の調査では輸出・輸入ともに上海市のみで利用がみられ、同市における国際宅配便比率は輸出 0.6%、輸入 8.3%となっている。

(2) 国際宅配便と相手国地域 (⇒図表: 60 ページ)

浦東国際空港を利用する国際航空貨物において国際宅配便の利用は上海市のみであったが、相手先国地域を見ると、輸出は極東及び中近東地域向けのみで重量ベースの国際宅配便比率はそれぞれ 3.1%、0.1%であった。輸入では、数量は僅かであるが中南米からの輸入貨物がすべて国際宅配便となっており、その他の地域では、極東・東南アジア・欧州・北米からの輸入貨物における利用が見られ、国際宅配便比率は順に 6.3%・1.4%・4.7%・3.4%となっている。

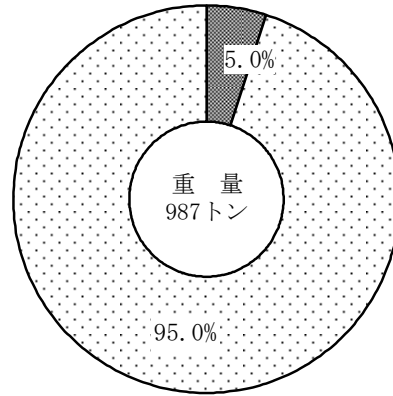
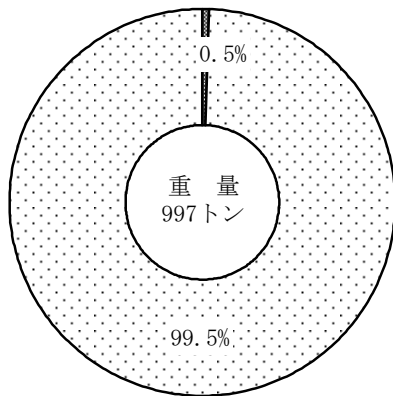
(3) 全体の流れ (⇒図: 61~62 ページ)

(2) (3) で見た税関-空港-相手国地域間の輸出入国際宅配便貨物の流れ(重量ベース)を、図表 3-4-4 に示す。

図表3-4-1 国際航空貨物総量に占める国際宅配便の比率（重量ベース）

(1) 輸出

(2) 輸入



■ 国際宅配便 □ 一般貨物 (国際宅配便以外)

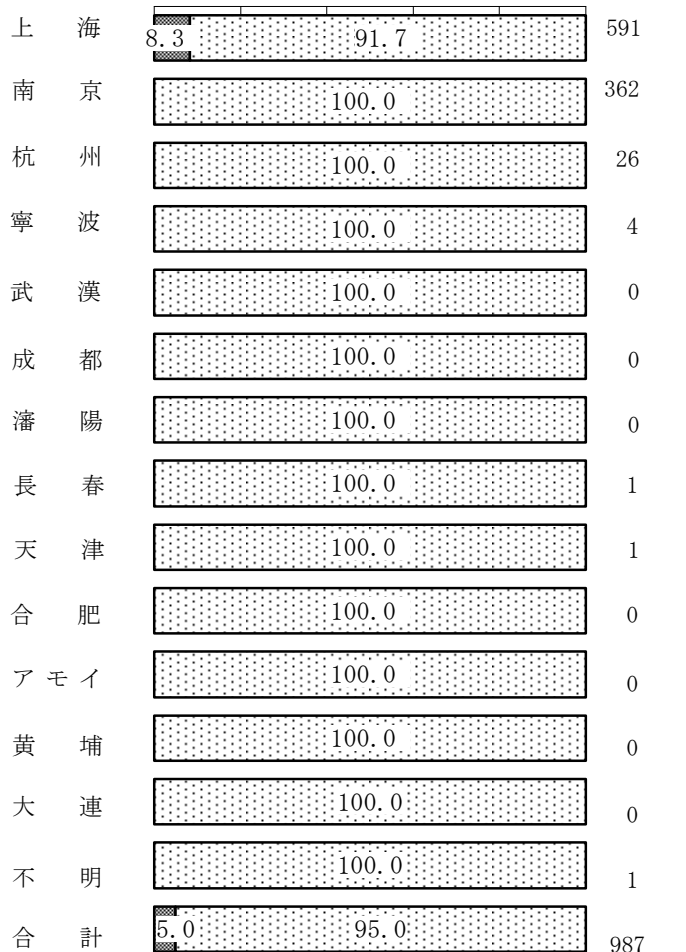
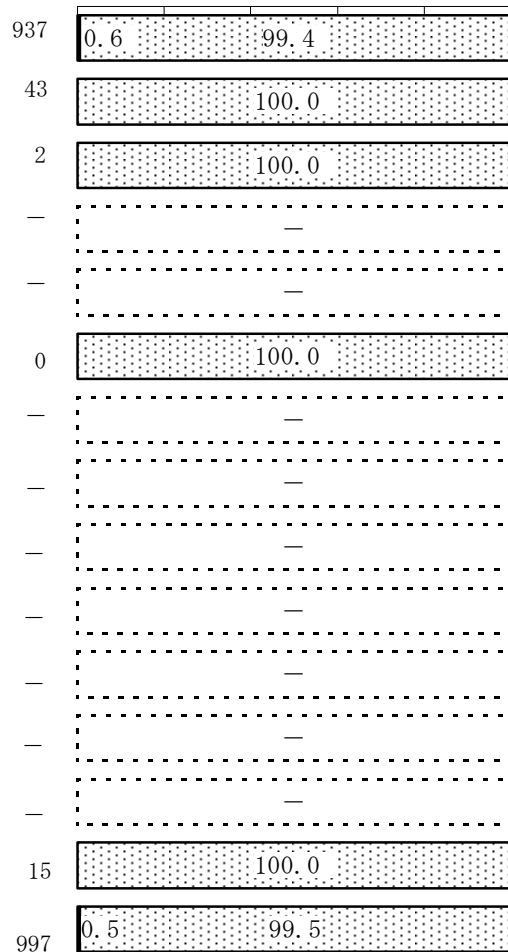
図表3-4-2 通関場所別の国際宅配便比率

(1) 輸出

(2) 輸入

トン 0% 20% 40% 60% 80% 100%

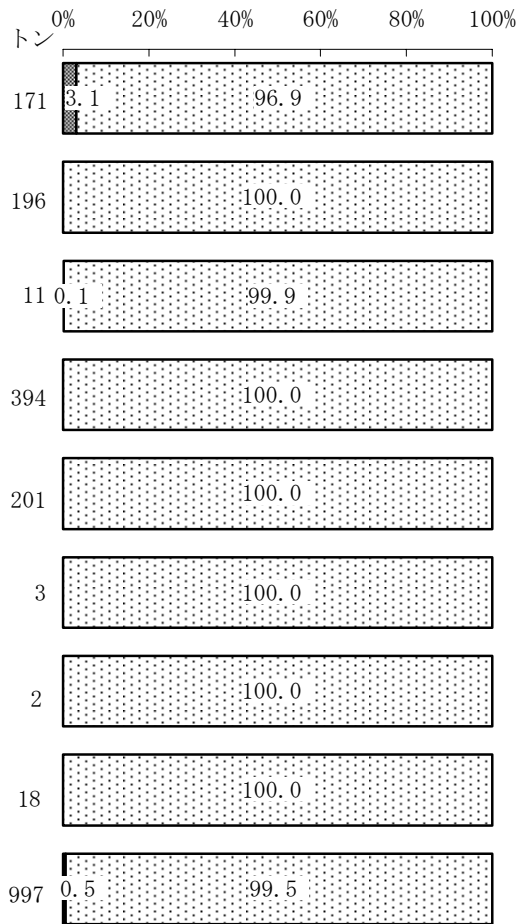
0% 20% 40% 60% 80% 100% トン



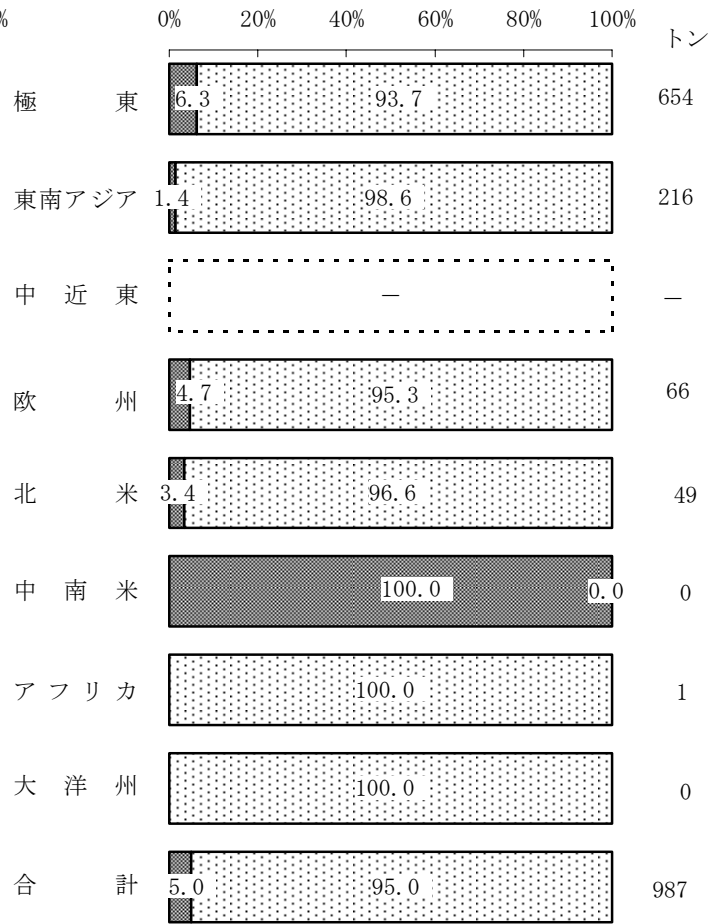
■ 国際宅配便 □ 一般貨物 (国際宅配便以外)

図表 3-4-3 相手国別の国際宅配便比率

(1) 輸出

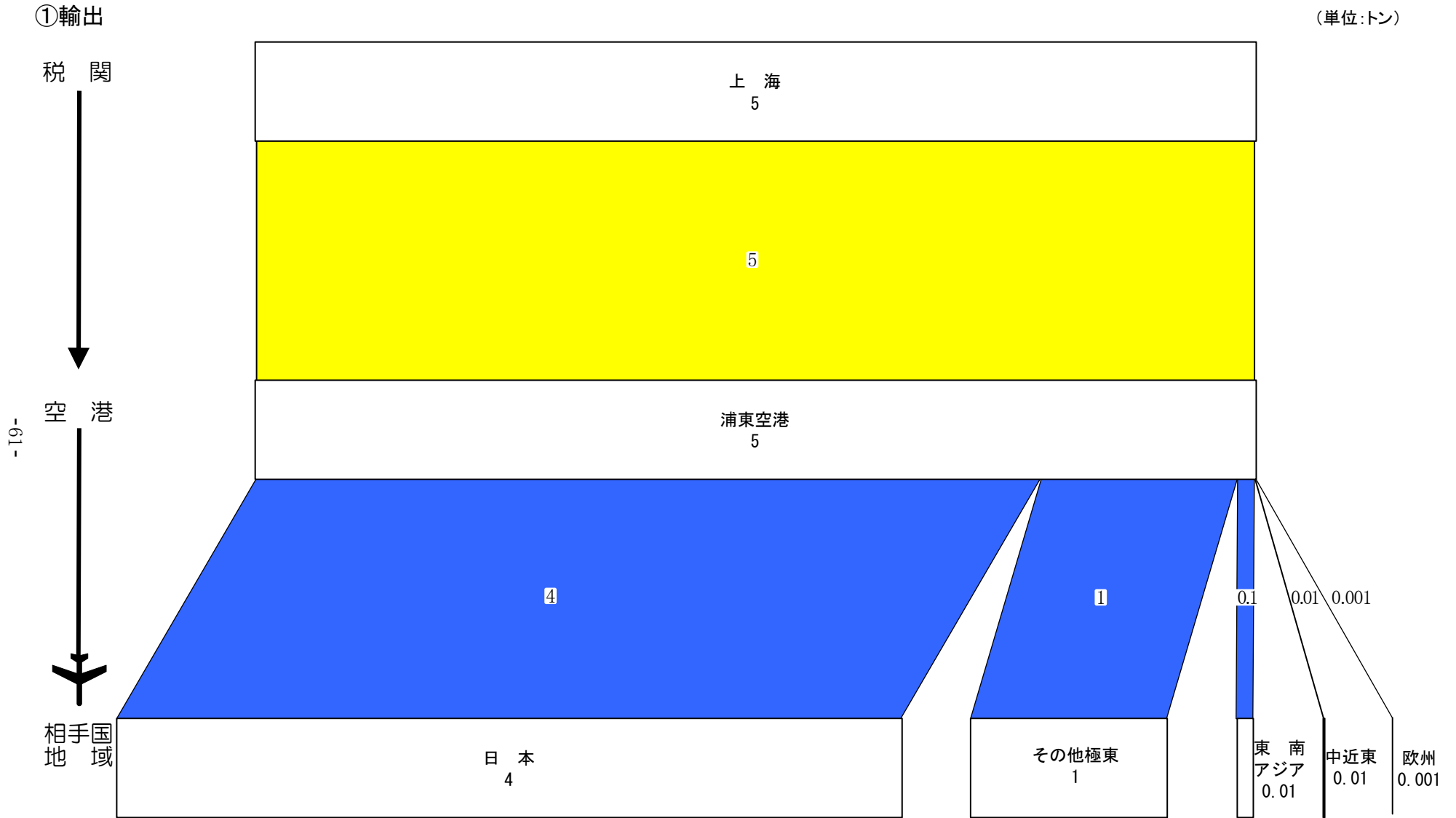


(2) 輸入



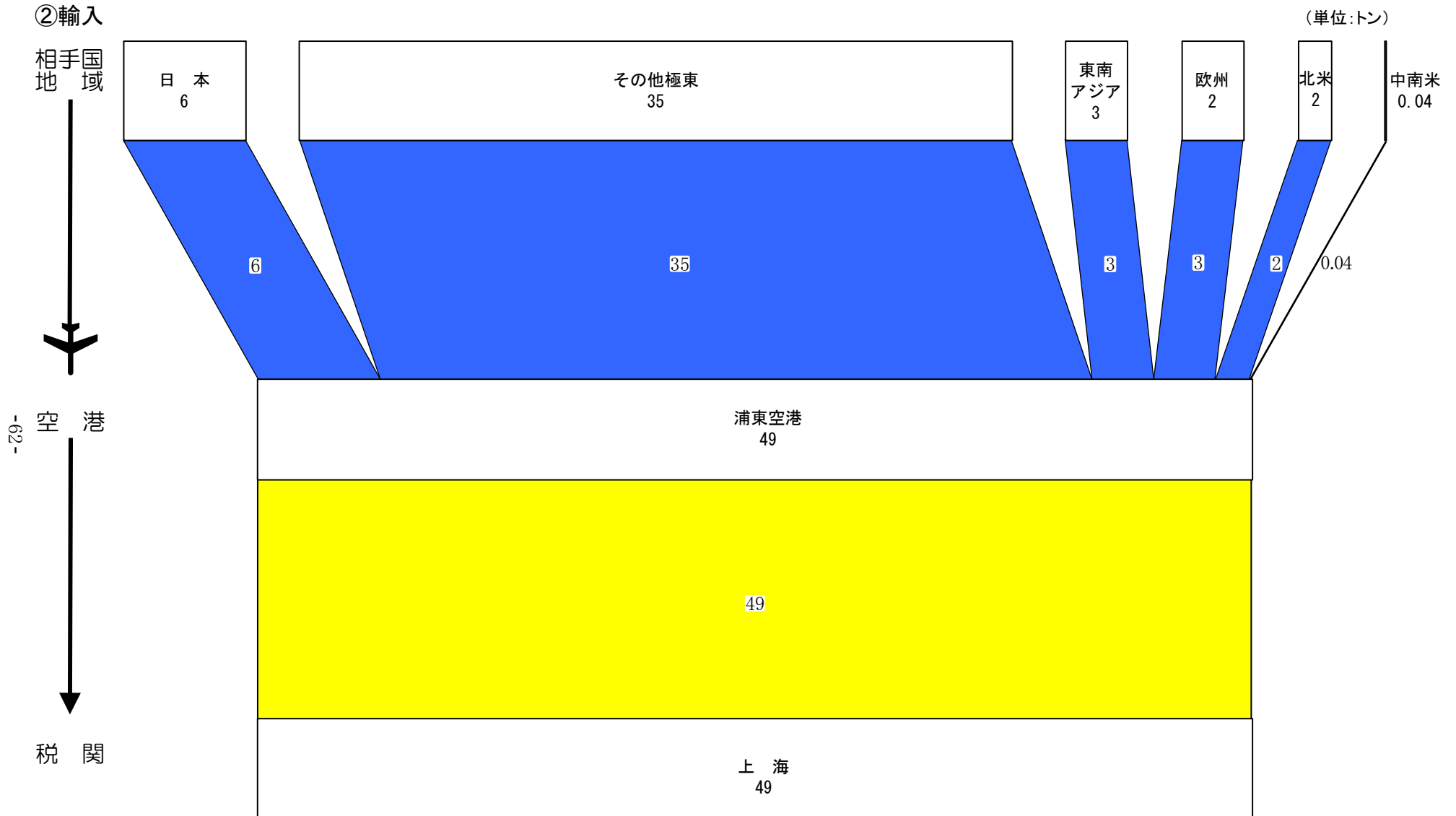
■ 国際宅配便 □ 一般貨物(国際宅配便以外)

図表 3-4-4 (1) 上海国際宅配便の貨物流動パターン (重量ベース)



注) 税関、地域区分については付属資料編・資料4を参照。

図表 3-4-4 (2) 上海国際宅配便の貨物流動パターン (重量ベース)



注) 税関、地域区分については付属資料編・資料4を参照。

付 属 資 料

資料1 上海浦東空港・国際航空貨物動態調査票



中国民用航空総局国際合作司
中国民用航空総局航空安全技術中心

上海浦東空港・国際航空貨物動態調査票

輸出用

太枠内のみご記入下さい。
(※印の欄は記入しないで下さい)

【1】貨物区分について該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 小口扱い	2 混載扱い
--------	--------

【2】通関する税関名について該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 上海税関	2 南京税関	3 杭州税関	4 寧波税関	5 武漢税関
6 重慶税関	7 成都税関	8 瀋陽税関	9 長春税関	10 ハルビン税関
11 北京税関	12 天津税関	13 石家荘税関	14 太原税関	15 合肥税関
16 福州税関	17 アモイ税関	18 南昌税関	19 青島税関	20 鄭州税関
21 拱北税関	22 長沙税関	23 広州税関	24 深圳税関	25 フフホト税関
26 汕頭税関	27 黄浦税関	28 江門税関	29 湛江税関	30 南寧税関
31 海口税関	32 満州里税関	33 大連税関	34 貴陽税関	35 昆明税関
36 ラサ税関	37 不明			

【3】発空港および搭載日・搭載便名を記入して下さい。

発 空 港 **上海浦東空港**

搭 載 日 11月 日

搭 載 便

【4】貨物の最終仕向国および着空港を記入して下さい。

最終仕向国 着 空 港

【5】貨物の仕出地（発送地）について該当する番号（仕出地が複数の場合は主たる1地域）を○印で囲んで下さい。

1 上海市	2 南京市	3 杭州市	4 寧波市	5 武漢市	6 重慶市	7 成都市	8 瀋陽市	9 長春市	10 ハルビン市	11 北京市	12 天津市
13 石家荘市	14 太原市	15 合肥市	16 福州市	17 アモイ市	18 南昌市	19 青島市	20 鄭州市	21 拱北市	22 長沙市	23 広州市	24 深圳市
25 フフホト市	26 汕頭市	27 黄浦市	28 江門市	29 湛江市	30 南寧市	31 海口市	32 満州里市	33 大連市	34 貴陽市	35 昆明市	36 ラサ市
37 その他 ()											

【6】貨物の発送施設について該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 工場	2 倉庫	3 事務所	4 保税区	5 輸出加工区	6 物流園区	7 その他 ()
------	------	-------	-------	---------	--------	-----------

【7】貨物の上記施設からの発送日記入して下さい。また発送時間帯について該当する番号を○印で囲んで下さい。

発送日 11月 日 発送時間帯 1 0:00~5:59 2 6:00~11:59 3 12:00~17:59 4 18:00~23:59

【8】貨物の仕出地（発送地）から発空港までの国内輸送において、航空輸送を利用するか否かについて該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 利用する	2 利用しない
--------	---------

【9】貨物の集約状況について該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 持 込 み	2 集 貨
---------	-------

【10】輸送品目について該当する番号（品目が複数の場合は主たる1品目）を○印で囲んで下さい。

(食 料 品)	1 魚介類	2 果実・野菜	3 その他
(織 維 ・ 同 製 品)	4 織物	5 衣類	6 その他
(化 学 製 品)	7 医薬品	8 その他	
(非 金 属 鉱 物 製 品)	9 真珠・貴金属	10 陶磁器	11 その他
(金 属 ・ 同 製 品)	12 金属製品	13 その他	
(機 械 機 器)	14 事務用機器、コンピュータ		
	15 映像機器、テレビ・VTR		
	16 音響機器、ラジオ・テープレコーダ		
	17 半導体等電子部品		
	18 電気計測機器		
	19 医療用機械		
	20 科学光学機器・カメラ・時計	21 自動車部品	
	22 その他		
(国 際 宅 配 便)	23 国際宅配便		
(そ の 他)	24 その他 ()		

【11】貨物の重量を記入して下さい。

重 量 44-50 kg

秘

中国民用航空総局国際合作司
中国民用航空総局航空安全技術中心

上海浦東空港・国際航空貨物動態調査票

輸入用

太枠内のみご記入下さい。
(※印の欄は記入しないで下さい)

【1】貨物区分について該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 小口扱い	2 混載扱い
--------	--------

【2】通関した税関名について該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 上海税関	2 南京税関	3 杭州税関	4 寧波税関	5 武漢税関
6 重慶税関	7 成都税関	8 瀋陽税関	9 長春税関	10 ハルビン税関
11 北京税関	12 天津税関	13 石家荘税関	14 太原税関	15 合肥税関
16 福州税関	17 アモイ税関	18 南昌税関	19 青島税関	20 鄭州税関
21 拱北税関	22 長沙税関	23 広州税関	24 深圳税関	25 フフホト税関
26 汕頭税関	27 黃埔税関	28 江門税関	29 湛江税関	30 南寧税関
31 海口税関	32 満州里税関	33 大連税関	34 貴陽税関	35 昆明税関
36 ラサ税関	37 不明			

【3】着空港および航空機到着日（該当する月を○印で囲む）
・搭載便名を記入して下さい。

着 空 港 **上海浦東空港**

到 着 日 11月 日

搭 載 便

【4】貨物の原仕出国および発空港を記入して下さい。

原仕出国 発 空 港

【5】貨物の仕向地（到着地）について該当する番号（仕向地が複数の場合は主たる1地域）を○印で囲んで下さい。

1 上海市	2 南京市	3 杭州市	4 寧波市	5 武漢市	6 重慶市	7 成都市	8 瀋陽市	9 長春市	10 ハルビン市	11 北京市	12 天津市
13 石家荘市	14 太原市	15 合肥市	16 福州市	17 アモイ市	18 南昌市	19 青島市	20 鄭州市	21 拱北市	22 長沙市	23 広州市	24 深圳市
25 フフホト市	26 汕頭市	27 黃埔市	28 江門市	29 湛江市	30 南寧市	31 海口市	32 満州里市	33 大連市	34 貴陽市	35 昆明市	36 ラサ市
37 その他 ()											

【6】貨物の到着施設について該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 工場	2 倉庫	3 事務所	4 保税區	5 輸出加工區	6 物流園區	7 その他 ()
------	------	-------	-------	---------	--------	-----------

【7】貨物の上記施設への到着(予定)日（該当する月を○印で囲む）を記入して下さい。また到着(予定)時間帯について該当する番号を○印で囲んで下さい。

到着(予定)日 11月 日 到着時間帯 1 0:00~5:59 2 6:00~11:59 3 12:00~17:59 4 18:00~23:59

【8】着空港から貨物の仕向地（到着地）までの国内輸送において、航空輸送を利用したか否かについて該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 利用した	2 利用しない
--------	---------

【9】貨物の離散状況について該当する番号を○印で囲んで下さい。

1 引取り	2 配達
-------	------

【10】輸送品目について該当する番号（品目が複数の場合は主たる1品目）を○印で囲んで下さい。

(食 料 品)	1 魚介類	2 果実・野菜	3 その他
(繊 維 ・ 同 製 品)	4 織物	5 衣類	6 その他
(化 学 製 品)	7 医薬品	8 その他	
(非 金 属 鉱 物 製 品)	9 真珠・貴金属	10 陶磁器	11 その他
(金 属 ・ 同 製 品)	12 金属製品	13 その他	
(機 械 機 器)	14 事務用機器、コンピュータ		
	15 映像機器、テレビ・VTR		
	16 音響機器、ラジオ・テープレコーダ		
	17 半導体等電子部品		
	18 電気計測機器		
	19 医療用機械		
	20 科学光学機器・カメラ・時計	21 自動車部品	
	22 その他		
(国 際 宅 配 便)	23 国際宅配便		
(そ の 他)	24 その他 ()		

【11】貨物の重量を記入して下さい。

重 量

44-50					
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

資料2 調査票記入要領

中国上海浦東空港・国際航空貨物動態調査 調査票記入要領

1. 調査対象貨物

- ・ 平成19年11月22日(木曜日) (0時から24時まで) に、各代理店・混載業者が航空運送状を発行した輸出航空貨物、および税関に輸入申告を行なった輸入航空貨物を対象とします。

浦東空港を中継する国際航空貨物は対象とはなりませんのでご注意ください。

2. 調査票への記入

- ・ 航空運送状1件ごと(混載貨物は混載運送状1件ごと)に1枚の調査票にご記入下さい。
- ・ 輸出貨物は【輸出用】、輸入貨物は【輸入用】の調査票へご記入下さい。

3. 調査票の提出

- ・ 記入した調査票は、各事業者の本社で取りまとめたうえ 12月28日(金) までに下記住所へご送付下さい。

【国際航空貨物動態調査実施本部】

住 所： 6F, UC Tower, 500 Fushan Road,
Pudong New Area Shanghai, China. 200122
Shanghai e-Technology Co., Ltd 内

T E L : 86-21-5081-0000

F A X : 86-21-5820-0000

E-Mail : xxxxx@sha-etech.com

4. 調査の問い合わせ先

- ・ この調査についての問合せは、上記の調査実施本部にお願いします。

5. 記入上の注意

- ・ 貨物区分(輸出用【1】、輸入用【1】)については、該当するものに○をつけてください。
- ・ 税関名(輸出用【2】、輸入用【2】)については、該当するものに○をつけてください。
- ・ 搭載日、搭載便(輸出用【3】)、到着日、搭載便(輸入用【3】)については、運送状に記載されている日、便をご記入ください。搭載便についてはアルファベットコードでご記入下さい。
- ・ 貨物の最終仕向国および着空港(輸出用【4】)については、貨物の輸出相手国と最終

着空港をご記入下さい。着空港は、アルファベットコードでご記入下さい。

- 貨物の原仕出国および発空港（輸入用【4】）については、貨物の輸入相手国と原始発空港をご記入下さい。発空港は、アルファベットコードでご記入下さい。
- 貨物の仕出地（発送地）（輸出用【5】）とは、集貨の場合は集貨先地、持込みの場合は当該貨物を持ち込んだ場所（フォワーダーの営業所等）をいいます。
- 貨物の仕向地（到着地）（輸入用【5】）とは、配達の場合は配達先地、引取りの場合は当該貨物を引き取った場所（フォワーダーの営業所等）をいいます。
- 貨物の発送施設（輸出用【6】）は、貨物の仕出地（発送地）における発送施設をお答え下さい。なお、工場敷地内の倉庫については、発送施設は工場とします。
- 貨物の到着施設（輸入用【6】）は、貨物の仕向地（到着地）における到着施設をお答え下さい。なお、工場敷地内の倉庫については、到着施設は工場とします。
- 発送日、到着（予定）日（輸出用【7】、輸入用【7】）については、具体的な日をご記入ください。
- 発送時間帯、到着時間帯（輸出用【7】、輸入用【7】）については、該当するものに○をつけてください。
- 航空輸送利用の有無、（輸出用【8】、輸入用【8】）については、該当するものに○をつけてください。
- 貨物の集約状況（輸出用【9】）、貨物の離散状況（輸入用【9】）については、該当するものに○をつけてください。
- 輸送品目（輸出用【10】、輸入用【10】）については、別紙（品目分類表）を参照し、該当するものに○をつけて下さい。

『国際宅配便』の場合について

1. 国際宅配便とは、重量、大きさに関わらずドア・ツー・ドアで一貫輸送する国際運送を指します。
2. **平成 19 年 11 月 22 日（木曜日）**（0時から24時まで）に、各国際宅配便業者が航空運送状を発行した輸出国際宅配便航空貨物、および上記当該日に輸入申告をした輸入国際宅配便航空貨物を対象とします。

航空運送状 1 件ごと（混載貨物は混載運送状 1 件ごと）に 1 枚の調査票に記入して下さい。

ここでいう航空運送状とは、航空会社の Air waybill（あるいは House Air waybill）を指します。国際宅配便業者が各荷主に対して発行する自社運送状ではなく、事業者が荷主から託された貨物を方面別に仕立てた後、代理店との間で交わす航空運送状が対象となります。

3. オンボード・クーリエは、運送状ではなく搭乗券を利用して手荷物として運送することから、調査対象とはなりません。

4. 調査票に記入する箇所は、輸出・輸入とも設問【1】～【4】、【10】【11】のみ記入します。設問【10】は「23. 国際宅配便」になります。

なお、設問【4】については、輸出は最初の仕向国（最初の着空港）、輸入は最終の仕出国（最終の発空港）を記入して下さい。

資料3 品目分類表

品 目	内 容 例	
(食料品)	1. 魚介類	鮮魚及び冷凍魚、甲殻類及び軟体動物、魚介類の缶詰
	2. 果実・野菜	果実、野菜
	3. その他	生きた動物、肉類及び同調整品、酪農品及び鳥卵、穀物及び同調整品、糖類及び同調整品・はちみつ、コーヒー・茶・ココア・香辛料類、飼料、たばこ
(繊維・同製品)	4. 織物	綿織物、毛織物、合成繊維織物、人絹織物
	5. 衣類	外衣類、下着類、ハンカチ、ショール・スカーフ及びマフラー類、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、帽子及び同部分品
	6. その他	織物用糸、チュール・レース及びししゅう布類、ひも・綱及びケーブル、漁網及び漁網地、包装用の袋、毛布及びひざ掛け、ベトリネン、テーブルクロス及びナプキン、タオル、敷物類、織物用繊維及びくず
(化学製品)	7. 医薬品	プロビタミン及びビタミン、ビタミン製剤、抗生物質、ホルモン、抗生物質製剤
	8. その他	元素及び化合物、鉱物製タール及び粗製薬品、染料、なめし剤及び着色剤、精油・香料及び化粧品類、化学肥料、火薬類、人造プラスチック、その他の化学工業生産品
(非金属鉱物製品)	9. 真珠・貴金属	真珠・ダイヤモンド、貴石及び半貴石
	10. 陶磁器	陶磁器
	11. その他	セメント、タイル、ガラス及び同製品
(金属・同製品)	12. 金属製品	鉄鋼製構造物及び同建設材料、貯蔵用及び輸送用の金属製容器、より線・鋼及び鋼類、くぎ・ねじ・ボルト及びナット類、手道具及び機械用工具、刃物、卑金属製の家庭用品、錠・鍵及び取付具
	13. その他	鉄鋼、非鉄金属
(機械機器)	14. 事務用機器、 コンピューター	タイプライター及び同部分品、電算機・付属機器・同部分品、会計機及び同部分品、複写機、切符発行機
	15. 映像機器、 テレビ・VTR	テレビ受像機、VTR類、テレビカメラ、デジタルカメラ、ビデオカメラ、DVDプレーヤー類
	16. 音響機器、ラジオ・ テープレコーダー	ラジオ受信機、ディスクプレーヤー類、アンプ・スピーカー・マイク、テープレコーダー類
	17. 半導体等電子部品	個別半導体
	18. 電気計測機器	電気測定器、工業計器、電気計器
	19. 医療用機械	医療用機械
	20. 科学光学機器、 カメラ・時計	写真機用レンズ、めがねのわく及び柄、双眼鏡、電子顕微鏡、顕微鏡及び同部分品、写真機及び同部分品、映画撮影機、製図機器、時計
	21. 自動車部品	自動車部品
22. その他	原動機、農業用機械、金属加工機械、繊維機械、ミシン、印刷機械、食料加工機械、建設用・鉱山用機械、加熱用及び冷却用機械、ポンプ及び遠心分離機、荷役機械、ベアリング、重電機器、配電盤及び制御盤、絶縁電線及び絶縁ケーブル、がい子、家庭用電気機器、電池、電球類、コンデンサー、輸送用機器	
(国際宅配便)	23. 国際宅配便	
(その他)	24. その他	原皮及び毛布(未仕上)、採油用の種・ナット及び核、生ゴム、木材及びコルク、パルプ及び紙、肥料及び粗鉱物、金属鉱及びくず、鉱物性燃料、動植物性油脂、革及び同製品・毛布、ゴム製品、木製品及びコルク製品、紙類及び同製品、衛生用品・暖房及び照明器具、家具、旅行用具及びハンドバッグ類、はき物、がん具、運動用具、事務用品、アクセサリ、美術品・こつとう品、動物(生きているもの)

資料4 税関コード表および地域区分表

■税関コード表

NO	税関名	NO	税関名	NO	税関名	NO	税関名
1	上海税関	11	北京税関	21	拱北税関	31	海口税関
2	南京税関	12	天津税関	22	長沙税関	32	満州里税関
3	杭州税関	13	石家荘税関	23	広州税関	33	大連税関
4	寧波税関	14	太原税関	24	深圳税関	34	貴陽税関
5	武漢税関	15	合肥税関	25	フフホト税関	35	昆明税関
6	重慶税関	16	福州税関	26	汕頭税関	36	ラサ税関
7	成都税関	17	アモイ税関	27	黃埔税関	37	不明
8	瀋陽税関	18	南昌税関	28	江門税関		
9	長春税関	19	青島税関	29	湛江税関		
10	ハルビン税関	20	鄭州税関	30	南寧税関		

■地域区分表

地域名	国等名
極 東	韓国・日本・台湾・その他
東南アジア	香港・シンガポール・その他
中 近 東	イラン・イラク・サウジアラビア・クウェート・その他
欧 州	スウェーデン・イギリス・オランダ・ベルギー・フランス・ドイツ・スイス・イタリア・ロシア・その他
北 米	カナダ・アメリカ・その他
中 南 米	メキシコ・パナマ・ベネズエラ・ブラジル・その他
アフリカ	エジプト・南アフリカ・その他
大 洋 州	オーストラリア・ニュージーランド・その他